

アイヌ民族博物館 伝承記録3・昔話

上田トシのウエペケレ

財団法人 アイヌ民族博物館

六重の喪服を着た男
夜襲に滅ぼされた村の孤児姉弟の話

目 次

上田トシさんについて	1
ウエペケレとは	3
ウエペケレ1「六重の喪服を着た男」	11
ウエペケレ2「夜襲に滅ぼされた村の孤児姉弟の話」	49
語彙索引	77

上田トシさんについて

本田 優子



ネフ カ ケラムアン フチ クネ ルウェ カ ソモ ネ
コロカ マク ネ ワ ネ ヤ オッカイボ ウタラ ネ ヤ
カッケマツ ウタラ ネ ヤ エンコシネウパ ワ
エアキネ ケヤイコブンテク コロ アイヌイタク アニ
ウエネウサラ コロ カン。

アイヌイタク セコロ アイェ フ ネ ヤッカ
エクシコンナ アエラムアン ペ カ ソモ キ フ ネ
アアン ヒネ アツパケ タ アナクネ アイヌイタク
ケランペウテク ペ ネ ア コロカ ネン カ クイキ ワ
アイヌイタク ケラムアン ルスイ クス カブカシ コロ
ネ ヤッカ アイヌイタク アニ クヤイコイタク コロ
カブカシ、クホツケ ワ クモコロ ワ クモシ ヤッカ
アイヌイタク パテク ケヤイコシラムスイバ コロ カン

アイネ タネ コンネ。

クイワンケ ワ ナ クイタク エアシカイ ラボツケ アイヌイタク ネ ヤ ウエベケレ
ネ ヤ クイエ ワ シサム オッカイボ ネ ヤ シサム カッケマツ アイヌ オッカイボ
アイヌ カッケマツ ウタラ ネ ヤッカ ネン ネ ヤッカ クコロ ウエベケレ クコロ
アイヌイタク ピリカノ ヌ ワ エチャヌフコロパ ワ エンコレ ヤン セコロ パテク
クヤイヌ コロ カン。イヤイライケレ。

私はなにか物を知っている年寄りというわけでもないのですが、どういわけか若者たちや女の人たちが私を訪ねてきてくださるので、私はそのことをたいへん嬉しく思いながらアイヌ語でおしゃべりをしています。

アイヌ語といいましても急にわかったものではなく、私は最初はアイヌ語を知らなかったのです。けれどもなんとかしてアイヌ語を覚えたいので、歩きながらでもアイヌ語で独り言をいいながら歩き、寝ていて目が覚めてもアイヌ語ばかり考えながら暮らしているうちに、今はもう年をとりました。

私が元気でまだお話することができる間に、アイヌ語でもウエベケレでも言いますから、和人の若者や和人の女性、アイヌの若者、アイヌの女性、だれであっても、私のウエベケレやアイヌ語をよく聞いて役立ててください。そのことだけを私は思っています。ありがとうございます。

上田トシさんは、1912(大正1)年10月3日、沙流郡平取村字ペナコリで、川上サノウク(父)、なとっく(母)の7人兄弟の末っ子として生まれました。

父の川上サノウク氏は近隣に名高いニシパ(人望のあつい裕福な男性)でした。カムイノミ(神への祈り)を行いアイヌプリ(アイヌの風習)に通じる反面、辺りに先駆けて2頭引きの馬でプラオを使って耕作するなど近代的な農業経営を実践しました。長く部落部長を務め、明治41年には荷負尋常小学校開設のため、1町2反余の土地(校地の4分の3以上)を提供するなど住民の教育向上に献身された方として有名です。

また、12歳年上の姉、故木村キミさんもアイヌ口承文芸の伝承者として知られ、1987年には北海道文化財保護功労者賞を受賞されています。

上田トシさんは、このようにアイヌの伝統文化をしっかりと受け継ぎつつ、時代の流れにも敏感に対

応するという、エネルギーに満ちた家庭環境で育ちました。

けれども、父のサノウク氏が家庭の中で日常的にアイヌ語を使うことを嫌っていたこともあり、幼い頃には全くアイヌ語を話しませんでした。子どもの頃、一番の仲良かったのは同じペナコリ出身の川上まつ子さんでした。川上まつ子さんも大変アイヌ語に堪能な方で、数多くの優れた伝承記録が残されています。しかし、いつも二人で木登りをしたりヤツメウナギを捕まえたりして遊んでいたにもかかわらず、アイヌ語で会話することはなかったといえます。

その後、現在の居住地である平取町旭(上貫気別)に入植し農作業に追われるようになってからは、周囲にアイヌ語を理解する人も無く、全くアイヌ語から縁遠い生活になってしまいました。

しかし、アイヌ語の伝承に尽力される姉、木村キミさんの姿を目の当たりにし、自らもアイヌ語を勉強したいと考えたトシさんは、1987(昭和62)年の秋から冬にかけて、ウエペケレ(散文の物語)を覚えるためにバスで姉の元へ通い始めました。生前、トシさんに対し「お前は小さい頃犬に頭を噛まれたから物覚えが悪い」などと冗談を言って笑っていたキミさんも、自らの後継者として妹に全てを語り伝えようと懸命に努力されました。残念なことに、キミさんは翌年4月に亡くなりましたが、その一冬の間トシさんは実に多くのことを学んだといわれます。

トシさんは、数多くのアイヌ語研究者に資料や情報を提供することにより、その調査研究活動の深化を促してこられました。最初は、姉のキミさんや、同じく沙流地方の口承文芸の伝承者として有名な西島テル(平取町荷負本村)さんの脇に控えるようにして調査に協力されていたトシさんでしたが、それらの方々が次々と亡くなった現在、沙流川筋の伝承活動を支える第一人者として活躍されています。

トシさんが大勢の人々の前で初めてアイヌ口承文芸を公演発表されたのは、1989(平成1)年、第1回アイヌ民族文化祭(札幌)でのことでした。以来、現在に至るまで、さまざまな機会にウエペケレを中心とする口承文芸を披露されています。

また、トシさんは口承文芸を物語るだけではなく、アイヌ語での会話に大きな喜びを感じていらっしゃるようです。トシさんがアイヌ語の伝承者として広く知られるようになったきっかけの一つとして、ビデオ教材『アイヌ語会話初級編』(カムイドラノ協会、1987年)への出演がありますが、萱野茂氏との流暢なアイヌ語でのやりとりは、学習者にアイヌ語会話の楽しさを印象付けるとともに、これによって日常会話を中心とする視聴覚教材の重要性がより強く認識されるようになりました。その後も、『アイヌ語日常会話集1 凍ったミカン』(片山言語文化研究所、1992年)や『アコロ イタク』(北海道ウタリ協会、1994年)のビデオテープ資料などに、トシさんの軽快な語り口のアイヌ語会話が収録されています。この他にもトシさんは、千歳の故白沢ナベさんや鷗川の新井田セイノさんを訪ね、アイヌ語での会話を積み重ねてこられました。

また、トシさんは平取アイヌ文化保存会の会員として、さまざまな儀式や行事に関わるなかで、アイヌ古式舞踊やアイヌの歌謡の伝承に努めてこられました。特に、ヤイサマ(即興叙情歌)の際の節回しや、のびやかな歌声には定評があります。

その他、当アイヌ民族博物館における調査研究活動への協力や、北海道ウタリ協会主催のアイヌ語教室指導者研修会での指導・助言、アイヌ無形文化伝承保存会作成の記録映画への出演など、その活動は多岐にわたっています。

このような幅広い分野にわたる功績により、1996(平成8)年には、平取町指定無形民俗文化財保持者に認定されました。さらに同年、姉の木村キミさんに続き、北海道文化財保護功労者賞を受賞されました。

85歳を迎えられようとする今も尚、後学のために献身される上田トシさん。今後ますますのご活躍が期待されています。

ウエペケレとは

安田 千夏

<ウエペケレの特徴>

ウエペケレは、アイヌの口承文芸、つまり口伝えによって受け継がれてきた物語です。アイヌの口承文芸には他にもユカラ、カムイユカラ等がよく知られていますが、ウエペケレはそれらとは違い「節」を持ちません。普通の話し言葉に近い抑揚で語られます。上田トシさんの住む沙流地方ではウエペケレといいますが、地方によってはトウイタクともいいます。日本語では「昔話」「民話」「散文説話」等と訳されています。

ウエペケレの題材は幅広く、いろいろなお話があります。他のジャンルや、日本の昔話に似たようなお話を見いだすこともあります。ですからその特徴を一言で説明することはとても難しいことなのですが、ウエペケレでは、カムイユカラがそうであるように、神が語るという形式をとることはごくまれで、そのほとんどは人間が語る形式をとっている、ということが出来ます。そしてそれらは、単なる空想の物語として伝えられてはきませんでした。それについて言語学者の中川裕氏は、こんなふうに説明しています。

彼らが出会ったいろいろな体験を、この世を去る前に自分の子孫に語り残すという形式をとるのが普通である。いまの我々の目からすればたいそう不思議な話も少なくないが、それは語り手たちにとってはすべて実際に起こった事件の報告としてとらえられており、彼らの歴史書であり、人生の指針を示す教科書となるものであった。(中川 裕著『アイヌ語をフィールドワークする』草風館、p.44)

<今回収録したお話について>

二つのお話の展開をごく簡単にまとめると、次のようになります。

数奇な生い立ち / ある事件に遭遇 / 危なく命を落としかける / 不思議な出会いによって助けられる / 敵討ち / 不幸な死に方をした人の供養をする / 人生の終焉 こうしたパターンの話は、私達が聞いても不可思議な部分が少なく、最も身近なタイプのウエペケレといえるかも知れません。そしてどちらの話にも、ウエペケレの典型的な語りがふんだんに盛り込まれています。

『岩波講座・日本文学史第17巻 アイヌ文学』には、ウエペケレについての詳しい説明があります。ここではその内容を摘記し、特に物語の冒頭と結びについて、典型的な語りの説明をしたいと思います。

散文説話はまず出だしの部分で、主人公（叙述者）がどこに住んでいて、どんな家族構成で、どんな暮らしをしているか 豊かな暮らしをしているか貧しいか ということなどが語られる。(p.256)

今回のウエペケレも、まさにこのように家族構成を語ることから物語が始まっています。特に第二話については、これらの語りだしが内容に関わる重要な鍵となっています。

散文説話の多くはハッピーエンドに終わる。ただし、事件が解決してそれでおしまいということは普通はない。その後、いかに主人公が何不自由ない暮らしを送り、大勢の子や孫に囲まれ、天寿をまっとうしたかということが述べられて、もはやこの世と別れを告げるという時点で、後世の者たち、特に自分の子孫たちに自分の体験を語り残すという形をとる。(p.256)

終わり方も、どちらの話も典型的なハッピーエンドの終わりかたをしています。こうした人生の終焉は、アイヌの人達にとっては他に望むことがないくらい幸せで、人間の到達点としては最高のものであると考えていました。

散文説話の主人公は基本的に無名である。特別なケースを除いて、物語中で名前が言及されることはなく、結語の部分でも「～とどこそこの長者が語った」「～とどこそこの淑女が語った」という形をとるのが普通であり、名前が語られることは非常に限られている。(p.250)

今回は題名をつけるのに大変苦労しました。主人公が無名なので「桃太郎」「金太郎」のような題名を付けることはできません。第一話では、事件のなかのキーワードをそのまま題名にしてみました。ウエベケレの多くは、物語がとある人の波瀾万丈の人生そのものなので、一言で説明することがなかなか難しいのです。時には無題とするしかないことも、ウエベケレのひとつの特徴といえるかもしれません。

<お話のポイント>

この物語をトシさんから聞く前に「今日はどんな話をしてくれるの?」と訊くと、トシさんは「二つ話があるんだけど、どっちの話も、ある人が苦労して、最後には幸せになる話。」と説明してくれました。「幸せになる」というのは、どういうことなのでしょう?

ひとつには、先ほどの説明にあったようなハッピーエンドのあり方が「幸せ」であることを示しています。そしてさらにもうひとつ指摘するならば、トシさんは、これらの展開のなかで一番大切な場面は「死んだ人の供養をする」ところだと教えてくれました。たとえこの世での暮らしが苦労の連続であったとしても、人生が終わったとき、身内、他人を問わず、自分をあの世に送ってくれる、供養してくれる人がこの世のどこかにいてくれること、それはとても幸せなことなのではないでしょうか。ウエベケレのなかには、それを見落としてしまうと、苦労に終始して、不幸な物語だったという印象を持ってしまうものもあります。でも物語のどこかに、不幸な死に方をした人を供養をした、あるいは供養のことを誰かに言い残したというくだりがあれば、それは幸せになったことを示しているのだと思います。またウエベケレのなかには、どうしても送ってもらえない不幸な人が、命を終えてからでも、生きている人に対して、何らかの形で「送ってほしい」というメッセージを伝えてくるお話がたくさんあるのです。アイヌの人達は、確かにそうした死生観、価値観を持っていたと思います。

<カムイとの関わり>

これはウエベケレに限られたことではありませんが、アイヌにとって、神(カムイ)との関わりほど大切なものはありませんでした。カムイとは天地創造の神もいましたが、それ以外にも動植物や器物の神など、たくさんの神がいました。また自然現象も神であり、それらの神に対して祈る気持ちを常に忘れませんでした。アイヌの口承文芸は、人間はそうしたたくさんのカムイに囲まれ、守られて生きているんだということを教えてくれるのです。そしてカムイもまた、死んだ人間と同じように、送られたいと思って、この世の人間にメッセージを送ってることがありました。

<文法について>

ウエベケレは、話し言葉に近いといいましたが、少し違うところもあります。アイヌ語には人称接辞というものがあって(それは日本語との違いの代表格なのですが)、動詞や名詞に、「誰が(を/に/の)」を意味する言葉をつけなくてはならないのです。それがついていなければ、「私」でも「あなた」でもない第三者、つまり「彼が(を/に/の)」を意味します。このテキストでは、ローマ字で人称接辞を表記する場合、その前か後に=をつけて、それが人称接辞であると一目でわかる表記法をとりました。

さて、日常会話で「私が・の」を意味する人称接辞は「ク(ku=)」ですが、ウエベケレでは、それは「ア(a=)」あるいは「アン(=an)」になっています。「ア(a=)」「アン(=an)」には色々な意味がありますが、ウエベケレでは主に「(不特定な)人が・の」と訳すことができます。つまりウエベケレは、かつて実際に存在した人物が主人公なので、話者が(不特定な)人になりかわって語っているのです。その為に、人称接辞がこのように日常会話とは違った形になったと考えられます。ちなみに動詞の場合、動詞の前に人称がくるのが他動詞で、後にくるのが自動詞であることを示しています。

必要に応じて注釈中にも文法の説明を入れましたが、あくまで収録した2編のウエペケレを理解するのに必要な最低限の話に終始しています。とくに人称接辞に関しては、他のジャンルの物語や、日常会話には当てはまらない場合の方が多いと考えて下さい。

.....

この二つのお話をトシさんに聞かせてくれたのは、お姉さんの木村キミさんだったといえます。これから皆さんをその世界へご案内いたしますので、ここにご紹介したこと以外にも、新しいウエペケレの魅力を、どんどん見つけてください。

アイヌ語およびアイヌの口承文芸を学習するには、本書と併せて以下の本を活用されることをおすすめします。入手が容易なもののみ以下に掲げます。

【辞書】

- 田村すず子著：1996『アイヌ語沙流方言辞典』草風館
 萱野 茂著：1996『萱野茂のアイヌ語辞典』三省堂
 中川 裕著：1995『アイヌ語千歳方言辞典』草風館

【アイヌ文学論】

- 中川 裕著：1997『アイヌの物語世界』平凡社（平凡社ライブラリー）
 中川 裕・志賀雪湖・奥田統己：
 1997「アイヌ文学」岩波講座『日本文学史第17巻 口承文学2・アイヌ文学』岩波書店

【教材】

- 北海道ウタリ協会編：
 1994『アコロイタヶAKOR ITAK [アイヌ語テキスト1]』北海道ウタリ協会（ビデオ付）
 萱野 茂：1988『アイヌ語会話初級編』カムイドラノ協会（ビデオ付）
 片山龍峯：1992『アイヌ語日常会話集1 凍ったミカン』片山言語文化研究所（ビデオ付）
 片山龍峯：1995『カムイユカラ』片山言語文化研究所（CD・絵本・解説書セット）

【口承文芸】（アイヌ語付のもののみ）

- 知里幸恵：1923, 1978『アイヌ神謡集』岩波書店（岩波文庫）
 知里真志保：1937, 1981『アイヌ民譚集』岩波書店（岩波文庫）

例 言

- (1) 本書は、「アイヌ民族博物館伝承記録」シリーズの第3集として、当館の所蔵する音声資料を整理・公開し、一般の利用に供することを目的に刊行する。今回はとくに、語学教材としての利用を念頭において、アイヌ語教室での学習や、アイヌ語の独習にも使えるように心がけたつもりである。同時に、本書は同シリーズ中ではじめて口承文芸をとりあげる。
- (2) 口承文芸を収録するにあたって、音声資料を添付することが語学教材としても研究資料としても望ましいと考え、今回はコンパクトディスク（CD）を添付した。音声資料を添付することは、今後の同種の当館刊行物でも可能な限り踏襲する。
- (3) 当館では、沙流地方のアイヌ文化伝承者である上田トシ氏から15編（内容の重複を含む）のウエペケレを採録しており、他にも、日常会話、歌謡等、多様な内容で聞き取り調査を行っている。したがって、今回刊行するものはあくまで氏の伝承の一部であることを付言しておく（後掲リスト参照）。
- (4) 本書に収録した2編のウエペケレは、1994年10月2日、アイヌ民族博物館ポロチセで開催された当館主催の普及事業「アイヌ文化教室」において公開録音したものである。
文化教室自体は、上田トシ氏にウエペケレを通して語っていただき、それを当日の講師である奥田統己氏（札幌学院大学助教授）が和訳し、解説する形式で進行した。本書では上田トシ氏のウエペケレの語り部分のみを収録し、奥田氏の和訳・解説および奥田氏と上田氏とのやりとりを収録することはしなかったが、本書の編集に際して、割愛した内容の多くを参考にさせていただいたことを申し添えておく。
- (5) 本書の刊行に際して、話者である上田トシ氏をはじめ、ご家族に多大なるご理解とご協力を賜った。また、中川裕（千葉大学助教授）、奥田統己、本田優子（当館特別学芸員）の各氏には、本書の編集に際して貴重なご助言とご協力を賜った。記して深謝する次第である。

【書籍の編集】

- (1) ウエペケレの活字化・訳出は、安田千夏が担当した。
- (2) 活字化・訳出の段階で、不明な点は、安田千夏が話者本人に確認した。
- (3) ウエペケレ本編については、音声と原稿の突き合わせ、監修を中川裕氏にお願いした。また、氏の主宰するアイヌ語勉強会「バルンペ」の方々にもご協力いただいた。
- (4) 巻頭の話者紹介については、本田優子が執筆し、それ以外の執筆および編集は、安田千夏、安田益穂が行った。

【音声の編集】

- (1) コンパクトディスク（CD）の編集は、安田益穂が行った。公開録音のため、収録場所の環境ノイズをはじめ、話者の言いよどみ、言い直しと思われる箇所もあるが、資料の客観性と信頼性を損なわないことを第一と考え、長い沈黙部分や意味を持たない発音の一部を削除した以外の加工は行っていない。
- (2) 音声資料の媒体を決定するにあたり、広く普及しているコンパクトディスクとカセットテープを比較検討したが、保存性を第一に考え、コンパクトディスクを採用した。媒体の特性上、早送りや巻き戻しなど語学教材としての操作性を犠牲にした形になるが、実際の利用に際しては、下記【著

【著作権】の項に抵触しない限りにおいて、必要に応じてカセットテープやミニディスク（MD）などにダビングした上で利用されたい。

【パソコンデータの配布】

本書の文字データは、当館のインターネットホームページ上において無料公開する。下記【著作権】の項に抵触しない限りにおいて、ダウンロードして語彙や用例の検索等に有効活用されたい。同時に、本書の誤りや遺漏等もインターネット上で随時改訂していく予定なので、お気づきの点は積極的に指摘していただければ幸いである。

（ただし、諸般の事情により、一定期間を経て予告なしに当該データを削除したり、URLを変更する可能性がある。無料提供という性質上、この点はご了解いただきたい）

ホームページURL：<http://www.asahi-net.or.jp/kt9m-ysd/uepeker.html>

【著作権】

本書、添付のコンパクトディスク、ならびにインターネットデータの著作権はアイヌ民族博物館が所有する。

個人、およびアイヌ文化の伝承保存を目的とする団体、アイヌ語教室および学習会、研究・教育機関等において、学習、研究の目的で文字データ・音声データを利用する限りにおいて、複製・複写、加工および公開も可とする。しかし、営利目的、商業出版物等での無断使用はその一部または全部、素材データまたは加工データの別を問わず、固く禁じる。

アイヌ民族博物館収蔵上田トシ氏音声資料

(1997.3.31 現在)

番号	収録日	分類	内容	調査者等	収録場所
35224	1993.10.28 (北と南の文化交流)	ウエベケレ1	川上の村が飢饉になって、カラス神を供養して再び獺運に恵まれるようになる話	解説：奥田統己 (札幌学院大学助教授)	白老中央公民館講堂
35225	1994.10.2 (文化教室)	ウエベケレ2	六重の喪服を着た男	解説：奥田統己	アイヌ民族博物館ポロチセ
		ウエベケレ3	夜襲に滅ぼされた村の孤児姉弟の話 (以上2編、本書に収録)		
		ウエベケレ4	杯に小便をする女の話 (『ウエベケレ集大成』に類話あり)		
35226	1995.9.9 (聞取調査)	ウエベケレ5	沙流地方のある村が飢饉になり、千歳まで食糧を求めていく話	中川 裕 (千葉大学助教授) 安田千夏・村木美幸	同救護室
		ウエベケレ6	オキクルミの奥さんの手を心がけの悪い男が握り、怒って天界へ帰ってしまう話		
		生活文化	ムイ(箕)の使用法等		
35227	1995.9.10 (文化教室)	ウエベケレ7	ウエベケレ5と同内容	解説：中川 裕 進行：安田千夏	同ポロチセ
		日常会話	文化教室参加者の質問に答えて (新井田セイノ氏と) 『アイヌ民族博物館だより』No.31～32 に対訳掲載		
35228 35229	1995.10.26 (聞取調査)	ウエベケレ8	湧別のイクレスイエがフクロウ神から子供を授かる話	安田千夏 大谷洋一(道立アイヌ 民族文化研究センター 研究職員)	鍋沢キリ氏宅
		ウエベケレ9	交易に行った男が、帰途、みずばらしい姿をした実の父と妹に出会い、自分の素性を知る話		
		音楽	ヤイサマ(即興歌) オンネバシクル(遊び歌)		
35230	1995.11.10 (聞取調査)	ウエベケレ10	湧別の男が、神の知らせによって川で死にかけている女性を助ける話	安田千夏・村木美幸	上田トシ氏宅
35231	1996.3.25 (聞取調査)	ウエベケレ11	ホロケウカムイの子供が人間の男と暮らしていて、人間になりたいと願っていたところ、その通りになって男と結婚する話 (『ウエベケレ集大成』に類話あり)	安田千夏・飯塚晶子 千葉伸彦(音楽家)	上田トシ氏宅
		音楽	イヨンノッカ(子守歌)		
		植物利用	ニベシ(シナ)について		
35232	1996.3.25 (聞取調査)	ウエベケレ12	ランコの舟とアユシニの舟の喧嘩 (『ウエベケレ集大成』に類話あり)		
35234	1996.9.28 (文化教室)	ウエベケレ13	パナンベ・ペナンベ譚 「トドをだまして肉をとる話」	解説：本田優子	アイヌ民族博物館ポロチセ
		ウエベケレ14	ウサギ神の娘が人間の男と暮らしていたが正体を見られたので神の国へ帰った話		
		ウエベケレ15	河童神が人間の娘に恋をし娘の暮らしを助けるが、神々から談判され結婚をあきらめる話		
35235	1996.9.29 (アイヌ語合宿)	全般	アイヌ語合宿参加者との質疑応答	中川 裕・本田優子	同研修室
35236	1996.12.17 (聞取調査)	日常会話	日常会話の基本語彙	安田千夏・村木美幸	上田トシ氏宅

凡 例

1. アイヌ語の表記法

原則として『アコロイタク AKOR ITAK [アイヌ語テキスト1]』(1994, 北海道ウタリ協会), 『アイヌ語千歳方言辞典』(1995, 中川裕), 『アイヌ語沙流方言辞典』(1996, 田村すず子)に従っています。詳しくはこれらを手入し参照していただきたいのですが, 基本的な事項のみ以下に示します。

(以下, (1)~(6)は『アコロイタク AKOR ITAK [アイヌ語テキスト1]』の凡例より抜粋し, 補足を加えた)

- (1) アイヌ語の表記は, カタカナ・ローマ字を併記しました。

アイヌ語のローマ字表記法は, 日本語のローマ字表記法とは異なりますので注意が必要です。

表記文字一覧

ア	a-	イ	i-	ウ	u-	エ	e-	オ	o-
カ	ka-	キ	ki-	ク	ku-	ケ	ke-	コ	ko-
サ	sa-	シ	si-	ス	su-	セ	se-	ソ	so-
タ	ta-			トゥ	tu-	テ	te-	ト	to-
チャ	ca-	チ	ci-	チュ	cu-	チェ	ce-	チョ	co-
ナ	na-	ニ	ni-	ヌ	nu-	ネ	ne-	ノ	no-
ハ	ha-	ヒ	hi-	フ	hu-	ヘ	he-	ホ	ho-
パ	pa-	ピ	pi-	プ	pu-	ペ	pe-	ポ	po-
マ	ma-	ミ	mi-	ム	mu-	メ	me-	モ	mo-
ヤ	ya-			ユ	yu-	イエ	ye-	ヨ	yo-
ラ	ra-	リ	ri-	ル	ru-	レ	re-	ロ	ro-
ワ	wa-					ウェ	we-	ウォ	wo-

- (2) 単語の最後などにくる p, t, k, s, m, は, それぞれ プ, ツ, ク, シ, ム と表記しました。

例) ユプ マツ ユク オシ トウム
yup mat yuk os tum

ただし, -pp-, -kk-, -ss-, -mm-, -mp- という連続した音は, 次のように表記しました。

例) hosippa ホシツパ (ホシツパではなく)
yakka ヤツカ (ヤツカではなく)
assap アツサブ (アツサブではなく)
ramma ラムマ (ラムマではなく)
erampewtek エラムペウテク (エラムペウテクではなく)

また, 子音の r の音は, その直前の母音にしたがって, ラ, リ, ル, レ, ロ, と表記しました。

例) カラ シリ クル ケレ コロ
kar sir kur ker kor

- (3) 母音がつなげて発音されるときは, 次のように表記しました。

例) ainu aynu アイヌ
 inau inaw イナウ

この場合, y, w は子音扱いになりますが, カタカナ表記ではそれぞれイ, ウと大文字で表記します。

- (4) ai のように書かれている場合はア, イのように区切って発音されます。

例) yairayke 「感謝する」 (yayrayke 「自殺する」)

- (5) ひとつひとつの単語を区切って発音した場合と, 続けて発音した場合とは音が変わる場合があります。その場合, カタカナ表記は実際の発音がわかるように, ローマ字表記はひとつひとつの単語がわかるように表記しました。

例) ウェイ サンペ アコン ルスイ
 wen sampe a=kor rusuy

- (6) 「誰の」「誰が」「誰を」などを表す言葉(人称接辞)については, 理解しやすくするために便宜上ローマ字表記では=(イコール)を付けました。

(7) 「わたり」と思われる音は、カタカナ、ローマ字とも表記しませんでした。

例) ウエベケレ ウエベケレ パウェトク パエトク
 uwepeker uepeker pawetok paetok

(8) 分かち書き

ローマ字の分かち書きについては、原則として『アイヌ語沙流方言辞典』の語彙に準じました。

カタカナ表記も基本的にローマ字表記と同じ箇所に分けましたが、先の語尾と後の語頭の母音が続けて発音された語については、カタカナでは分かち書きせず、ローマ字では本来の形を分かち書きしました。

例) マテトゥン
 mat etun

2. 逐語訳

(1) 人称接辞（誰が、誰の、誰に／を）については、ローマ字表記の人称の位置に合わせて（ ）内に示しました。その場合、「～が／は」はそれを省略し、「～の」「～に／を」のみ示しました。

例) a=ki a=unuhu i=ye
 (私)ずる (私の)母 (私に)言う

また、人称接辞の単数・複数の別については、動詞が複数形の場合のみ人称接辞の逐語訳も複数であることを明示しました。

例) arpa=an paye=an an=an oka=an
 行く(私) 行く(私達) いる(私) いる(私達)
 単 複 単 複

単複の区別がある動詞は特定の語に限られており、ウエベケレの人称接辞は主格に関してはどちらも a=, =an で同じですので、形の上だけからでは行為者が単数なのか複数なのか判断がつかません。したがって、() 内の逐語訳が単数形であっても、前後の文脈から考えて複数形である場合は多々ありますので注意が必要です。

(2) 原則として一語一語に逐語訳を付けましたが、熟語については複数の語にまたがって逐語訳を付けた場合もあります。

例) hi kusu kesto an kor
 そのために 毎日

(3) 逐語訳はあくまで理解の手助けです。逐語訳に当てられるスペースはごく限られており、そこに示せる情報量もおのずと限界があります。品詞、自動詞・他動詞、単数・複数の別、ニュアンスなどは、逐語訳に示すことが不可能ですので、詳しくは辞書を参照することをお勧めします。

3. 注釈

注釈中の久保寺辞典とは、『久保寺逸彦編 アイヌ語・日本語辞典稿』(1992, 北海道教育委員会)を指します。その他、田村辞典、萱野辞典、中川辞典については、凡例の冒頭で掲げた各辞典です。

4. 行番号とタイムコード

本書は、音声資料つき書籍という性格上、音声データと文字データの対応をはかるためのいくつかの「しかけ」を施しています。

- 行頭に「0:00」の形式で示した数字は、コンパクトディスクのタイムコードで、「分：秒」の並びになっています。ウエベケレ1と2で、それぞれ0:00からはじまっています。

- [1]-1の形式で示した数字は、[段落番号]-行番号の並びになっています。段落は10行前後を目安に区切ってあります。通常の書籍では「×頁の 行目」といえば書籍中の位置を確定することができますし、本書もそういう利用法をしていただいてもよいわけですが、頁というのはあくまで紙媒体上での単位で、一枚の紙にどれだけの量が入ったか、ということに過ぎず、内容の区切りを意味しているわけではありません。

アイヌ語のローマ字とカタカナ、逐語訳、和訳、注釈等の文字データ、そして音声データ等の諸要素を相互に関連づけ、ひいてはインターネットやデータベースといった紙媒体以外の各種媒体とも対応をとるためには、一意的な所番地を決める必要があります、そのための数字が行頭に示してあります。これはあくまでひとつの試みであり、段落の区切りも必ずしも適切ではないかと思われます。通常の利用では不要ですが、アイヌ語学習に際して、一回の学習分量としての目安として使っていただいてもよいかと思えます。

ウエペケレ1

六重の喪服を着た男

あらすじ

主人公は父も母もない娘。

私はものごころついた時から誰もいない家に一人でいて、来る日も来る日も掃除をして暮らしていた。

ある日、家に六重の喪服を着た男が現れ、一緒に暮らし始めた。男は獵の名手で、たいへんな働き者だったので、何不自由なく幸せに暮らした。私は娘盛りになると求婚され、やがて子供を身ごもると、夫は喜び、いっそうよく働いた。

夫は、けもの解体や仕掛け弓のしかけ方など、男の仕事まで私に教えてくれたのだったが。

あるとき、夫は自分の境遇を物語る。「石狩で、父母、二人の兄、妹と一緒に暮らしていたのだが、兄たちはなぜか結婚もせず、自分だけが先に妻をもらった。しかし山獵から帰ってみると、妻はいなくなっていた。今まで六回妻をもらったが、皆いなくなってしまったので、家を出て六重の喪服を身を包み、放浪の旅をしていた」というのだ。

その石狩と一緒に来てほしいと請われた私は、身重なので、と一旦は断るが、夫の熱心な誘いに負けて、結局夫の願いを聞き入れることにした。

石狩への道すがら、夫は身重の私を気遣いつつも、木を削りながら進んでいく。わけを尋ねると、帰るときの目印にするという。石狩につくと、「何か恐ろしいことが起こった時には、ここに隠れなさい」と、村の近くの川岸の洞穴に荷物を隠し、父親達の家に向かった。

夫の父親たちの家は、村長の家であった。ちょうど酒宴が始まるところで、父親達は私達を歓迎してくれたかにみえたが、夫は酒に毒を盛られ、殺されてしまう。

悲嘆に暮れる私の前に、先妻（の幽霊）が現れる。女が言うには、夫の器量がいいのをねたんだ父親たちが、嫁たちを殺していたのだ。「早く逃げないとあなたも殺される。敵討ちだけを考えて早く逃げなさい」と告げて女は消える。私は先妻たちの加護によって無事追手を逃れ、夫の言にしたがって川岸の洞穴で男児をもうけ、夫のつけた木の目印に沿って家へと帰ることができたのだった。

夫を失った私は、毎日泣き暮らしていたのだが、子供もやがて弓矢で遊ぶようになり、夫から教わった狩りのしかたを教えると、やがて自分で獵ができるまでに成長したのだった。

……

主人公は、息子に代わる。

私が大きくなったある日、母は父のことを私に語って聞かせる。以来、私は何をすることも敵討ちのことばかり考えて暮らしていたが、ようやくその時を迎えた。

昔、私の父母が石狩へ向かった道を、父がつけた木の目印をたどって石狩へと着いた私は、一家全員皆殺しにして、ごみと一緒に燃やしてしまった。

かけつけた村人たちは、かつて毒殺された私の父をたいそう気の毒がり、「罰が下ったのだ」といって私の敵討ちを喜んでくれた。

父が昔住んだと思われる廃屋に一人立った私は、村人たちに手伝ってもらい先祖を供養した。

「あの世の神々のご加護のおかげで、昔、母も死なずに家へ逃げ帰れたし、今また私も敵討ちを成就することができましたので、神々も喜んでください。そして、殺されてあの世に行けずにいる父や先妻たちも、神の国へと行けますように」と私は祈りの言葉を捧げた。

私はその村の人たちに送ってもらい、母の待つ家へと向かった。家では母が泣いて喜び、村人たちにお礼を言っていたが、その村人たちの一部はそのまま残り、小さな村となって暮らすようになった。

私の母はこのように苦勞ばかりしたけれど、私も母をいたわって暮らし、やがて美しい妻をもらい、子供をもった様子を母も見て、幸せに死んでいった。私は祖父も父も知らずに大きくなったが、先祖を供養しながらたくさんの子供たちに囲まれて年をとったのであるが、「いつまでも祖父母、父を供養しておくれ」と言い残して死んでいくのだ　とひとりの男が語った。

- [1]-1 11-1 マク イキ ワ アナン ペ アネ ルウェ カ どうして自分がそうなのか
0:00 mak iki wa an=an pe a=ne ruwe ka
どう する して いる(私) もの (私)である こと も
- 2 アエランペウテック ノ, トゥムン トゥム タ わからないけれど, ほこりの中で
a=erampewtek no, tumun tum ta
(私)わからない して ほこり の中 で
- 3 ヤイエシカルンカアン マッカチ ものごころついた娘が
yayesikarunka=an¹ matkaci
気がつく(私) 娘
- 4 アネ ヒネ アナン ワ, オラノ 私であって, そして
a=ne hine an=an wa, orano
(私)である して いる(私) して それから
- 5 オナ カ サク ウヌ カ サク ノ 父もなく母もなく
ona ka sak unu ka sak no
父 も なく 母 も なく して
- 6 トゥムン トゥム タ アナン ペ ネ。 オラノ, ほこりの中で暮らしていた。そして
tumun tum ta an=an pe ne.² orano,
ほこり の中 で 暮らす(私)もの である それから
- 7 ヤイエシカルンカアン ヒ オラノ ものごころついた時から,
yayesikarunka=an hi orano
気がつく(私) とき から
- 8 ケシト アン コロ トゥムン 毎日ほこりを
kesto an kor tumun
毎日 ほこり
- 9 エソイネ アルラ アルラ, 外に運んで運んで,
esoyne a=rura a=rura,
外に (私)運ぶ (私)運ぶ
- 10 チセ オンナイ アルラ コロ アン。 家の中(のほこり)を運んでいた。
cise onnay a=rura kor an.
家 の中 (私)運ぶ しつつ いる
- [2]-1 0:32 オナ カ ウヌ カ アコロ ペ ネ アアン ヒネ, 私にも父や母がいたのだらう,
ona ka unu ka a=kor pe ne aan³ hine,
父 も 母 も (私)持つ もの である だったろう して
- 2 ウサ シントコ ネ ヤ パッチ ネ ヤ いろいろな行器や鉢が
usa sintoko ne ya patci ne ya⁴
いろいろな 行器 や 鉢 や
- 3 オカ コロカ, トゥムン トゥム タ オカ。 あるけれど, どれもほこりの中にあった。
oka⁵ korka, tumun tum ta oka.
ある けれど ほこり の中 に ある

1 ; yay-esikarun-ka 「自分自身を・～を覚えている・させる」

2 ; ウエベケレではこのように自らの生いたち, 家族構成等を明らかにするところから物語が始まるのが一般的である。ここではほこりの中でたった一人で暮らしていたとあり, 家族が誰もいなくなってからかなりの年月が経っていることを示しているが, それがどうした理由なのかは以後も明らかにされていない。

3 ; 「だったのだなあ(ということがあとからわかった)」というニュアンス。「どうしてわかったのか」は, 次行から漆器類や女の道具などが根拠として挙げられている。

4 ; 行器や鉢は漆塗りの製品で, そのほとんどは江戸時代後半から盛んになった北前船の交易によって本州からもたらされたものである。裕福な家ほどその数が多かったとされているので, 主人公の家は過去, 並以上の暮らしぶりであったことがうかがえる。

5 ; okaは「いる, ある」という意味の動詞の複数形で, 単数形はan。以下動詞の単数・複数は訳中に明示せず, 必要に応じて注釈に記した。

- 4 **アウヌフ エイワンケ ワ ネ クニ アラム** 母が使ったと思われる
a=unuhu eywanke wa ne kuni a=ramu
(私の)母 使う して である だろうと (私)思う
- 5 **メノコ エイワンケ ヲ カ アン ヒネ,** 女の道具もあって,
menoko eywanke p ka an hine,
女 使う もの も ある して
- 6 **ネ ワ オカイ ベ アナクネ アウオマレ コロ** それらは片づけながら
ne wa okay⁶ pe anakne a=uomare kor
今言ったこれらのもの は (私)片づける しつつ
- 7 **シツチャシヌレアン。** 掃除した。
sir-casnure=an.⁷
辺りを掃除する(私)
- [3]-1 **トゥムン エソイネ アルラ アルラ コロ アナン** ほこりを外に運んで運んで
0.51 tumun esoyne a=rura a=rura kor an=an
ほこり 外に (私)運ぶ (私)運ぶ しつつ いる(私)
- 2 **アイネ, チセ オンナイ アオケレ ヒ,** ようやく家の中が終わると,
ayne, cise onnay a=okere hi,
したあげく 家 の中 (私)終わる とき
- 3 **オラノ アナクネ チセ ソイ アチャシヌレ,** こんどは外を掃除した。
orano anakne cise soy a=casnure,
それから は 家 外 (私)掃除する
- 4 **チセ オカリ ムンケレケリアン ネ ヤ** 家のまわりのほこりを掃除したり
cise okari mun-kerkeri=an⁷ ne ya
家 周り ほこりを掃きさらう(私) など
- 5 **ナ ネン ネン イキアン。** 他にもいろいろなことをした。
na nen nen iki=an.
まだ あれこれ する(私)
- 6 **ヌサ カ アン ペ ネ クス,** 祭壇もあるので,
nusa⁸ ka an pe ne kusu,
祭壇 も ある もの である ので
- 7 **ネ ヌサ ネ ヤッカ ピリカノ アチャシヌレ コロ** その祭壇もきれいに掃除して,
ne nusa ne yakka pirikano a=casnure kor
その 祭壇 であっても よく (私)掃除する しつつ
- 8 **ケスト ケスト ネノ アナン アイネ,** 毎日毎日そのように暮らしていて,
kesto kesto neno an=an ayne,
毎日 毎日 そのように 暮らす(私) したあげく
- 9 **フムネ アン コロ ケメイキ ネ ヤ アキ コロ** ときどきは針仕事などもして
humne an kor kemeyki⁹ ne ya a=ki kor
ときどきは 針仕事 など (私)する しつつ
- 10 **アナン ペ ネ ア ヲ,** いたところ,
an=an pe ne a p,¹⁰
いる(私) もの だったが

6; okayとokaは同じ意味の動詞だが、方言によって形が変わる。沙流方言では普通okaだが、あとにpaやpeが続く場合のみ、okayという形をとる。

7; casnureは他動詞なのでaがつくのが本来の形だが、この場合は、sir「辺り」という目的語をとって自動詞として使っているため、=anがついている。[3]-4のmun-

kerkeri=anも同じ。

8; その家で祭られる神々のイナウ(木幣)が立ててあり、幣棚とも言う。礼拝をする場所で、家の東側にある。

9; 針仕事は女の第一の素養で、幼いころから練習する。

10; ここまでが生いたちの説明。ここから本題にはいる。

- [4]-1 シネアント スイ チセ オンナイ カ ある日また(掃除をして)家の中も
1:27 sineanta suy cise onnay ka
ある日 また 家 の中 も
- 2 アオケレ ヒ オケレ ヒ オラ すっかり終わってから
a=okere hi okere hi ora
(私)終わる こと 終わる してから
- 3 ケメイキアン コロ アナン ルウェ ネ アクス, 針仕事をしていると,
kemeyki=an kor an=an ruwe ne akusu,
針仕事する(私) しつつ いる(私) こと である したところ
- 4 エソイネ フマシ クス 外で音がするので
esoyne humas¹¹ hi kusu
外に 音がする こと だから
- 5 ソイネアン ヒネ インカラアン アクス, 出て見てみると,
soyne=an hine inkar=an¹² akusu,
外に出る(私) して 見る(私) したところ
- 6 アイヌ ヌカラ カ アエラミシカリ ヲ ネ コロカ, 人間を見たこともなかったけれど,
aynu nukar¹² ka a=eramiskari¹³ p ne korka,
人間 見る も (私)したことがない もの だ けれど
- 7 オッカヨ セコン ネ クニ アラム クル 男と思われる人が
okkayo sekor ne kuni a=ramu kur
男 と言う べき (私)思う 人
- 8 ソイ タ アン ヒ ネ ア ヲ, オラ 外にいた。それは
soy ta an hi ne a p, ora
外 に いる こと だったが そして
- [5]-1 イワン チョクサミッ ミ カネ アン 六重の喪服を着た
1:54 iwan cokusamip¹⁴ mi kane an
六 喪服 着る して いる
- 2 オッカヨ ネ ヒ クス, アアフンケ クス 男の人で, 入るように
okkayo ne hi kusu, a=ahunke¹⁵ kusu
男 である だから (私)入れる するために
- 3 アイェ アクス オラ アフン ヒネ, 言うと入ってきて,
a=ye akusu ora ahun hine,
(私)言う すると そして 入る して
- 4 オラ シケ エピタ ヒネ ピリカ サッカム 荷物を広げておいしそうな干肉を
ora sike epita hine pirka satkam
そして 荷物 を広げる して よい 干し肉
- 5 サンケ ヒネ イスパレ クス イェ クス 出し, 私に料理するように言うので
sanke hine i=supare¹⁵ kusu ye kusu
出す して (私)に料理させる ために 言う ので
- 6 アスバ ヒネ アコレ アクス, 料理して差し出した。すると
a=supa hine a=kore akusu,
(私)料理する して (私)与える したところ

11; hum-as「音・立つ」。日本語でも「声を立てる」は言うが、アイヌ語でも「音がする」「雨が降る」「風が吹く」「噂が立つ」等、どれもas「立つ」と表現する。

12; inkarも nukarも「見る」だが、この場合のように、目を向けただけで、特に「何かを」見たわけではない時には inkar(自動詞)、その結果何かに目が行って「~を見た」という時には nukar(他動詞)を使う。「私が見た」のであれば、人称接辞は inkar=an, a=nukar になる。

13; 各辞典ともエラムシカリ eramsikari の形で出ている。

14; iwan c-okus-amip「六つ 裏返した着物」。昔、夫や妻に先立たれた人が着たと言う。6という数字には「数多い」というニュアンスが含まれる。異様な風体だが、物語はこの男の服装が暗示するとおりの展開を見せる。

15; ahun-ke「入る・させる」。supa-reは「料理する・させる」。動詞の語尾について「~させる」を表す語は、-re, -te, -ka, -ke, -e等がある。

- 7 ヤイカタ カ アエ ヤク ピリカ
yaykata ka a=e yak pirka
自分 も (私) 食べ たら いい
自分でも食べたらいい
- 8 セコロ イイエ ヒ クス,
sekor i=ye hi kusu,
と (私に) 言う だから
と私に言うので、
- 9 アエ クシケライボ ピリカ アエ プ
a=e kuskeraypo pirka a=e p
(私) 食べる おかげで よい (私) 食べる もの
おかげでおいしいものを
- 10 アエ ルウェ ネ ア プ,
a=e ruwe ne a p,
(私) 食べる こと であったが
食べられたのだった。
- [6]-1 オラ ニサッタ ネ アニケ,
2:22 ora nisatta ne an hike,
そして 翌日 になる したが
そして翌日になったが、
- 2 ネウン カ アヲパ プ ネ クナク アラム アクス, (男は) どこかへ行くだろうと思ったら
neun ka arpa p ne kunak a=ramu akusu,
どこへ も 行く もの である だろうと (私) 思う したところ
(男は)どこかへ行くだろうと思ったら
- 3 ネウン カ アヲパ カ ソモ キ ノ,
neun ka arpa ka somo ki no,
どこへ も 行く も しなない し て
どこへ行くでもなく、
- 4 オラノ エキムネ コロ ユク セ ワ イワク,
orano ekimne kor yuk se wa iwak,
そして 山に行く して 鹿 背負う して 帰る
山へ行って鹿を背負っては戻り、
- 5 カムイ ネ ヤッカ セ ワ イワク
kamuy ne yakka se wa iwak
熊 であつても 背負う して 帰る
熊までも背負っては戻り
- 6 ランケ コロ アン。
ranke kor an.¹⁶
何度もする しつつ いる
ということが何度もあった。
- 7 エアヲキンネ アリキキ クル ネ アニネ,
earkinne arikiki kur ne an hine,
とても よく働く 人 として ある して
とても働きもので、
- 8 ...ウサ ニナ ネ ヤ ナ ネン ネ ワ
usa nina ne ya na nen ne wa
いろいろ 薪とり など もっと どう である して
薪とりなどなど、何をするのも
- 9 トウラノ オカアン。 ラボッケ,
turano oka=an. rapokke,
一緒に いる(私達) そうしているうち
一緒であった。そうしているうち、
- [7]-1 タネ ボンメノコ ネ アナン ルウェ ネ
2:46 tane ponmenoko ne an=an ruwe ne
今はもう 若い娘 に なる(私) こと である
今は私も年頃になった
- 2 アクス, オラ エネ ハウエアニ。
akusu, ora ene hawean hi.¹⁷
したところ そして 次のように言った
ところ,(男は)こう言った。

16; 狩りが上手であるという描写。アイヌの考え方では、狩りは単なる技術ではなく、神(カムイ)が味方してくれているからこそ獲物がとれるのであって、人徳に数えら

れる。(注60参照)
17; 慣用句で、このあとセリフが続くことを示す。

- 3 「マッ ネ イコン ルスイ」
 “ mat ne i=kor rusuy ”
 妻 として (私を) 持つ したい
 「妻になってくれ」
- 4 セコロ ハウェアン ヒ クス アコパン ヒケ
 sekor hawean hi kusu a=kopan hike
 と 言う ので (私) 断る したら
 と言うので、断っても
- 5 マク イキアン ペ アン セコロ ヤイヌアン,
 mak iki=an pe an sekor yaynu=an,
 どう する(私) もの ある と 思う(私)
 どうするあてもない、
- 6 アイヌ ヌカラ カ アエラミシカリ ノ
 aynu nukar ka a=eramiskari no
 人間 見る も (私) したことがない して
 人間を見たこともなく
- 7 アナン ペ アコパン ヤッカ
 an=an pe a=kopan yakka
 いる(私) もの (私) 拒む であつても
 暮らしていた私が、断ったところで
- 8 エネ イキアニ カ イサム ペ ネ クス,
 ene iki=an hi ka isam pe ne kusu,
 このように する(私) こと も ない もの なので
 どうするあてもないので、
- 9 アエエセ ヒネ マチヒ ネ アナン ヒネ
 a=eese¹⁸ hine macihi ne an=an hine
 (私) 同意する して 妻 に なる(私) して
 承知して妻になって
- 10 トウラノ アナン ルウェ ネ。
 turano an=an ruwe ne.
 一緒に 暮らす(私) こと である
 一緒に暮らすようになった。
- [8]-1 アクス オラノ ポヘネ エヤイコプンテク ワ
 3:18 akusu orano pohene eyaykopuntek wa
 すると そして なおさら 喜ぶ して
 すると (夫は) なおさら喜んで
- 2 アリキキ クル ネ ヒネ, ネッ アエ ルスイ
 arikiki kur ne hine, nep a=e rusuy
 よく働く 人 である して 何 (私) 食べる したい
 働くので、何を食いたいとも
- 3 アコン ルスイ カ ソモ キ ノ アナン。
 a=kor rusuy ka somo ki no an=an.¹⁹
 (私) 持つ したい も しない する して いる(私)
 欲しいとも思わないで暮らしていた。
- 4 オラ ウサ チコイキッ コロ ワ イワク コロ
 ora usa cikoykip²⁰ kor wa iwak kor
 そして いろいろな 獲物 持つ して 帰る と
 そして獲物をとって帰ると
- 5 「タンペ ネノ アリ ヲ ネ」
 “ tanpe neno a=ri p ne ”
 これ そのように (私) 剥ぐ もの である
 「こうさばくのだよ」
- 6 セコン ネ ヤ イエパカシヌ,
 sekor ne ya i=epakasnu,
 と など (私に) 教える
 などと私に教え、
- 7 クアリ ネ ヤ イエパカシヌ コロ
 kuari ne ya i=epakasnu kor
 仕掛け弓 など (私に) 教える しつつ
 仕掛け弓なども私に教えて

18 ; e-e-se 「～について・はい・という」。seは擬声・擬音などにつく言葉。例えば、paw-se 「パウ・という」は、「キツネが鳴く」という意味になる。

19 ; nep a=e rusuy ~ somo ki no a=anは、何不自由なく幸せに暮らしている様を表わす常套句。

20 ; ci-koyki-p 「我々が・獲る・もの」=えもの

- 8 **アナン ペ ネ ア フ,**
an=an pe ne a p,²¹
いる(私) もの だったが いたのだった。
- [9]-1 **タネ トウラノ アナン ペ ネ クス**
3:45 tane turano an=an pe ne kusu
今では 一緒に いる(私) もの である ので 今は一緒に暮らしているので
- 2 **アコホンコロ ヒネ アクス,**
a=kohonkor hine akusu,
(私) 妊娠する して したところ 子を身ごもったところ,
- 3 **オラノ ポヘネ エヤイコブンテク ワ**
orano pohene eyaykopuntek wa
それから なおさら 喜ぶ して それからなおさら喜んで
- 4 **イエヤム ネ ヤ アリキキ クル ネ ヒネ**
i=eyam ne ya arikiki kur ne hine
(私を) 気遣う など よく働く 人 である して 私を気遣うやら, 仕事に精を出すやらで
- 5 **トウラノ アナン ペ ネ ア フ,**
turano an=an pe ne a p,
一緒に いる(私) もの だったが 一緒に暮らしていたが,
- 6 **エネ ハウエアニ。**
ene hawean hi.
次のように言った (夫は) 次のように言った。
- [10]-1 **「イシカツ タ アオナ アン,**
4:02 " iskar ta a=ona an,
石狩 に (私の)父 いる 「石狩に父がいて,
- 2 **アウヌ アン ヒネ トウ ユフ アコロ,**
a=unu an hine tu yup a=kor,
(私の)母 いる して 二人の 兄 (私)持つ 母がいて, 二人の兄がいて,
- 3 **アマタキ カ アン ヒネ オカアン ペ ネ ヒケ,**
a=mataki ka an hine oka=an pe ne hike,
(私の)妹 も いる して 暮らす(私達) もの である したが 妹もいて暮らしていたが,
- 4 **マク ネ ワ ネ ヤ アユプタリ**
mak ne wa ne ya a=yuputari
どう である して である か (私の)兄達 どういうわけか兄達は
- 5 **マテトゥンパ カ ソモ キ ノ オカ,**
mat etunpa²² ka somo ki²³ no oka,
女 を嫁にもらう も しない する して いる 妻をもらわないでいた。
- 6 **ラボッケ ヤイカタ アナクネ**
rapokke yaykata anakne
その間 自分で は その間, 私は
- 7 **マテトゥンアン ヒネ マッコロアン コロ,**
mat-etun=an hine matkor=an kor,
嫁をもらう(私) して 妻を持つ(私) すると 妻をもらって暮らしていたが,

21; 狩りは男の仕事であり, 夫を持った女には不要な知識であることから, この男が自らの死を予感していることがわかる。この後も男のわけありな行動が続き, 物語後半への伏線となっている。

22; etunpaの-paは, 動詞の語尾について「二人以上/二つ以上が~する」ことを表す。この場合は, 二人の兄の両方とも妻をもらわなかったということ。以下, 動詞に a=, =anなどの人称接辞が何もつかずに語尾に-paがつい

ていれば, 「彼らが」(三人称複数)である場合が多い。(「彼が何度も~する」の場合もある)。

23; アイヌ語と日本語はほとんど語順が同じだが, iteki, somoなど否定, 禁止を表す場合のみ, 日本語とは語順が逆になる。somo ki「しない する」する。itek cis「するな・泣く」泣くな。

somo ki noは慣用句で「せずに」。

- 8 **マク ネ ワ ネ ヤ, エキムネアン ヒネ**
mak ne wa ne ya, ekimne=an hine
どう である して である か 山獵に行く(私) して
どういうわけか山獵へ行って
- 9 **イワカン コロ オアラ イサム ワ,**
iwak=an kor oar isam wa,
帰る(私) すると 全く いなくなる して
帰ってくると妻がいなくなっていて,
- [11]-1 **アオナウタリ エウンノ アコピシ コロ**
4:33 a=onautari eunno a=kopisi kor
(私の)父達 に対して (私)尋ねる すると
両親に訊いても
- 2 **ウコエラミシカリ ヤク イェパ コロ**
ukoeramiskari²⁴ yak yepa kor
皆知らない と 言う しつつ
誰も知らないと言って,
- 3 **イワン マツ タネ アコロ ワ**
iwan mat tane a=kor wa
六人の 妻 今では (私)持つ して
六人の妻を今までにもらって
- 4 **オピッタ イサム ワクス,**
opitta²⁵ isam wakusu,
皆 いなくなる ので
皆いなくなってしまったので,
- 5 **ヤイケシテアン ネ ヤ キ ワ,**
yaykeste=an ne ya ki wa,
家出する(私) など する して
私は家出して
- 6 **チョクサミフ パテク アミ カネ ワ**
cokusamip patek a=mi kane wa
喪服 ばかり (私)着た ままで して
ずっと喪服ばかり着て
- 7 **オマナナン ペ ネ**
omanan=an pe ne
旅する(私) 物 である
旅していたのだ
- 8 **セコロ ハウェアン コロ アン ペ ネ ア プ,**
sekor hawean kor an pe ne a p,
と 言う しつつ いる 物 だったが
と言っていたのだが,
- [12]-1 **ネア イシカラ オルン アラパ ルスイ ヤク**
4:56 nea iskar or un arpa rusuy yak
件の 石狩 の所 へ 行く したい と
その石狩に行きたいと
- 2 **イエ コロ イシレン ヒ クス アココパン。**
ye kor i=siren hi kusu a=kokopan.
言う しつつ (私に)行こうと誘う なので (私)断る
言って一緒に行こうと誘うので、断った。
- 3 **「タネ ヌワパエハンケアン ワクス**
“ tane nuwap-ehanke=an²⁶ wakusu
今では お産が近くなる(私) なので
「今はお産も近いので
- 4 **アトゥラ ヌクリ」セコロ ハウェアナン。**
a=tura nukuri” sekor hawean=an.
(私が)一緒に行く しづらい と 言う(私)
一緒には行けない」と私は言った。
- 5 **「ヤイコソソアン ナ」**
“ yaykososo=an na”
妊娠して腹が大きくなる(私) よ
「私は身重なのですよ」

24; uko-は「互いに」と訳されるが、複数の人間が関わる場合にも用いられ「皆が」と訳される。

25; opittaは、二つ以上あるものの全部、後出の epittaは、一

つのものの全体を言う。ここでは「六人が六人とも」。

26; nuwap-ehanke=an「お産・～が近くなる・私が」。他動詞 ehankeが目的語をとって自動詞化したもの。

- 6 **セコロ ハウエアナン ヤッカ** と言ったけれど、
 sekor hawean=an yakka
 と 言う(私) であっても
- 7 **ネン ポカ イトゥラ ルスイ コロ アン アイネ、** なんとか一緒に連れて行きたくって、
 nen poka i=tura rusuy kor an ayne,
 何とか (私を)連れて行く したい しつつ ある したあげく
- 8 **エイタサ イェ ルイ ヒ クス** あまり熱心に言い続けるので、
 eytasa ye ruy hi kusu
 あまり 言う 激しい ので
- 9 **オラ アトゥラ クナク アイェ コロ オラ** ならば一緒に行くと言って
 ora a=tura kunak a=ye kor ora
 そして(私)一緒に行く と (私)言う すると そして
- 10 **アトゥラ ヒネ パイエアン ルウェ ネ ヒネ、** 一緒に行くことになった。
 a=tura hine paye=an²⁷ ruwe ne hine,
 (私)一緒に行く して 行く(私達) こと である して
- [13]-1 **シウエンテアン ペ ネ クス** (身重の)私は歩くのが遅いので
 5.30 siwente=an pe ne kusu
 歩くのが遅い(私) もの である ので
- 2 **ホシキ アヲバ コロ オラ シロトウイェ ネ ヤ** (夫が)先回りして草を刈ったり、
 hoski arpa kor ora sirotuyeye ne ya
 先に 行く しつつ そして 草を刈る など
- 3 **アヲバ ヒ エピッタ ニ ケウレ コロ パイエアン。** 道すがら木を削りながら私たちは進んだ。
 arpa hi epitta²⁸ ni kewre kor paye=an.
 行く 所 みんな 木 削る しつつ 行く(私達)
- 4 **「ヘマンタ ネ エネ ニ ケウレ コロ アヲバ?」** 「どうして木を削りながら行くの?」
 “ hemanta ne ene ni kewre kor arpa? ”
 何のために このように 木 削る しつつ 行く
- 5 **ヒ アイェ ヒケ カ、** と訊いても、
 hi a=ye hike ka,
 こと(私)言う すること も
- 6 **「ネウン カネ ホシピアン コロ** 「どうにかして帰ろうとしたときには、
 “ neun kane hosipi=an kor
 どうにか して 戻る(私) すれば
- 7 **オラ タン アケウレ チクニ アオベシ ヤクン** この削った木に沿えば
 ora tan a=kewre cikuni a=opes yakun
 そして この (私)削る 木 (私)沿う ならば
- 8 **トゥナシノ アウニ ウン シレパアン クス** 早く家に着けるから、
 tunasno a=uni un sirepa=an kusu
 早く (私の)家 に 着く(私) ので
- 9 **ニケウレアン シリ ネ、** 木を削っているのだよ、
 ni-kewre=an siri ne ”
 木を削る(私) 様子 である
- 10 **セコロ ハウエアナン コロ パイエアニ エピッタ** と言って、道すがらずっと
 sekor hawean kor paye=an hi epitta
 と 言う しつつ 行く(私達) 所 みんな

27 ; payeは「行く」の複数形。単数形はarpa。

28 ; 注25参照。この場合は、その前の arpa hi「行く所」を受けていて、「行く途中のどこもかしこも」の意。

- 11 **ニ ケウレ コロ パイエアン,**
ni kewre kor paye=an,
木 削る しつつ 行く(私達)
- 14]-1 **オラ レウシアン ウシ アン コロ**
6:00 ora rewsian usi an kor
そして 泊る(私) 所 ある すると
- 2 **ヤッ チセ カラ ワ, ピリカ ヤッ チセ**
yar cise²⁹ kar wa, pirka yar cise
木の皮 家 作る して よい 木の皮 家
- 3 **カラ ワ オロ タ レウシアン, オラ**
kar wa oro ta rewsian, ora
作る して その場所で 泊る(私) そして
- 4 **ス アナクネ (ホシカリ ニ) ...ニ オロ ワ**
su³⁰ anakne hosikari³¹ ni ni or wa
鍋 は ? 木 の所 から
- 5 **ラチッケレ コロ パイエアン アイネ,**
racitkere kor paye=an ayne,
ぶらさげる しつつ 行く(私達) したげあく
- 6 **ネ イシカツ タ パイエアン ルウェ ネ。**
ne iskar ta paye=an ruwe ne.
その 石狩 に 行く(私達) こと である
- 15]-1 **ウペペ ワッカ.....ペツ カ ポロ ヒ オラ**
6:22 upepe wakka³²... pet ka poro hi ora
雪解け水 川 も 大きくなる 所 から
- 2 **ペックシ タ インネ コタン アン**
petkus ta inne kotan an
川向こう に 人口が多い 村 ある
- 3 **シリキ アクス,**
sirki akusu,
様子が見える したところ
- 4 **「トアン コタン アコタヌ ネ」**
"toan kotan a=kotanu³³ ne"
あの 村 (私の)村 である
- 5 **セコロ ハウエアン コロ**
sekor hawean kor
と 言う しつつ
- 6 **ペツ サム ペカ アツカサツカサン コロ**
pet sam peka apkas-apkas=an³⁴ kor
川 ほとり を 歩く歩く(私) しつつ
- 7 **オカアン アクス,**
oka=an akusu,
いる(私達) したところ
- 木を削っていった。
- そして泊れる場所があると
- 木の皮の家を建て、きれいな仮小屋を
- 建ててそこに泊り、
- 鍋は木から
- ぶらさげながら進んで、とうとう
- その石狩に着いたのであった。
- 雪解け水で川も大きくなったところから
- 川向こうに大きな村がある
- のが見えたところ、
- 「あの村が俺の村だよ」
- と(夫は)言いながら、
- 川沿いになおずんずん歩いて
- いくと、

29; 山猟に行った時など、一時的に寝泊まりする小屋のこと。
kuca「狩小屋」に同じ。

30; もちろん鉄鍋を木にぶらさげた訳ではない。旅先では、
樹皮で作った鍋(ヤラ ス yar su)を用いた。猟に行く時
や旅先では、このように山にあるもので生活物資を代用
し、極力荷物を少なくするよう努めた。

31; 「ホシカリ」と聞こえるが、horikasi「上から」か。後半
の同じ場面ではni ka wa「木・の上・から」と言っている。

32; wakkaのあとにnut(?)と聞こえるが、トシさんによると
不要とのこと。春先の出来事であることがわかる。

33; kotanもkotanuも共に「村」であるが、「私の村」と言う
ときにはkotanuと形が変わる。前者を概念形、後者を所
属形という。a=に(私の)と逐語訳がついていれば、続
く名詞はすべて所属形である。

34; 動詞を重ねて「さんざん~する」の意をつくる合成語も
ある。

- [16]-1
6.38 **ピリカ ポンチセ ヘネ ネノ カネ アン トシリ,** 手頃な小屋のような川岸の洞穴,
pirka poncise hene neno kane an tosir,³⁵
よい 小さい家 でも かのうな 川岸の洞穴
- 2 **ピリカ トシリ アン アクス,** きれいな洞穴があるので,
pirka tosir an akusu,
きれいな 川岸の洞穴 ある すると
- 3 **「テタ ネブ カ アエキマテク ヘネ キ ヤクン** 「ここで何か恐ろしいことでもあれば
“teta nep ka a=ekimatek hene ki yakun
ここで 何 か (私)で驚く でも する ならば
- 4 **タン トシリ オツ タ ヌイナカン ヤッカ** この川岸の洞穴に隠れたら
tan tosir or ta nuynak=an yakka
この 川岸の洞穴 の所 に 隠れる(私) であっても
- 5 **ピリカ ルウェ」セコロ ハウエアン コロ コンド** いいよ」と言いつつ,
pirka ruwe” sekor hawean kor konto³⁶
いい よ と 言う しつつ こんど
- 6 **「テタ アシケ カ オピッタ** 「ここに荷物も全部
“teta a=sike ka opitta
ここに(私の)荷物 も 皆
- 7 **アヌイナ ワ パイエアン ロ」セコロ** 隠していこう」と
a=nuyna wa paye=an ro” sekor
(私)隠す して 行く(私達) しよう と
- 8 **ハウエアン ワ, セ ワ オカイ ペ オピッタ** 夫は言って、背負っているもの全部
hawean wa, se wa okay pe opitta
言う して 背負う して いる もの 皆
- 9 **ネ トシッ チョロポク オッタ アヌイナ ヒネ** その川岸の洞穴の下に隠し,
ne tosir corpok or ta a=nuyna hine
その 川岸の洞穴 の下 の所 に (私)隠す して
- 10 **オラ アテケ アニ ヒネ** 私の手を取って,
ora a=teke ani hine
そして (私の)手 持つ して
- 11 **ペッカスアン ヒネ パイエアン ルウェ ネ。** 歩いて川を渡っていった。
petkasu=an hine paye=an ruwe ne.³⁷
川を歩いて渡る(私) して 行く(私達) こと である
- [17]-1
7.13 **アクス, ホスキ アラバ ヒネ** すると,(夫が)先に行って,
akusu, hoski arpa hine
すると 先に 行く して
- 2 **コタン ノシキ ウン クル オナハ ネ** むらあさ村長が父だ
kotan noski un kur³⁸ onaha ne
村 真ん中 にいる 人 父 である
- 3 **ヤク イェ プ ネ クス ナニ エウン アフン。** と言うので、すぐその家に入った。
yak ye p ne kusu nani eun ahun.³⁹
と 言う もの である ので すぐ そこへ 入る

35; 川岸が川の流れて丸くえぐられて、がけ下のようになっている所。

36; 日本語の「こんど」と同じで、話の合間に入る言葉。

37; 身重の女が石狩川を越えることは難しいが、トシさんによると、tosirに荷物を全部置いて身軽になったので、越えることができたのだ、とのこと。

38; kotan-noski-un-kur「村・真ん中・にいる・人」=村長。

39; ahunは単数形(一人が入る), ahupが複数形(二人以上

が入る)なので、家に入ったのは夫ひとりであることが言葉の形からもわかる。

アイヌの作法では、まず咳払いや物音で来たことを家の者に気づかせ、出てきた取り次ぎの者に来意を告げてから入るのが習わしで、夫婦者の場合は妻は夫について入る。いきなり夫一人で入って行くというのは唐突な印象を受けるが、事件を予感して、妻が巻き込まれないようにそうしたのだろうか。

- 4 イシレン カ ソモ キ ノ ナニ アフン。 私に入れとも言わずすぐひとりで入った。
i=siren ka somo ki no nani ahun.
(私に)行こうと誘う も しない する して すぐ 入る
- 5 オラ ソイ タ (私は)外で
ora soy ta
そして 外 に
- 6 ニス カ タ アシケヘ アアヌ ヒネ 白の上に荷物を置いて
nisu⁴⁰ ka ta a=sikehe a=anu hine
白 の上 に (私の)荷物 (私)置く して
- 7 シニアン ヒネ アナン ルウェ ネ アクス, 休んでいたところ,
sini=an hine an=an ruwe ne akusu,
休む(私) して いる(私) こと である したところ
- 8 オロ タ ビリカ オケレ ポンメノコ そこにとてもきれいな娘が
oro ta pirka okere ponmenoko
その場所に きれい 非常に~である 若い娘
- 9 ソイネ ヒネ, エアラキンネ 出てきて, ひどく
soyne hine, earkinne
外に出る して とても
- 10 イエランポキウエン ハウコカリ, イケムヌ ワ, 「可哀想に」「気の毒に」と何度も言っ
i=erampokiwen hawkokari,⁴¹ i=kemnu wa, 同情し,
(私を)哀れむ 繰り返し言う (私を)気の毒に思う して
- [18]-1 「アユビヒ ヒナク ワ カ 「お兄さんがどこからか
7-43 “ a=yupihi hinak wa ka
(私の)兄 どこ から も
- 2 エネ ビリカ メノコ ウタラ こんなにきれいな女の人達を
ene pirka menoko utar
このように きれいな 女 達
- 3 エトウン ワ アキバ ヒケ カ, 嫁にもらってくるけれど,
etun wa arkiba hike ka,
嫁に貰う して 来る しても
- 4 マク ネ ワ ネ ヤ イサム ランケ アイネ, なぜか皆いなくなってしまう, とうとう
mak ne wa ne ya isam ranke ayne,
どう である して である か いなくなる 何度もする したあげく
- 5 タネ ヤイケシテ ワ ネウン カ アラパ ワ 今では(兄は)家出してどこかに行って
tane yaykeste wa neun ka arpa wa
今や 家出する して どこかへ か 行く して
- 6 ホシピ ソモ キ クナク 帰ってこないと
hosipi somo ki kunak
戻る しない する と
- 7 アラム コロ オカアナ フ, 思っていたが,
a=ramu kor oka=an a p,
(私)思う しつつ いる(私達) だったが

40; 通常, 白はセム(チセの西側についている物置小屋兼玄関)の中に置くものなのだが, 文脈からは以下の会話がセムの中で行われたのかどうか, 定かではない。いずれにしても, 夫に取り残されて, 入るタイミングを逸してしまったのである。

41; haw-ko-kari「声・と共に…を回す」=何度も繰り返し言う。本書に3回出てくる動詞だが, いずれも直前に動詞がくる変則的な形(ここでは後にも来る)。『アイヌ語

音声資料』(1991. 早稲田大学語学研究所)の用例も, 自動詞ではあるが動詞がすぐ前にきている。文脈からみて, どの組み合わせも「~の言葉を何度も言う」と解釈できるので, 語頭のhawが前の動詞を名詞化する働きをもつのだらうか?

- 8 **エネ スイ ピリカ メノコ トウラ カネ ワ** こんなにまたきれいな女の人と一緒に，
ene suy pirka menoko tura kane wa
このように また きれいな 女 連れる して して
- 9 **オラ ヤッカ ヤイコソソ カネ アン** しかもお腹の大きい
ora yakka yaykososo⁴² kane an
そして それでも お腹の大きい して いる
- 10 **ボンメノコ トウラ ワ エク ルウェ アン**」 娘さんと一緒に来たのだね」
ponmenoko tura wa ek ruwe an⁴³
若い娘 連れる して 来る こと ある
- 11 **セコロ ハウエアン コロ** と言って，
sekor hawean kor
と 言う しつつ
- [19]-1 **イクムヌ ハウコカリ コロ** 「気の毒に」と何度も言いながら，
8:10 i=kemnu hawkokari kor
(私を)気の毒に思う 何度も言う しつつ
- 2 **アテケ アニ ヒネ アフナン ルウェ ネ。アクス**，私の手をとって家の中に入って行くと，
a=teke ani hine ahun=an⁴³ ruwe ne. akusu,
(私の)手 持つ して 入る(私) こと である したところ
- 3 **ネ チセ オンナイ タ** その家の中では
ne cise onnay ta
その 家 の中 に
- 4 **サケ ク エトコ オイキバ コロ** 酒宴の準備をして
sake ku etoko oykipa kor
酒 飲む の準備をする しつつ
- 5 **オカ…… アアン ヒネ**， いるところだったようで，
oka…… aan hine,
いる だったのだから して
- 6 **アフナン ワ インカラアン ワ**， 私が入って見てみると，
ahun=an wa inkar=an wa,
入る(私) して 見る(私) して
- 7 **オンネ クル カ アン ルプネマツ カ アン**， 老人がいて老女がいて，
onne kur ka an rupnemat ka an,
年とった 男 も いる 老女 も いる
- 8 **イユパネ クル ネ ノイネ オカ ウタラ カ** 兄らしき人達も
iyupne kur⁴⁴ ne noyne oka utara ka
兄である 人 である するような 人達 も
- 9 **トゥン オカ**， 二人いて，
tun oka,
二人 いる
- 10 **コタン コロ ウタラ カ オカ ヒネ オラ**， 村人達もいて，そして
kotan kor utara ka oka hine ora,
村 の 人達 も いる して そして

42; yaykososの形で「妊娠で腹が大きくなる」(萱野辞典)
43; その家の若者が客の手を引いて家に案内するのは作法ど
おりだが、女性に対してはしないと書いたものもある。

後日トシさんに確認したところでは、この後に
isikereypare=an「下目使いに目を這わすようにする(よ
その家に入ってジロジロ見回すのは無礼なので、遠慮し
ながらそっと見る様子を表す)」と言うつもりだった
とのこと。

44; 「イユクネ」と聞こえるが、pが曖昧に発音されたもの
で、i-yup-ne「人の兄である」が本意。他にもpがkに
近く発音されている箇所がいくつかある。

i-[親族名称]-neの形はこの物語中に頻出するが、
(親子関係で)「息子の方」-「父の方」、(兄弟関係で)
「兄の方」-「弟の方」といった意味あいを持つ。

- 11 アコン ニシパ アペイトク タ ア……ヒ, 夫は横座に座っていた。
a=kor nispa apeetok⁴⁵ ta a hi,
(私)の 旦那 横座 に 座る こと
- [20]-1 「ホクレ ホクレ アボホ, シニ ヤク ピリカ, 「早く早く息子よ, 休んだらいい,
8:44 " hokure hokure a=poho, sini yak pirka,
早く 早く (私の)息子 休む と いい
- 2 タヌクラン サケ アク エトコ アオイキ コロ 今夜は酒宴の支度をして
tanukuran sake a=ku etoko a=oyki⁴⁶ kor
今夜 酒 (私)飲む (私)準備する して
- 3 オカアナ フ, いたが,
oka=an a p,
いる(私達) だったが
- 4 ピリカ ヒネ アボホ エク ルウェ」 よくぞ帰って来たなあ」
pirka hine a=poho ek ruwe”
よくぞ (私の)息子 来た だなあ
- 5 セコロ ネ イオナネ クル ハウエアン コロ, と, その父である人が言って,
sekor ne ionane kur hawean kor,
と その 父である 人 言う しつつ
- 6 エヤイコブンテック ペコロ ハウエアン コロ 喜んだかのように言って
eyaykopuntek pekor⁴⁷ hawean kor
喜ぶ かのよう 言う しつつ
- 7 サケ クレ, アコン ニシパ サケ クレ コロ 酒を飲ませ, 夫に酒を飲ませて
sake kure, a=kor nispa sake kure kor
酒 飲ませる (私)の 旦那さん 酒 飲ませる しつつ
- 8 アッパバ コロ オカ。 何度も酒を注ぎに行った。
arpapa⁴⁸ kor oka.
行く しつつ いる
- [21]-1 アフナニ カ ヤイエパタライエアン ペ ネ クス, (私は)家に入るのもはばかられるので,
9:09 ahun=an hi ka yayepataraye=an pe ne kusu,
入る(私) こと も はばかり(私) もの なので
- 2 アババ ポック タ トンチカムニ カ タ 戸口の下の敷居の上に
apapa pok ta toncikamni ka ta⁴⁹
戸口 の下 に 敷居 の上 に
- 3 アアン ヒネ インカラン ヒネ アナン 座って見ていた
a=an hine inkar=an hine an=an
(私)座る して 見る(私) して いる(私)

45; 炉の東側の座で, 賓客の席。家出した息子の久々の帰郷に, 下へも置かぬ歓迎ぶりかと思えたのだが……。

46; etok(o) oyki「その先に・ものごとをする」「~の用意をする」。この二語でひとつの動詞のように機能するが, 人称接辞はどちらにもつくことができ, それによって意味が変わる。etok(o)は位置名詞なので「誰の」にあたる人称接辞がついて誰の準備をしたかを表し, oykiには「誰が」準備したかを示す人称がつく。この場合は, etokには人称がついていないが, 「私(達)が酒を飲む準備を」「私(達)がした」の意。

「自分の準備を自分がした」のであれば, yayetokoyki「身支度する」([42]-8参照)となる。

47; 本当に喜んでいたらのなら pekorは入らないのだが……。

48; 注22参照。単複の区別がある動詞で, その単数形に-paがついている。-paは「何人もで/何回も~する」という意をつくるが, 単数形についた場合は「何回も」。

49; この女がいったいどこに座ったのか, 解釈が難しい。apapaは「出入口の所」と訳され, 田村辞典の図「ciseチセ 家」(xxiv頁)ではセムと戸外の出入口がapa, そのすぐ戸外にapapaがある。toncikamniは, toncikamani, cikamani等の形で「敷居」と文献にはあり(パチエラーは「戸の直ぐ外」と!), 管見する限り位置を明示したものはないが, 戸外に敷居があるとは考えずらい。

そこでトシさんに何うと「外とか内とかいうことでない, 入口のどこだ, 更に「apekes-utur taだ」とも。文脈も含めて考えると, 母屋の入口から木尻座(炉の入口寄り)の間の土間で上がりあぐねて, 結局上がらずに母屋の入口(の敷居)に座ったらしい。(鷹部屋福平の図では, セムと戸外ではなく, 母屋とセムの出入口に「apa」とある)

- 4 ルウェ ネ アクス, ところ,
ruwe ne akusu,
こと である したところ
- 5 アコン ニシバ イヨシキ ノイネ イキ シリ 夫は酔ったらしく,
a=kor nispa iyoski noyne iki siri
(私)の 旦那 酔う らしく する 様子
- 6 アエシンパイ コロ アヌカラ コロ アナン。 私は心配になって見ていた。
a=esinpay⁵⁰ kor a=nukar kor an=an.
(私)を心配する しつつ (私)見る しつつ いる(私)
- 7 ラポッケ, ヤイホクシテ テク シリ イキ アクス, そのうち急に倒れたかと思うと,
rapokke yayhokuste⁵¹ tek siri iki akusu,
そのうち 倒れる 急に~する 様子 する したところ
- 8 ネ オンネ クル エネ ハウエアニ。 その老人はこう言った。
ne onne kur ene hawean hi.
その 年とった 男 次のように言った
- [23]-1 「アボホ イネ, ヘンパク パ カ ホシピ カ 「息子はどうしたことが、何年も戻りも
9:36 “a=poho ine, henpak pa ka hosipi ka
(私の)息子 どうした 何 年 も 戻る も
- 2 ソモ キ アイネ, エク ワ しないで、ようやく戻って、
somo ki ayne, ek wa
しない する したあげく 来る して
- 3 シンキ カ キ ヒネ エク ワ 疲れて帰って、
sinki ka ki hine ek wa
疲れる も する して 来る して
- 4 イヨシキ ワ ホッケ シリ ネ ナ。 酔っ払って寝たようだ。
iyoski wa hotke siri ne na⁵²
酔う して 寝る 様子 である よ
- 5 ネノ アヌ ヤク ピリカ」 そのままにしておいたらいい」
nenno anu yak pirka”
そのように 置く したら いい
- 6 セコロ ハウエアアン ペ ネ クス と言うので、
sekor hawean pe ne kusu
と 言う もの である ので
- 7 ネノ ホッケ ヒ ネノ アン アイネ, (夫は)そのまま横たわっていたが、
nenno hotke hi nenno an ayne,
そのように 寝る したままでいる したあげく やがて
- 8 アクス オラ スイ エネ ハウエアニ。 (老人は)またこのように言った。
akusu ora suy ene hawean hi.
すると そして また 次のように言った
- [23]-1 「アボホ ウニ ウン ルラバ ヤク ピリカ ナ」 「皆で息子を家に運びなさい」
10:01 “a=poho uni un rurapa yak pirka na”
(私の)息子 家 に 運ぶ したら いい よ
- 2 セコロ ハウエアアン オンネ クル キ アクス, と老人が言ったところ、
sekor hawean onne kur ki akusu,
と 言う 年とった 男 する したところ

50 ; a=e-sinpay 「私が・について・心配する」。sinpayは日本語「心配」からきた言葉。

51 ; yay-hokus-te 「自分を・倒れる・させる」=倒れる

52 ; トシさんによると、この行の前に sake ku ka eramiskari wakusu 「酒を飲んだこともないので」が入るはずだったとのこと。

- 3 **ネ イボネ クル ウタラ エシタツカコモバ ヒネ** その息子達が夫を肩に担いで
 ne ipone kur utar esitapkakomopa⁵³ hine
 その 息子である 人 達 肩の上で折り曲げる して
- 4 **ニンパンニババ コロ ソイエンバ ヒ クス** 皆で引きずって外に出たので、
 ninpaninpapa kor soyenpa hi kusu
 するずる引きずる しつつ 外に出る ので
- 5 **ナニ オシ ソイネアン ルウェ ネ アクス、** すぐに私も後から外に出た。すると、
 nani os soyne=an ruwe ne akusu,
 すぐ の後から 外に出る(私) こと である したところ
- 6 **チセ ハラキソ ワ ウニヒ ネ ヤク** 家の南側が(夫の)家だと
 cise harkiso wa⁵⁴ unihi⁵⁵ ne yak
 家 左座 から 家 である と
- 7 **イエ ヲ ネ アクス、ナニ ネ ウニ ウン** 言うので、(義兄達が)すぐにその家に
 ye p ne akusu, nani ne uni un
 言う ものである したところ すぐ その 家 に
- 8 **ルラバ ヒネ ネ オシ アラパアン ルウェ ネ。** 運んで私もその後について行った。
 rurapa hine ne os arpa=an ruwe ne.
 運ぶ して その 後 行く(私) こと である
- [24]-1 **アクス、ネ ルラ ウタラ** すると、その運んだ人達と
 10.30 akusu, ne rura utar
 したところ その 運ぶ 人達
- 2 **アババ ポク タ イエトウナンカラ ノ** 出入口で行きあって、
 apapa pok ta i=etunankar no
 戸口 の下 で (人に)行きあう して
- 3 **ソイエンバ ナニ アフナン ルウェ ネ アクス、** 皆が外に出るのと入れ違いに私が入ると、
 soyenpa nani ahun=an⁵⁶ ruwe ne akusu,
 外に出る すぐ 入る(私) こと である したところ
- 4 **ネ アコン ニシバ ホッケ ワ アン ヒ クス** 夫が寝ているので、
 ne a=kor nispa hotke wa an hi kusu
 その (私)の 旦那 寝る して いる ので
- 5 **「アコン ニシバ」セコロ ハウエアナン コロ** 「旦那さま」と言って
 “ a=kor nispa ” sekor hawean=an kor
 (私)の 旦那 と 言う(私) しつつ
- 6 **サマ タ アラパアン ルウェ ネ アクス、** そばに行くと、
 sama ta arpa=an ruwe ne akusu,
 そば に 行く(私) こと である したところ
- 7 **ヒナク ワ ヤウテク ワ アン ペ ネ クス、** どういうわけが冷たくなっているの
 hinak wa yawtek wa an pe ne kusu,
 どういうわけか 冷たくなる して いる ものである ので

53 ; e-si-tapka-kom(o)-pa 「～を肩の前後にたらしめて(振り分けにして)かつぐ」と田村辞典にはあり、語の形(～を・自分の・肩の上・曲げる・複数)からもそのように思われるが、トシさんによると二人で両肩を支えることだといい、次行にはninpaninpapa「(二人以上で)するずると引きずる」とあるので、「肩の上に担いで皆で引きずる」では意味が通じない。話者の意図としては、「息子たち2人で夫の両脇を抱えてするずる引きずっていった」のであろう。

54 ; 家内部の位置関係を延長して外の方角を示す言い方。沙流地方では、左座は炉の南側に当たるので、ここでは「家の南側」の意。

55 ; cise, unihiと違った2つのアイヌ語に「家」とあるが、ciseは一般的に建物としての家で、特定の「(だれそれ)の家」という場合にはuni(hi)を使う。ここでは人称がついていないので、(私でもあなたでもない)「彼の家」、すなわち夫の家。

56 ; soyenpaとahunの人称接辞に注目。ahunには=anがついていて、「私が入る」だとすぐわかるが、soyenpaには人称接辞がなく、しかも複数形である(単数形はsoyne)。人称接辞がつかないのは三人称なので、soyenpaの人称は、三人称複数つまり「彼らが」であることがわかる。「私が入りした」ではない。

- 8 「アコン ニシパ, アコン ニシパ」
 “ a=kor nispa, a=kor nispa ”
 (私)の 旦那 (私)の 旦那 「旦那さま, 旦那さま」
- 9 セコロ ハウェアナン コロ
 sekor hawean=an kor
 と 言う(私) しつつ と言って
- 10 ライパラパラクアン ルウェ ネ アクス,
 rayparaparak=an ruwe ne akusu,
 わあわあと泣く(私) こと である したところ 私にはわあわあ泣いた。すると,
- [25]-1 25 10:55 ソウスツ タ ピリカ オケレ ポンメノコ
 sowsut ta pirka okere ponmenoko
 壁際 に きれいな とても~である 若い娘 壁際にきれいな娘が
- 2 アシ ヒネ アン ヒネ,
 as hine an hine,
 立つ して いる して 立っていて,
- 3 「カッケマツ, イテキ チシ ノ ホクレ キラ,
 “ katkemat, iteki cis⁵⁷ no hokure kira,
 奥さん するな 泣く して 早く 逃げる 「奥さん, 泣いてないで早く逃げなさい。
- 4 エアニ カ エアン ヤクン アエライケ
 eani⁵⁸ ka e=an yakun a=e=rayke⁵⁹
 あなた も (お前)いる ならば (人が)お前を 殺す あなたもここにいたら殺されて
- 5 ナンコン ナ。 イテキ チシ ノ ホクレ,
 nankor na. iteki cis no hokure,
 だろう よ するな 泣く して 早く しまうでしょう。泣いてないでさあ早く,
- 6 テ タ オカ イオナネ クル ウタヲ パクノ
 te ta oka ionane kur utar pakno
 ここ に いる 父である 人 達 ほど ここにいる父達ほど
- 7 ウェイ サンペ コロパ イサム ペ ネ ヒケ,
 wen sampe korpa isam pe ne hike,
 悪い 心 持つ いない 物 である して 悪い心を持ったものはいない,
- 8 マク ネ ワ ネ イヨッタ イアクネ クル
 mak ne wa ne iyotta iakne kur
 どういうわけか 一番 弟である 人 どういうわけか一番下の息子
- 9 ネ ヒケ シレトク トウラ パエトク トウラ
 ne hike siretok tura paetok tura
 である して 美貌 と共に 雄弁 と共に は容姿もよく雄弁で,
- 10 イソン トウラ, ネフ ネ ヤッカ エペセ アイヌ
 ison tura, nep ne yakka epese⁶⁰ aynu
 狩がうまい と共に 何 であっても 器量がいい 人間 狩も上手で, 何をしても欠点がない
- 11 イサムノ ペ ネ ヒ クス, ケシケバ ワ
 isamno pe ne hi kusu, keskepa wa
 全くない 物 である ので ねたむ して ない人なので, ねたんで

57; iteki cis 「するな 泣く」 泣くな。注23参照

58; アイヌ語にも, 日本語と同じように独立して「私」「あなた」などを示す, いわゆる人称代名詞もある。これもそのひとつで, 「誰」というのを特に強調したい場合にだけ使う。

59; 人称接辞は何も一つしかつかないとは限らない。他動詞は人称接辞を2つとることができる。「~が/は」「~に/を」の順に並ぶ。

60; トシさんはこれ以外に「epesekur」という言い方もあり, それは「器量がよく, 欠点のない人」であると後日説明してくれた。siretok「容姿がよい」, paetok「雄弁である」, ison「狩りがうまい」, rametok「勇気がある」などは, いずれも男の器量を言う言葉である。

- 12 **オラノ ウェンカムイ コノンノイタツパ ヤッカ** 悪い神に祈ったけれど，
 orano wenkamuy kononnoiytakpa⁶¹ yakka
 そして 悪い神 に祈る であっても
- 13 **セレマク ユツケ ヲ ネ クス** 憑神が強いので
 sermak yupke p ne kusu⁶²
 憑神 強い もの である ので
- 14 **エベッチウ カ ソモ キ ヲ ネ クス，** 障りもないものだから，
 epetciw ka somo ki p ne kusu，
 が障害になる も しない する もの である ので
- [26]-1 **コンド マテトゥン(コロ)ワ コロ** こんど妻をもらったので，
 11:42 konto mat etun kor wa kor
 今度 女 を妻にする して すると
- 2 **エキムネ ワ イサム コロ イライケバ ワ** (夫が) 獵に行った留守に私を殺して，
 ekimne wa isam kor i=raykepa wa
 山へ行く して いない すると (私を) 殺す して
- 3 **チセ スツ タ トイ トウム イオマレパレ ワ** 家の下の土に埋められて
 cise sut ta toy tum i=omarepare wa
 家 下の方 に 土 の中に (私を) 入れる して
- 4 **オカアン ルウェ ネ クス，** いたのが私達であるので，
 oka=an ruwe ne kusu，
 いる(私達) こと である ので
- 5 **エアニ カ アエライケ ナンコン ナ。** あなたも殺されてしまうでしょう。
 eani ka a=e=rayke nankor na.
 あなた も (人が・お前を) 殺す だろう よ
- 6 **ホクレ キラ ワ ネン ボカ エイキ ワ** さあ早く逃げて，なんとかして
 hokure kira wa nen poka e=iki wa
 早く 逃げる して 何とかして (お前) する して
- 7 **エシクヌ ヤク オラ エヌワフ** 死なずにすんだら，あなたのお産は
 e=siknu yak ora e=nuwap
 (お前) 生きる なら そして (お前) お産
- 8 **エテクサム カ チエプンキネ クス ネ ナ。** 私達がそばで守ってあげましょう。
 e=teksam ka ci=epunkine⁶³ kusu ne na.
 (お前) のそば も (私達が) 守る するつもりである よ
- 9 **ヤイエイモンタサ クニ パテク ラム コロ** 敵を討つことだけを考えて
 yayeymontasa kuni patek ramu kor
 敵討ち するように ばかり 思う しつつ
- 10 **ホクレ キラ。 イテキ チシ ノ」** 早く逃げなさい。泣かないで」
 hokure kira. iteki cis no”
 早く 逃げる するな 泣く して
- 11 **セコロ ネ ポンメノコ ハウエアン コロ** と，その娘さんは言って，
 sekor ne ponmenoko hawean kor
 と その 若い娘 言う しつつ

61 ; 「悪神に祈る」とは，呪いをかけること。ポニタクpon itak(小さい・言葉)とも言い，極秘に行われる。かけ損じると自分に返ってくると言われ，恐れられた。

62 ; このように憑き神が強い人は運も強く，また悪い呪文などはねかえすこともできると考えられた。

63 ; 特殊な人称接辞だが，ciは「(相手を含まない)私達が」。六人いる先妻たちの亡霊のことを指している。後半の同じ箇所(40]-3)ではa=epunkineになっている。

- 12 **クリパン テク ヒネ** さっと消えてしまった。
 kuripan⁶⁴ tek hine
 姿が消える 急に-する して
- [27]-1 **オラ ナニ アコロ ポン シケ アウク テク ヒネ** 私は取るものも取りあえず、あわてて
 12:22 ora nani a=kor pon sike a=uk tek hine
 そして すぐ (私)の 少ない 荷物 (私)取る 急に-する して
- 2 **ソイネアン ヒネ** 外に出て、
 soyne=an hine
 外に出る(私) して
- 3 **ナニ ペツ オロ アオシマ アクス、** すぐ川に入った。すると
 nani pet or a=osma akusu,
 すぐ 川 の所 (私)入る したところ
- 4 **ソンノ カ ネフ アエラナク カ ソモ キ ノ** (娘から)聞いた通り、何の苦労もなく
 sonno ka⁶⁵ nep a=eranak ka sono ki no
 聞いた通り 何 (私)で困っている も しな-い する して
- 5 **ペッカスアン ヒネ ヤナナクス** 川を越えて岸にあがると、
 petkasu=an hine yan=an akusu
 川を歩いて渡る(私) して 陸に上がる(私) と
- 6 **イオシ タトゥッペ コロ カネ ワ オカ ウタラ** 私の後からたいまつを持った人達、
 i=os⁶⁶ tatuspe kor kane wa oka utar
 (私)の後ろ たいまつ 持つ して して いる 人達
- 7 **インネ ウタラ イオシ イケサンパ ヒネ** 沢山の人達が私の後から追いかけてきて、
 inne utar i=os i=kesanpa hine
 大勢の 人達 (私の)後ろ (私を)追いかける して
- 8 **ペツ サム ペカ サッ ワ オラ エネ ハウオカイ、** 川のそばに来て、こう言った。
 pet sam peka sap wa ora ene hawoka hi,⁶⁷
 川 そば に おりる して そして こう 言った こと
- [28]-1 **「エネ アン ポロ ペトツ タ** 「こんなに大きな川で、
 12:47 " ene an poro pet or ta
 このように ある 大きな 川 の所 に
- 2 **エネ アン メノコ、ホンコロ カネ アン メノコ** あんな身重の女が
 ene an menoko, honkor kane an menoko
 このように ある 女 妊娠する して いる 女
- 3 **マク イキ ヒネ エネ アン ペトツタ** どうやってこんな川を
 mak iki hine ene an pet or ta
 どう する して このように ある 川 の所 に
- 4 **ヤン ペ アン。** 越えるというのだろう。
 yan pe an.⁶⁸
 あがる もの いる
- 5 **タネ モム ワ アトウイ オロ** 今頃は流されて海まで
 tane mom wa atuy or
 今では 流れる して 海 の所

64 ; kuri-pan 「影・うすくなる」。この女性はかつて主人公の旦那さんの奥さんだった人の一人で、幽霊としてこの場に現れて主人公に今回の事件について説明してくれたのである。

65 ; sonno ka は、慣用句として「やはり本当に」「聞いた通り」「思った通り」「予想した通り」。

66 ; 人称接辞 i= は、動詞につくと「私に/を」だが、「前」「後ろ」「上」「下」など位置名詞につくと「私の」の意。

67 ; hawoka hi < haweoka hi. hawean hi の複数形。

68 ; 反語表現。「どうやってこんな川を越える者がいるだろう。いや、いはしない」

- 6 **オシマ ワ イサム ナンコロ ワ。」** 行ってしまっただろうよ」
osma wa isam nankor wa. ”
入る して しまう だろう よ
- 7 **セコロ ハウエオカバ コロ** と口々に言って
sekor haweokapa kor
と 言う しつつ
- 8 **エウミナレバ コロ ホシッパ ワ アヌ コロ** 笑いあって戻っていくのを聞きながら、
euminarepa⁶⁹ kor hosippa wa a=nu kor
皆で笑う しつつ 戻る して (私)聞く しつつ
- 9 **オラ ネ トシッ チョルン アフナン ワ アナン** 私はその川岸の洞穴に入って
ora ne tosir cor un ahun=an wa an=an
そして その 川岸の洞穴 の下 に (私)入る して いる(私)
- 10 **ヌイナクアン ワ アナン ワ** 隠れて
nuynak=an wa an=an wa
隠れる(私) して いる(私) して
- 11 **オラノ チサン コロ アナン。** 泣いていた。
orano cis=an kor an=an.
そして 泣く(私) しつつ いる(私)
- 12 **ナ アコン ニッパ アケムヌ ワ** まだ夫が可哀想で
na a=kor nispa a=kemnu wa
まだ (私)の 旦那 (私)同情する して
- 13 **オラノ チサン コロ アナン。** 泣いていた。
orano cis=an kor an=an.
そして 泣く(私) しつつ いる(私)
- [29]-1 **エソイネ ソイネアン カ イシトマアン ペ ネ** 外に出るのも怖い
13:17 esoyne soyne=an ka isitoma=an pe ne
外に 外に出る(私) も 恐い(私) もの である
- 2 **クス ヌイナクアン ワ アナン ラポッケ、** ので隠れているうちに、
kusu nuynak=an wa an=an rapokke,
ので 隠れる(私) して いる(私) そのうちに
- 3 **ネ トシリ オツ タ ヌワフアン ルウェ ネ アクス、** その川岸の洞穴で産気づいて
ne tosir or ta nuwap=an ruwe ne akusu,
その 洞穴 の所 で 産気づく(私) こと である したところ
- 4 **ソンノ カ オッカヨ ボイソン アコロ ワ** (娘から)聞いた通り(何の障りもなく)
sonno ka okkayo poyson a=kor wa
聞いた通り 男 子 (私)持つ して 男の子をもうけて、
- 5 **ポヘネ オラ アエイコブンテク ネ ヤ** なおさら嬉しいやら、
pohene ora a=eyaykopuntek ne ya
なおさら そして (私)喜ぶ など
- 6 **アコン ニッパ アケムヌ アン チキ** 夫のことを思えば
a=kor nispa a=kemnu an ciki
(私)の 旦那 (私)気の毒に思う ? したら
- 7 **マカナク エエイコブンテク アン ペ アン?** どうして喜べるだろう
makanak eyaykopuntek an pe an?
どうして を喜ぶ ? もの ですか

69 ; e-u-mina-re-pa 「～について・互いに・笑う・させる・(複数)」。euminare だけでも「皆で笑う」の意だが、さらにpa「二人以上で/何回も」がついている。

- 8 **セコロ ヤイヌアン コロ オラノ ポヘネ** と思つて、なおさら
 sekor yaynu=an kor orano pohene
 と 思う(私) して そして なおさら
- 9 **チサナ アナ コロ パテク アナン アイネ、** 泣いてばかりいたが、やがて
 cis=an a an a⁷⁰ kor patek an=an ayne,
 泣きに泣く(私) して ばかり いる(私) したあげく
- 10 **タネ ネン ポカ イキアン ヒネ** 今はなんとかして
 tane nen poka iki=an hine
 今 何とかして する(私) して
- 11 **アウニ ウン シレパアン ルスイ** 家に帰りたい
 a=uni un sirepa=an rusuy
 (私の)家 に 着く(私) したい
- 12 **セコロ ヤイヌアン ワ オラ** と思つて、
 sekor yaynu=an wa ora
 と 思う(私) して そして
- 13 **ネ アコロ ポイソン アウナソロ オマレ カネ** その赤ん坊を懐に入れて
 ne a=kor poyson⁷¹ a=upsoro omare kane
 その (私)の 赤ん坊 (私の)懐 入れる したままで
- 14 **ヒネ オラノ ホシピアン。** 家に向かった。
 hine orano hosipi=an.
 して それから 帰る(私)
- [30]-1 **ソンノ カネ クス ネ、ネ アコン ニシバ** 本当に(夫の言った通りに),夫の
 13:57 sonno kane kusu ne, ne a=kor nispa
 本当に して します その (私)の 旦那
- 2 **ケウレ ア チクニ アオペシ ヒネ エカン、** 削った木に沿って行って、
 kewre a cikuni a=opes hine ek=an,
 削る した 木 (私)沿う して 来る(私)
- 3 **レウシ ウシ タ カ ネ ヤツ チセ オツ タ** 泊るときはずっと仮小屋に
 rewsi usi ta ka ne yar cise or ta
 泊る とき に も その 木の皮 家 の所 に
- 4 **レウシアン カネ ヒネ エカン ヒネ** 泊って行って、
 rewsi=an kane hine ek=an hine
 泊る(私) して して 来る(私) して
- 5 **アウニ タ シレパアン ルウェ ネ。** 私の家に着いたのだった。
 a=uni ta sirepa=an ruwe ne.
 (私の)家 に 着く(私) こと である
- 6 **ヒネ オラノ ポヘネ** それからなおさら
 hine orano pohene
 それから そして なおさら
- 7 **アコン ニシバ アケムヌ ワ チサン コロ アナン** 夫が可哀想で泣き暮らした。
 a=kor nispa a=kemnu wa cis=an kor an=an
 (私)の 旦那 (私)気の毒に思う して 泣く(私) しつつ いる(私)

70; cis=an a an aは、.....a.....aの構文で、「繰り返し繰り返し返し~する」の意。普通は動詞も繰り返し返されるが、人称接辞が=anの場合だけ、2回目の自動詞は省略される。

71; a=korのkorは、本来「持つ」という意味の動詞だが、この例のように「の」と訳した方がいい場合も多い。この場合のaは「私の」ではなく「私が」。a=kor sonはa=pohoと言い替えることができるが、その場合のaは「私の」である点に注意。

- 8 **アコロ ソン アエチヨクヌレ** 子供にくちづけをしつつ
a=kor son a=ecoknure
(私)の 息子 (私)くちづけをする
- 9 **オボソ チサン コロ パテク アナン アイネ,** 泣きながら暮らして、ようやく
oposo cis=an kor patek an=an ayne,
通して 泣く(私) して ばかり いる(私) したあげく
- [31]-1 **タネ アコロ ソン カ ポンノ ポロ ヒ** 今は息子も少し大きくなって、
14:27 tane a=kor son ka ponno poro hi
今 (私)の 息子 も 少し 大きくなる 時
- 2 **オラノ ポン アイ ポン ク, ク アカラ ワ** 小さい矢、小さい弓を私が作って
orano pon ay pon ku⁷², ku a=kar wa
そして 小さい 矢 小さい 弓 弓 (私)作る して
- 3 **アエシノッテ コロ クシケライボ** それで遊ばせたおかげで、
a=esinotte kor kuseraypo
(私)で遊ばせる したところ おかげで
- 4 **ミナアン カネ ワ アコロ ソン** 笑いながら息子を
mina=an kane wa a=kor son
笑う(私) して して (私)の 息子
- 5 **アオシックルコテ コロ アナン, オラ** 見守って暮らせるようになった。そして
a=osikkurkote⁷³ kor an=an, ora
(私)じっと見る しつつ いる(私) そして
- 6 **タネ ポンノ ポロ ヒ オラノ アナクネ** 少し大きくなってからは、
tane ponno poro hi orano anakne
今では 少し 大きくなる 時 それから は
- 7 **ウナ オロ ペカ ポン クアリ** 炉の灰の上に小さい仕掛け弓を(描いて)
una or peka⁷⁴ pon kuari
灰 の所 に 小さい 仕掛け弓
- 8 **アエパカシヌ ネ ヤ キ コロ アナン コロ,** 教えたりしていたところ、
a=epakasnu ne ya ki kor an=an kor,
(私)を教える など する しつつ いる(私) したところ
- 9 **ネ クアリ ポン クアリ カ** その小さい仕掛け弓も
ne kuari pon kuari⁷⁵ ka
その 仕掛け弓 小さい 仕掛け弓 も
- 10 **ヤイカタ カ カラ エアシカイ パクノ ネ ヒ** 自分で作ることができるほどになり、
yaykata ka kar easkay pakno ne hi
自分で も 作る できる ほど になる 時
- [32]-1 **オラノ タネ ポン ヘカチ ネ クス** 今はまだ小さいので
15:10 orano tane pon hekaci ne kusu
そして 今 小さい 子供 である ので
- 2 **アトゥラ ワ エキムネアン ワ** 私が一緒に山へ連れて行って
a=tura wa ekimne=an wa
(私)一緒に行く して 山に行く(私) して

72; アイヌの男の子の遊びの代表的なもの。このような遊びを通じて狩りの練習をし、一人前の男になる。

73; o-sik-kur-kote 「(そこ)に・目・影/姿・結びつける」

74; 炉の灰の上に絵を描いて説明している。子供がまだ小さいために、男の仕事を手で実際に教えることができず、亡夫が自分に教えてくれた通りに絵に描いて教えているという描写。夫が生前、女である妻に狩りを教えたことの意図が何であったか、伏線が現実となる場面。

75; kuari は、「仕掛け弓をしかける」という意味の自動詞だが、自動詞はそのままの形で名詞にもなる。この後でも、「仕掛け弓をしかけること」「仕掛け弓のしかけ方」など名詞として解釈すべき箇所もある。ただし、ここでは amappo 「仕掛け弓」とまったく同義に用いている。

- 3 **キム タ カ クアリ アエパカシヌ アクス,** 山で仕掛け弓を教えると,
kim ta ka kuari a=epakasnu akusu,
山 で も 仕掛け弓 (私)を教える したところ
- 4 **クアリ アクス, エウン カムイ カ ユク カ** (自分で)仕掛けて,そこへ熊でも鹿でも
kuari akusu, eun kamuy ka yuk ka
仕掛け弓をしかける すると そこへ 熊 も 鹿 も
- 5 **オシマ ヤク イェ コロ セ ワ イワク コロ** かかったと言って背負って帰ると,
osma yak ye kor se wa iwak kor
かかった と 言う しつつ 背負う して 帰る すると
- 6 **オラノ ポヘネ カシ タ チサン コロ** 私はなおさら泣いて,
orano pohene kasi ta cis=an kor
そして なおさら 上 に 泣く(私) しつつ
- 7 **アコン ニシパ アケムヌ ネ ヤ** 旦那さんがかわいそうやら
a=kor nispa a=kemnu ne ya
(私)の 旦那 (私)気の毒に思う など
- 8 **アコロ ソン アコブンテク ヒ ネ ヤ** 息子(の成長)が嬉しいやらで
a=kor son a=kopuntek hi ne ya
(私)の 息子 (私)喜ぶ こと など
- 9 **ネ チサン コロ パテク アナン アイネ,** 泣いてばかりいたのであるが,やがて
ne cis=an kor patek an=an ayne,
その 泣く(私) しつつ ばかり いる(私) したあげく
- 10 **タネ アコロ ソン ポロ ワ** 今は息子も大きくなって
tane a=kor son poro⁷⁶ wa
今 (私)の 息子 大きくなる して
- 11 **ボン オッカイボ ネ パクノ アン アクス,** 青年にまでなったので,
pon okkaypo ne pakno an akusu,
小さい 青年 になる ほど ある したところ
- 12 **オラ ネ イボネ オッカイボ イソイタク。** (以後は)その息子である青年が物語る。
ora ne ipone okkaypo isoytak.⁷⁷
そして その 息子である 青年 物語る
- [33]-1 **マク ネ ワ ネ ヤ,** どういうわけか,
15.53 mak ne wa ne ya,
どう である して である か
- 2 **アウヌ トウラノ アナン ワ** 母と暮らしていて,
a=unu turano an=an wa
(私)の母 と一緒に 暮らす(私) して
- 3 **オラ オナ カ サク ノ アナン ヒケ オラノ** 父はなく暮らしていて,
ora ona ka sak no an=an hike orano
そして 父 も なしに いる(私) して そして

76; アイヌ語では、日本語でいう「形容詞」つまりpirka「美しい」poro「大きい」等は、そのままの形で「美しくなる」「大きくなる」等の意味をもち、自動詞として扱われる。

「成長する」の意では他に後出のsukupがあるが、poroは文字どおり「大きくなる」ことで、体格的な成長が止まる年代までしか使えないのに対し、sukupは年齢に関係なく用いられる。

77; このように叙述者が変わるというのは、ウエベケレでは珍しくない。

- 4 **アウヌ チシ コロ パテク アン。**
a=unu cis kor patek an.
(私の)母 泣く しつつ ばかり いる
母は泣いてばかりいた。
- 5 **ネブ カラ ヤッカ チシ, ネブ カ アカラ コロ**
nep kar yakka cis, nep ka a=kar kor
何 する であっても 泣く 何 も (私)する しつつ
何をするのにも泣いて、私が何かをして
- 6 **ボンノ ボンノ ミナ カネ コロカ**
ponno ponno mina kane korka
少し 少し 笑う して けれど
ほんの少し笑っても
- 7 **チシ コロ パテク アン ヒ クス,**
cis kor patek an hi kusu,
泣く しつつ ばかり いる なので
すぐに泣いてばかりいるので、
- 8 **シネアンタ アコウエペケンヌ。**
sineanta a=kouepekennu.
あるとき (私)事情を尋ねる
ある日わけを尋ねた。
- [34]-1 「**アウヌフ, マク ネ ヒネ**
16:16 “ a=unuhu, mak ne hine
(私の)母 どう である して
「お母さん、どうして
- 2 **エネ オナ カ サク ノ ヘトゥクアン ペ**
ene ona ka sak no hetuk=an pe
このように 父 も なしに 生まれる(私) もの
僕はこんなふうにお父さんがいない
- 3 **アネ ルウェ ネ ヤ?**
a=ne ruwe ne ya?
(私)である こと である か
の?
- 4 **アウヌ タクッ トウラノ アナン,**
a=unu takup turano an=an,
(私の)母 ばかり 一緒に 暮らす(私)
お母さんだけいて、
- 5 **アオナ サク ペ アネ ルウェ ネ ヤ?」**
a=ona sak pe a=ne ruwe ne ya?“
(私の)父 ない もの (私)である こと である か
お父さんのいない僕なの?」
- 6 **セコロ アコウエペケンヌ アクス,**
sekor a=kouepekennu akusu,
と (私)尋ねる したところ
と訊くと、
- 7 **アウヌフ チサ チサ コロ アン アイネ,**
a=unuhu cis a cis a⁷⁸ kor an ayne,
(私の)母 泣きに泣く しつつ いる したあげく
母はさんざん泣いて泣いて、やがて
- 8 **エネ ハウエアニ。**
ene hawean hi.
次のように言った
こう言った。
- [35]-1 「**タネ パクノ エポロ ワ ネ ヤクン**
16:39 “ tane pakno e=poro wa ne yakun
今 まで (お前)大きくなる して である ならば
「こうまで大きくなったなら、
- 2 **アエコウバクマ ヤクン エエラムアン**
a=e=koupaskuma yakun e=eramuan
(私が・お前に)事情を話す ならば (お前)わかる
わけを話してもわかる

78 ; 再び..... aaの構文。[29]-9ではcis=an a an aと二回目のcisが省略されていたが、叙述者が交替し、主語は三人称(叙述者の母)で語られているため、=anがついていない。

従ってcisは省略できない。

- 3 ナンコン ナ」セコロ ハウエアン コロ, だろうね」と言って,
nankor na” sekor hawean kor,
だろう ね と 言う しつつ
- 4 「タツネ カネ (オハシン ネ) ボナニ タ 「実は、私は子供の頃,
“ tapne kane ⁷⁹ (ohasir ne) pon=an hi ta
実は 小さい(私) 時 に
- 5 アナクネ オハシツ タ トウムン トウム タ 誰もいないほこりだらけの家で
anakne ohasir ta tumun tum ta
は 誰もいない家 で ほこり の中 で
- 6 ヤイエシカルンカ ヲ アネ ヒネ, ものごころついたもので,
yayesikarunka p a=ne hine,
気がつく もの (私)である して
- 7 オナ カ ウヌ カ サク ノ アナン ベ 父も母もいないで暮らしていたのが
ona ka unu ka sak no an=an pe
父 も 母 も なしに いる(私) もの
- 8 アネ ワ, チセ オンナイ ネ ヤ 私で、家の中や
a=ne wa, cise onnay ne ya
(私)である して 家 の中 など
- 9 チセ ソイ ネ ヤ アチャッヌレ コロ アナン, 外を掃除して暮らしていた。
cise soy ne ya a=casnure kor an=an,
家 の外 など (私)掃除する しつつ いる(私)
- [36] -1 ラボツケ エソイネ フマシ クス そのうち外で音がするので
17:09 rapokke esoyne humas kusu
そのうち 外で 音がする ので
- 2 ソイネアン ヒネ インカラアン アクス, 出てみると,
soyne=an hine inkar=an akusu,
外に出る(私) して 見る(私) したところ
- 3 アイヌ ヌカラ カ アエラミシカリ, 人間を見たこともない(けれど),
aynu nukar ka a=eramiskari,
人間 見る も (私)したことがない
- 4 オッカヨ セコロ アイェ ヲ ネ クニ 男の人と言われるものだと
okkayo sekor a=ye p ne kuni
男 と (人)言う もの である すべき
- 5 アラム ヲ ソイ タ アン ヒネ, 思う人が外にいて,
a=ramu p soy ta an hine,
(私)思う もの 外 に いる して
- 6 イワン チョクサミツ ミ カネ ヒネ アン ヒクス 六重の喪服を着ていて,
iwan cokusamip mi kane hine an hi kusu
六 喪服 着る ままで して いる だから
- 7 アアフンケ クス アイェ ヒネ アフン ヒネ, 入るように言うと入ってきて,
a=ahunke kusu a=ye ⁸⁰ hine ahun hine,
(私)入れる ために (私)言う して 入る して

79 ; ここから[40]-8までは、母親の語りの引用で、前半部のダイジェスト。叙述者が変わっても、元々ウエベケレ中の「私」は不特定な「人が」語ったもので、引用文と同じ人称で語られる。従って人称接辞は変化していない。

80 ; a=ahunke kusu a=yeと[36]-9のi=supare kusu yeは、全く同じ構文。動詞の語尾の-ke, -reが「～させる」の意であることは注15で触れたが、この[使役語尾]にkusu yeが続くと、「～させる」の意味はなくなり「～するように言う」と訳す。

- 8 **アエフ セ ワ エク ヒネ** 食べ物を背負ってきていて、
 aep se wa ek hine
 食べ物 背負う して 来る して
- 9 **イスパレ クス イェ ヒネ** 私に料理するように言って、
 i=supare kusu ye⁸⁰ hine
 (私に)料理させる ために 言う して
- 10 **アスパ ワ アエレ ネ ヤ** 料理して食べさせたり
 a=supa wa a=ere ne ya
 (私)料理する して (私)食べさせる など
- 11 **ヤイカタ カ イエレ ワ イペアン コロ アン。** 自分でも食べたりした。
 yaykata ka i=ere wa ipe=an⁸¹ kor an.
 自分 も(私に)食べさす して 食べる(私) しつつ いる
- [37]-1 **ニサッタ ネ,** 翌日になって、
 17:38 nisatta ne,
 明日 になる
- 2 **ネウン カ アヲパ ヲ ネ クナク アラム アクス,** どこかに行くのだろうと思っていると、
 neun ka arpa p ne kunak a=ramu akusu,
 どこへ も 行く もの である だろうと (私)思う したところ
- 3 **ネウン カ アヲパ カ ソモ キ ノ** どこにも行かないで
 neun ka arpa ka somo ki no
 どこへ も 行く も しらない する して
- 4 **オラノ トウラノ アナン ワ,** そのまま一緒に暮らしていた。
 orano turano an=an wa,
 そして 一緒に 暮らす(私) して
- 5 **ユブテツ クル ネ ヲ ネ ヒネ** (男は)働き者なので、
 yuptek kur ne p ne hine
 勤勉である 人 である もの である して
- 6 **ネフ アエ ルスイ カ** 何を食べたいとも
 nep a=e rusuy ka
 何 (私)食べる したい も
- 7 **アコン ルスイ カ ソモ キ ノ オカアン。** 欲しいとも思わないで暮らしていた。
 a=kor rusuy ka somo ki no oka=an.
 (私)持つ したい も ない する して いる(私)
- [38]-1 **ラボッケ, 『タプネ カネ** そのうち, 『実は
 17:54 rapokke, ' tapne kane
 そのうち 実は
- 2 **イシカツ タ アオナ カ アウヌ カ アン** 石狩に父も母もいて
 iskar ta a=ona ka a=unu ka an
 石狩 に (私の)父 も (私の)母 も いる
- 3 **アユプタリ カ アン ペ ネ ア ヲ,** 兄もいるので、
 a=yuputari ka an pe ne a p,
 (私の)兄達 も いる もの であつたが
- 4 **エウン アヲパ ルスイ』** そこへ行きたい』
 eun arpa rusuy ' ,
 そこへ 行く したい

81 ; 逐語訳から考えてもわかるとおり、i=e-re「私に・食べる・させる」とipe=an「私が・食べる」は同義。yaykata kaがなければ、「彼が私に食べさせた」ともとれる(た

だし、言い直したようにも聞こえる)。前行のa=ereは「私が彼に食べさせた」。

- 5 セコロ ハウエアン ヒ クス , と言うので ,
 sekor hawean hi kusu,
 と 言う なので
- 6 『プイネ アッパ ヤク ピリカ』 『一人でいったらいい』
 ‘puyne arpa yak pirka’
 ひとりで 行く したら いい
- 7 セコロ アイェ ヤッカ と言ったけれど ,
 sekor a=ye yakka
 と (私)言う であっても
- 8 ネンポカ イトゥラ ルスイ ペ ネ ヒ クス 何とか私を連れて行きたいと言うもので ,
 nenpoka i=tura rusuy pe ne hi kusu
 なんとか (私を)連れて したい もの である だから
- 9 アトゥラ ヒネ パイエアン ルウェ ネ アクス , 一緒に行くと ,
 a=tura hine paye=an ruwe ne akusu,
 (私)一緒に行く して 行く(私達) こと である したところ
- [39]-1 ヒネ , アコン ニシパ ホシキ サケ クバ コロ 旦那さんが先に酒を飲んでいる
 18:17 hine, a=kor nispa hoski sake kupa kor
 そして (私)の 旦那 先に 酒 飲む しつつ
- 2 オカ ウシケ タ パイエアン ルウェ ネ ア ヲ , ところに行ったのだったが ,
 oka uske ta paye=an ruwe ne a p,
 いる 所 に 行く(私達) の だったが
- 3 エネ スルク サケ クレバ ヒネ (家の男達が)毒の酒を飲ませて
 ene surku sake kurepa hine
 そのように 毒 酒 飲ませる して
- 4 ライケバ ヒ オラ 『シンキ ワ ネ ナンコロ』 殺しておいて, 『疲れたのだらう』
 raykepa hi ora ‘sinki wa ne nankoro’
 殺す こと そして 疲れる して である だらう
- 5 セコロ ネ ヤ イェバ コロ などと言いながら
 sekor ne ya yepa kor
 と など 言う しつつ
- 6 ウニ ウン ルラパ ルウェ ネ ア ヲ , 家に運んだのだが ,
 uni un rurapa ruwe ne a p,
 家 に 運ぶ の だったが
- 7 エネ オロ タ アッパアン ルウェ ネ アクス , そこに行ってみると
 ene oro ta arpa=an ruwe ne akusu,
 そのように その場所で 行く(私) こと である したところ
- [40]-1 ホシキ イサム カツケマツ ウタラ オカ ヒネ , 先に死んだ奥さん達がいる ,
 18:40 hoski isam katkemat utar oka ⁸² hine,
 先に 死んだ 奥さん 達 いる して
- 2 『タップネ タップネ ネ クス ホクレ キラ。』 『このようなわけだから早く逃げなさい。』
 ‘tapne tapne ne kusu hokure kira.’
 かくかくしかじか である ので 早く 逃げる
- 3 エテックスム アエプンキネ クス ネ ナ』 あなたのそばで守ってあげますよ』
 e=teksam a=epunkine kusu ne na’
 (お前の)そば (私)守る します よ

82 ;前半の同じ場面では, ponmenoko as hine anと単数形だった。ここでも katkemat utar an....oka hine と言い直しているが, 現れた幽霊が, 代表一人だったのか, それとも六

人全員だったのか, 少しわかりにくいところである。

- 4 **セコロ イイエ コロ イカシパオツテ クシケライボ** と言って指示してくれたおかげで、
 sekor i=ye kor i=kaspaotte kuskeraypo
 と (私に)言う しつつ (私に)命じる おかげで
- 5 **キラアン ヒネ ペツ オロ アオシマ ヒケ カ** 逃げて川に入ったけれど、
 kira=an hine pet or a=osma hike ka
 逃げる(私) して 川 の所 (私)入る しても
- 6 **ネフ アエペッチウ カ ソモ キ ノ** なんの心配もなく
 nep a=epetciw ka somo ki no
 何(私)で困った事になる も しない する して
- 7 **トシッ チョロポク タ アエヌワッ ワ** 川岸の洞穴の下でお産をして
 tosir corpok ta a=enuwap wa
 川岸の洞穴 の下 に (私)お産する して
- 8 **エクアン ペ エネ ルウェ ネ」** できたのがおまえなのだよ」
 ek=an pe e=ne ruwe ne”
 来る(私) もの(お前)である こと である
- [41]-1 **セコロ アウヌ ハウエアン オラノ** と、母は言って、
 19:09 sekor a=unu hawean orano
 と (私の)母 言う そして
- 2 **チシ コロ イエ フ ネ クス、** 泣きながら言うので、
 cis kor ye p ne kusu,
 泣く しつつ 言う もの なので
- 3 **ヤイカタ カ チサン コロ アオナハ アケムヌ、** 自分でも泣いて、父を可哀想に思い、
 yaykata ka cis=an kor a=onaha a=kemnu,
 自分 も 泣く(私) しつつ (私の)父 (私)気の毒に思う
- 4 **アウヌフ アケムヌ コロ アナン コロ、** 母を可哀想に思って暮らしていたが、
 a=unuhu a=kemnu kor an=an kor,
 (私の)母 (私)気の毒に思う しつつ いる(私) したが
- 5 **ネウン カ イキアン ワ** どうにかして
 neun ka iki=an wa
 どのように も する(私) して
- 6 **ヤイエイモンタサアン クニ パテク アラム コロ** 敵を討ちたいとばかり考えて、
 yayeymontasa=an kuni patek a=ramu kor
 敵討ちする(私) しようと ばかり (私)思う しつつ
- 7 **エキムネアン トウイカ タ ネ ヤッカ** 山獺に行っているときであっても
 ekimne=an tuyka ta ne yakka
 山に行く(私) している時 に であっても
- 8 **ネ ヤイエイモンタサアン クニ パテク** 敵討ちすることばかりを
 ne yayeymontasa=an kuni patek
 その 敵討ちする(私) しようと ばかり
- 9 **アラム コロ アナン アイネ、** ずっと考えて暮らしていた。
 a=ramu kor an=an ayne,
 (私)思う しつつ いる(私) したあげく
- [42]-1 **オラ タネ ポロアン ヒ クス、** ようやく今は大きくなったので、
 19:37 ora tane poro=an hi kusu,
 そして 今 大きくなる(私) だから
- 2 **「ヤイエイモンタサアン クス アラパアン」** 「敵討ちに行く」
 “ yayeymontasa=an kusu arpa=an ”
 敵討ちする(私) するために 行く(私)

- 3 **クナク アイェ アクス** ,
kunik a=ye akusu,
と (私)言う したところ
- 4 **アウヌフ エアラキンネ イココパン** ,
a=unuhu earkinne i=kokopan,
(私の)母 とても (私に)拒む
- 5 **イエヤム ヤク イェ コロ イココパン コロカ** ,
i=eyam yak ye kor i=kokopan korka,
(私を)心配する と 言う しつつ (私に)拒む けれど
- 6 **「ネウン カ イキアン ワ アラパン クス ネ」**
"neun ka iki=an wa arpa=an kusu ne"
どのように も する(私) して 行く(私) するつもりだ
- 7 **セコロ ハウエアナン コロ**
sekor hawean=an kor
と 言う(私) しつつ
- 8 **ヤイェトコイキアン ヒネ オラ**
yayetokoyki=an hine ora
身支度する(私) して そして
- 9 **アエツ カ ポロンノ アセ カネ ヒネ**
aep ka poronno a=se kane hine
食べ物 も たくさん (私)背負う して して
- 10 **オラ アラパン エトコ アオイキ ヒネ**
ora arpa=an etoko a=oyki hine
そして 行く(私) (私)の準備する して
- 11 **オラノ アラパン。**
orano arpa=an.
そして 行く(私)
- 12 **ソンノ カ アウヌフ エネ ハウエアニ。**
sonno ka a=unuhu ene hawean hi.
やはり本当に (私の)母 次のように言った
- [43]-1
20:04 **「フシコノ ネ ヤッカ**
"huskono ne yakka
とても古い であつても
- 2 **ニ ケウレ オカ アン ナンコロ クス**
ni kewre oka an nankor kusu
木 削る 痕 ある だろう なので
- 3 **ネ ケウレ チクニ エオペシ ワ**
ne kewre cikuni e=opes wa
その 削る 木 (お前)沿う して
- 4 **エアラバ ヤク ピリカ。**
e=arpa yak pirka.
(お前)行く したら いい
- 5 **ヤツ チセ カ アカラ ペ ネ ア コロカ**
yar cise ka a=kar pe ne a korka
木の皮 家 も (私)作る ものである した けれど
- 6 **ネ ヤツ チセ カ タネ ムニン ナンコロ コロカ** ,
ne yar cise ka tane munin nankor korka,
その 木の皮 家 も 今 腐る だろう けれど
- と言うと ,
- 母はとても反対して ,
- 私が気がかりだからと止めたけれど ,
- 「どうしても行くつもりだ」
- と言って ,
- 身支度し ,
- 食べ物もたくさん背負って
- 行く用意をして
- でかけた。
- まさに母がこう言った(通りだった)。
- 「とても古いけれど
- 木に削った痕があるだろうから ,
- その削った木に沿って
- 行きなさい。
- 仮小屋も作ったのだけれど ,
- その仮小屋も今は腐っているだろうけど ,

- 7 **ス アナクネ ニ カ ワ アラチツケレ プ ネ** 鍋は木の上からぶらさげておいた
 su anakne ni ka wa a=racitkere p ne
 鍋 は 木 の上 から (私)ぶらさげる ものである
- 8 **アクス, ネ ス アナクネ アン ナンコロ ナ。** ので, その鍋はあるでしょう。
 akusu, ne su anakne an nankor na.
 したところ その 鍋 は ある だろう よ
- 9 **ネ ス ネ ヤ エオベシ ワ,** その鍋などに沿って,
 ne su ne ya e=opes wa,
 その 鍋 など (お前)沿う して
- 10 **ネ ケウレ チクニ エオベシ ワ エアラパ ヤクン** その削った木に沿って行けば
 ne kewre cikuni e=opes wa e=arpa yakun
 その 削る 木 (お前)沿う して (お前)行く ならば
- 11 **エアラパ エアシカイ ナンコン ナ」** たどり着けるでしょう」
 e=arpa easkay nankor na”
 (お前)行く できる だろう よ
- 12 **セコロ アウヌフ イエバカシヌ ヒ クス,** と母は私に教えてくれたので,
 sekor a=unuhu i=epakasnu hi kusu,
 と (私の)母 (私に)教える ので
- [44]-1 **ネノ ネ フシコノ ネ コロカ** そのように昔のではあるけれど
 20:40 neno ne huskono ne korka
 そのように その とても古い である けれど
- 2 **ケウレ チクニ アオベシ ヒネ アラパアン ヒネ** 削った木に沿って行って,
 kewre cikuni a=opes hine arpa=an hine
 削る 木 (私)沿う して 行く(私) して
- 3 **ネ イシカツ タ アラパアン ヒネ** その石狩に行って,
 ne iskar ta arpa=an hine
 その 石狩 に 行く(私) して
- 4 **ソンノ カ ベックシ タ インネ コタン アン** 本当に川向こうに大きな村がある
 sonno ka petkus ta inne kotan an
 聞いた通り 川向こう に 人口の多い 村 ある
- 5 **ヒ クス, ネ チセ オツ タ** ので, その家に,
 hi kusu, ne cise or ta
 ので その 家 の所 に
- 6 **コタン オルン アラパアン ルウェ ネ ヒネ,** 村に行って,
 kotan or un arpa=an ruwe ne hine,
 村 の所 に 行く(私) こと である して
- 7 **ナニ アウオシマアン,** すぐに
 nani awosma=an,⁸³
 すぐ 家の中へ入る(私)
- 8 **チセ オンナイ アウオシマアン ルウェ ネ。** 家の中へ乗り込んだ。
 cise onnay awosma=an ruwe ne.
 家 の中 家の中へ入る(私) こと である
- [45]-1 **アクス, オンネ クル ルツネマツ アン,** すると, 老人と老女がいて,
 21:08 akusu, onne kur rupnemat an,
 したところ 年老いた 人 老女 いる

83 ; aw-osma 「家の中・に入る」。敵討ちにやってきたのだから注39で触れたような家に入る際の習わしを破って,いきなり入ったのは当然である。

- 2 **ネ イユフネ クル ウタラ ネ クニ** 兄たちと
ne iyupne kur utar ne kuni
その 兄である 人 達 である と
- 3 **アラム フ カ オカ, シネ イマタクネ** 思われる人達もいて、ひとり妹である
a=ramu p ka oka, sine imatakne
(私)思う もの も いる 一人の 妹である
- 4 **メノコ アン ペ ネ セコロ アウヌフ** 女の子がいてと母が
menoko an pe ne sekor a=unuhu
女 いる もの である と (私の)母
- 5 **イエ フ ネ ア フ, ネ メノコ タクピ** 言っていたが、その女の子だけが
ye p ne a p, ne menoko takupi
言う もの だったが その 女 ばかり
- 6 **モイモイケ コロ アン ヒ クス,** 働いていた。
moymoyke kor an hi kusu,
動く しつつ いる だから
- 7 **オロ タ アウオシマアン ヒネ** そこで私はその家に踏み込んで行って、
oro ta awosma=an hine
その場所で 家の中へ入る(私) して
- [46]-1 **エネ オンネ クル エウン** その老人に、
21:27 ene onne kur eun
このように 年老いた 人 に
- 2 **「イエラミシカリ ヤ？」** 「俺がわからないか」
“ i=eramiskari ya? ”
(私を)知らない か
- 3 **セコロ アコウエペケンヌ アクス,** と聞くと、
sekor a=kouepekennu akusu,
と (私)事情を尋ねる したところ
- 4 **「アエラミシカリ, シケトクナ ワ アエラミシカリ」** 「知らない、まったく見覚えがない」
“ a=eramiskari, siketokna wa a=eramiskari⁸⁴ ”
(私)知らない 見覚えがない して (私)知らない
- 5 **セコロ カンナ ルイノ ハウエアン ヒ クス,** と(老人が)再三言い放つので、
sekor kanna ruyno hawean hi kusu,
と 重ねて 激しく 言う だから
- 6 **「アオナハ エチスルク サケ ソモ クレ フ ア？」** 「父に毒の酒を飲ませなかったか」
“ a=onaha eci=surku⁸⁵ sake somo kure⁸⁶ p a? ”
(私の)父 (お前達の)毒 酒 しない 飲ませる もの か
- 7 **セコロ アコウエペケンヌ アクス, オラ** と聞くと、
sekor a=kouepekennu akusu, ora
と (私)事情を尋ねる したところ そして
- 8 **エアシリ ネフ カ エキマテクパ ルウェ ネ** 皆初めて何かにあわてふためいた
easir nep ka ekimatekpa ruwe ne
初めて 何 か あわてる こと である
- [47]-1 **ノイネ オカ, ラボッケ ナニ** ようだった。私は間髪入れず
21:54 noyne oka, rapokke nani
ようで いる その間に すぐ

84 ; siketokna wa eramiskari 「まったく見覚えがない」

85 ; eci=は、二人称複数の人称接辞で、「お前達が/の/を/に。」名詞についた場合は「お前達の。」

surkuは、「毒」でもとりわけトリカブトをさす。

86 ; somo kureは「しない・飲ませる」「飲ませない。」

- 2 **サパウシペ ネ オンネ クル アテッコノイエ** その老人(の髪)をむんずとつかみ,
sapauspe⁸⁷ ne onne kur a=tekkonoye⁸⁸
髪 その 年老いた 人 (私)引っ掴む
- 3 **オトピ アホトゥリトゥリ, アヌヤヌヤ コロ** 伸しては畳み,
otopi a=hoturituri,⁸⁹ a=nuyanuya⁹⁰ kor
髪 (私)引っ張る (私)揉み揉みする しつつ
- 4 **アトイコキッキク ヒネ** 殴って殴って殴りとばし,
a=toykokikkik⁹¹ hine
(私)ひどく殴る して
- 5 **ネ ルフネマツ ネ ヤッカ** その老女だろうが
ne rupnemat ne yakka
その 老女 であつても
- 6 **(ネ イボネ) イユパネ クル ウタラ ネ ヤッカ** 義兄達だろうが
(ne ipone) iyupne kur utar ne yakka
その 息子である 兄である 人 達 であつても
- 7 **ウコクシシ アウコキッキク.** 誰かれかまわずボコボコに殴りつけた。
ukokusis a=ukokikkik.
ともに (私)殴る
- 8 **ウコキリリセバ ヤッカ キリリセバ ヒ カ** 皆がキーキー泣き叫ぼうが喚こうが
ukokirirsepa⁹² yakka kirirsepa hi ka
皆で叫ぶ であつても 叫ぶ こと も
- 9 **アヌ フミ カ イサムノ オピッタ, レン オピッタ** 聞く耳持たず, 三人まとめて
a=nu humi ka isamno opitta ren⁹³ opitta
(私)聞く 様子 も なしに 皆 三人 皆
- 10 **アライケ ヒネ エソイネ アルラ ヒネ** 皆殺しにして, 外に放り出して
a=rayke hine esoyne a=rura hine
(私)殺す して 外に (私)運ぶ して
- 11 **アトゥムンコウファイカ ルウェ ネ。 アクス,** ごみと一緒に燃やしてしまった。すると
a=tumun-ko-uhuyka⁹⁴ ruwe ne. akusu,
(私)ほこりと一緒に燃やす こと である したところ
- [48]-1 **コタン コロ ウタラ イカオパシ ヒネ アラキパ ヒネ,** 村人達が駆けつけて来て,
22:35 kotan kor utar ikaopas hine arkipa hine,
村 の 人達 駆けつける して 来る して
- 2 **「エネ ニシパケムヌアン ア フ,** 「私達はあの旦那さんを気の毒に思っ
" ene nispa-kemnu=an a p,
そのように 旦那を気の毒に思う(私)だったが いたが,
- 3 **タネ パラコラチツケパ」ヒケ ハウエオカバ コロ** 今や罰が下ったのだ」と言つて,
tane parkoracitkepa⁹⁵ hike haweokapa kor
今 罰が下る したと 言う しつつ
- 4 **エヘセ ヒ イェ ロク イェ ロクパ コロ** 「ほっとした」「胸がすく」と口々に言い,
ehese⁹⁶ hi ye rok ye rokpa⁹⁷ kor
~でほっとすること 言う(何回も) 言う(何回も) して

87 ; sapa-us-pe 「頭・生える・もの」=髪之毛

88 ; tek-ko-noye 「手・と共に・ねじる」

89 ; ho-turi-turi 「尻・伸ばす・伸ばす」

90 ; nuya-nuya 「揉む・揉む(こする・こする)」

91 ; toyko-kikkik 「徹底的に・ほかほか殴る」

92 ; u-ko-kirkir-se-pa 「互い・と共に・キーキー・言う・(複)」=皆で何回も悲鳴をあげる。

93 ; なぜ四人でなく三人なのか不明。

94 ; tumun-ko-uhuyka 「ほこり・と共に・燃やす」

95 ; このセリフは主語がわかりづらいが, 村人たちが気の毒に思った "nispa" とは毒殺された叙述者の父, 罰が下ったのは父を毒殺したこの家の人々。

96 ; e-he-se 「~について・へー(息を表す擬音)・と言う」久保寺辞典には「溜飲をさげる, 鬱憤をはらす」とある。

97 ; rok rokは, a aの複数形。それにさらに「何人もが/何回も」を表す-paがついている。

- 5 **オラ ナニ ネア アオナハ ネ クニ**
ora nani nea a=onaha ne kuni
そして すぐ 件の (私の)父 である と
それから、早速父のものであると
- 6 **アラム チセ オルン アラパアン。**
a=ramu cise or un arpa=an.
(私)思う 家 の所 に 行く(私)
思われる家に私は(一人で)向かった。
- 7 **オホンノ タネ シラン ペ ネ クス,**
ohonno tane siran pe ne kusu,
長い間に 今や 時がたつ もの なので
長く時間が経ったので、
- 8 **チセ オンナイ ネ ヤッカ トゥムン ネ ヤ**
cise onnay ne yakka tumun ne ya
家 の中 であつても ほこり とか
家の中も、ほこりや
- 9 **ハンケ プンカラ トゥイマ プンカラ**
hanke punkar tuyma punkar
近く 蔓 遠く 蔓
あちらこちらに蔓がびっしり
- 10 **コノイノイケ ワ アン ウシケ タ**
konoynoyke wa an uske ta
からまる して いる 所 に
からまったところに
- [49]-1
23.07 **コタン コロ ウタラ アラキパ ワ**
kotan kor utar arkipa wa
村 の 人達 来る して
村人達がやってきて、
- 2 **シツチャシヌレ イエカスイ,**
sir-casnure i=ekasuy,
辺りを掃除すること (私を)手伝う
掃除を手伝ってくれたり、
- 3 **トマ スプ コロ ワ アラキパ ワ**
toma sup kor wa arkipa wa
莫座 巻いた物 持つ して 来る して
巻いた莫座を持って来て
- 4 **トマソカラ ネ ヤ キ ワ**
tomasokar ne ya ki wa⁹⁸
莫座の座を作る など する して
座をしつらえたりした。
- 5 **「オロ タ アオナハ テ タ ネ**
“oro ta a=onaha te ta ne
この場所で (私の)父 ここ で である
「ここで父が
- 6 **ライ ウシ ネ ヤ」**
ray usi ne ya ”
死ぬ ところ である か
死んだのか」
- 7 **セコロ ハウェアナン コロ チサン コロ**
sekor hawean=an kor cis=an kor
と 言う(私) しつつ 泣く(私) しつつ
と言って私は泣いて、
- 8 **オラ オロ タ アペリアン。**
ora oro ta apear=an.
それから その場所で 火を焚く(私)
そこで火を焚いた。
- 9 **コタン コロ ウタラ イカスイ ワ スケアン ワ**
kotan kor utar i=kasuy wa suke=an wa
村 の 人達 (私を)手伝う して 料理する(私)して
村人達に手伝ってもらって料理をし、

98；莫座を持ってきて敷く(座を作る)というのは、儀式的準備をするという描写である。ここでは主人公の父親をはじめ、悪い祖父達に殺された人達の供養の儀式を始め

ること指している。

- 2 **アウヌ イエボタラ クニ アラム ヒ クス** 母が心配すると思うので、
 a=unu i=epotara kuni a=ramu hi kusu
 (私の)母 (私を)心配する と (私)思う だから
- 3 **ホシピアン クナク アイェ アクス,** 帰ろうと言うと、
 hosipi=an kunak a=ye akusu,
 帰る(私) しようと (私)言う したところ
- 4 **ネ コタン コロ ウタラ** その村人達、
 ne kotan kor utar
 その 村 の 人達
- 5 **イルラ クナク イェ ウタラ** 私を送っていくという人達が、
 i=rura kunak ye utar
 (私を)送って行く と 言う 人達
- 6 **オラ アオナ コロ ワ オカイ ペ オピッタ** 父の持ち物を全部、
 ora a=ona kor wa okay pe opitta
 そして (私の)父 持つ して いる もの 皆
- 7 **ピリカ フ ネ ヤッカ ウェン ペ ネ ヤッカ** いいものも悪いものも
 pirka p ne yakka wen pe ne yakka
 いい もの であっても 悪い もの であっても
- 8 **オピッタ アウオマレ ヒネ** 全部集め、
 opitta a=uomare hine
 皆 (私)集める して
- 9 **ネ イルラ ウタラ ポロ シケ キ ヒネ** 大きな荷物を背負って
 ne i=rura utar poro sike ki hine
 その (私を)送る 人達 大きい 荷を背負うこと する して
- 10 **オラノ イルラ ヒネ アキアン ヒネ** 私を送って来てくれて、
 orano i=rura hine arki=an hine
 そして (私を)送る して 来る(私達) して
- 11 **アコタヌ アウヌフ アコシレパ。** 私の村、母のところへ私達は着いた。
 a=kotanu a=unuhu a=kosirepa.
 (私の)村 (私の)母 (私)に着く
- [52]-1 **オラノ アウヌ チシ コロ** すると、母は泣いて
 24:43 orano a=unu cis kor
 そして (私の)母 泣く しつつ
- 2 **イコブンテク ア イコブンテク ア** 喜んで喜んで、
 ikopuntek a ikopuntek a
 喜ぶ (何度も) 喜ぶ (何度も)
- 3 **オラ ネ イルラ ウタラ ネ ヤッカ** そして私を送ってくれた人達にも
 ora ne i=rura utar ne yakka
 そして その (私を)送る 人達 であっても
- 4 **アコヤイライケ ヒ アイェ コロ オカアン ヒケ** 私達はお礼を述べていたが、
 a=koyairayke hi a=ye kor oka=an hike
 (私)~に感謝する こと(私)言う しつつ いる(私達) が
- 5 **オラ ホシッパ, コタヌン ホシッパ** 村に帰ろう
 ora hosippa, kotan un hosippa
 そして 帰る 村 に 帰る
- 6 **クナク イェ ウタラ カ オカ,** という人達もあれば、
 kunak ye utar ka oka,
 しようと 言う 人達 も いる

- 7 **ホシッパ ソモ キ ノ**
hosippa somo ki no
帰る しない する して
帰らないで
- 8 **ナニ イエコタンネ ルスイ**
nani i=ekotanne rusuy
すぐ (私に)の村に住む したい
すぐここに住みたい
- 9 **セコロ ハウェオカ ウタラ カ オカ ヒネ,**
sekor haweoka utar ka oka hine,
と 言う 人達 も いる して
という人達もいて,
- 10 **ナニ イエコタンネ ウタラ アナクネ**
nani i=ekotanne utar anakne
すぐ (私に)の村に住む 人達 は
すぐ住みたいという人達は
- 11 **アコタヌ タ アン クニ ネ,**
a=kotanu ta an kuni ne,
(私)の村 に 暮らす するようになる
私達の村で暮らすようになり,
- 12 **ネ モヨ コタン ネ オカアン ヒネ,**
ne moyo kotan ne oka=an hine,
その 人の少ない 村 として 暮らす(私達) して
小さい村をなして私達は暮らした。
- [53]-1
25:14 **オラ アウヌ アナクネ エネ シリキラフ**
ora a=unu anakne ene sirkirap
そして (私の)母 は このように 苦労すること
母はこのように苦労
- 2 **パテク キ プ ネ アクス,**
patek ki p ne akusu,
ばかり する もの である したところ
ばかりした人であって,
- 3 **タネ オンネ ッ ネ クス**
tane onne p ne kusu
今 年をとる もの である ので
今は年をとったので,
- 4 **ホク カ サク ノ ネ コロカ,**
hoku ka sak no ne korka,
夫 も なしに である けれど
旦那さんもなしにはあるけれど,
- 5 **アピリカヌヌケ コロ オカアン。**
a=pirka-nunuke kor oka=an.
(私)よく面倒を見る しつつ 暮らす(私達)
(その分も)私が孝行して暮らした。
- 6 **ラポッケ ヤイカタ カ ピリカ メノコ**
rapokke yaykata ka pirka menoko
そのうち 自分 も 美しい 女
そのうち私は美しい女と
- 7 **アエトゥン ヒネ ポ カ アコロ**
a=etun hine po ka a=kor
(私)嫁を貰う して 子供 も (私)持つ
結婚して、子供も持った
- 8 **シリ カ アウヌフ カ ヌカラ**
siri ka a=unuhu ka nukar
様子 も (私の)母 も 見る
様子を母も見て,
- 9 **オラ アコロ エカシ カ アコロ フチ カ**
ora a=kor ekasi ka a=kor huci ka¹⁰¹
そして (私)の 祖父 も (私)の 祖母 も
祖父も祖母も

101 ; ekasi, huci は老人に対する尊称であるのに対し、これまで出てきた onne kur, rupnemat は、尊敬の意は含まない。

- 10 **アオナ ネ クル カ アヌカラ カ** 父である人も
 a=ona ne kur ka a=nukar ka
 (私の)父 である 人 も (私)見る も
- 11 **エラミシカリ ノ ポロアン ペ ネ コロカ,** 見たこともないまま大きくなった私では
 eramiskari no poro=an pe ne korka,
 したことがない して 大きくなる(私)もの である けれど
- 12 **アコロ エカシ フチ アオナハ** 祖父, 祖母, 父を
 a=kor ekasi huci a=onaha
 (私)の 祖父 祖母 (私の)父
- 13 **アヌラッパ コロ オカアン...アナン アイネ,** 供養しながら暮らして,
 a=nurappa kor oka=an ... an=an ayne,
 (私)供養する しつつ いる(私達) いる(私) したあげく
- [54] -1 **ラボッケ アウヌ オンネ ワ イサム オカ タ** そのうち母が死んだ後に
 25.57 rapokke a=unu onne wa isam oka ta
 そのうち (私の)母 年をとる して 死ぬ の後 に
- 2 **ヤイカタ カ ポ カ ポロンノ アコロ ヒネ** 私も子供をたくさん持って
 yaykata ka po ka poronno a=kor hine
 自分 も 子供 も たくさん (私)持つ して
- 3 **オンネアン ルウェ ネ コロカ,** 年をとったのであるが,
 onne=an ruwe ne korka,
 年をとる(私) こと である けれど
- 4 **「ネイ パクノ アポウタリ カ** 「いつまでも子供達よ,
 “ ney pakno a=poutari ka
 いつ までも (私の)子供達 も
- 5 **アコロ エカシ アオナ フチ ヌラッパ ワ** 私の祖父母, 父を供養して
 a=kor ekasi a=ona huci nurappa wa
 (私)の 祖父 (私の)父 祖母 供養する して
- 6 **イコレ ヤク ピリカ ナ」セコロ** おくれ」と
 i=kore yak pirka na” sekor
 (私に)くれる したら いい よ と
- 7 **イタクムイエアン コロ オンネアン セコロ** 言い残して死んでいくのだ, と
 itakmuye=an¹⁰² kor onne=an sekor¹⁰³
 言い残す(私) しつつ 死ぬ(私) と
- 8 **シネ アイヌ オッカイボ イソイタク セコロ。** ひとりの男が語ったと。
 sine aynu okkaypo isoytak sekor.
 一人の 人間 男 物語る と

102 ; itakmuye は「言い残す。言い置く。遺言する」と中川辞典にはあるが, ウエベケレの本質をよく言い表した言葉である。

103 ; この sekor の前後では叙述者が変わる。それまでの「私」は, 最後の行で「ひとりの男」と, 三人称で語られている。つまり, sekor 以前は全体が長い引用文だったわけで, 最後の一行にきて叙述者と語り手が一致し, 語り手自らの言葉で語る形になっている。これはどのウエベケレに

も見られる特徴である。

ウエペケレ2

夜襲で滅びた村の
孤児姉弟の話

あらすじ

主人公は、姉と暮らす男の子。

私には姉がいる。毎日泣き暮らして、いつも私をおぶって働いていたが、私が少し大きくなると、私を家に残して山へ働きに行くようになった。

その日も姉は留守で、私が家の外に座っていると、川向こうの葦原に3人の不審な男が隠れるのが見えた。帰った姉にそれを告げると、姉は泣きながらわけを語る。

「まだお前が小さい頃、この村はトバットゥミ（夜襲）に遭い、お前をおぶって山に遊びに行っていた私たちだけが生き残ったのです。きっとその3人の男たちは、生き残りがいないか様子を見に来たのでしょう」と言って私に食事をさせ、それから家の隅に穴を掘って私を隠した。

姉は男たちに聞こえるように、殊更に一人暮らしの身上を何度も歌に歌っていると、男たちが現れた。「どうせ天涯孤独の身なのだから、殺せばいい」と姉は言ったが、男たちは「連れ帰って、飯炊きにでもしよう」と言ってさらって行ってしまった。

翌日、姉の機転によって難を逃れた私は、川のほとりでひとりの男と出くわす。男は一目散に私のほうへ駆けてくると私の頭を撫で、私を肩に抱えてずんずん石狩川を遡り、またずんずん川を下って湧別の村についた。

湧別には男の老父母があり、「私の息子は、どこからこんな可愛い子を連れてきたのだ」と言っていたいそう喜び、例えようのないほど私をかわいがって暮らした。私もまた「お父さん」「お母さん」「お兄さん」と言ってなつくので、なおさら私をかわいがることだった。しかし、私に生き別れた姉がいることは誰にも言えなかった。

私が大きくなったある日、老父は私にわけを尋ねた。「実は　　」私は姉と二人で暮らしていたこと、私の村が夜襲に遭って滅びたこと、夜襲の一派が再び様子を見に来たが、姉の機転によって私は難を逃れ、姉は男たちに連れ去られたこと、を話した。

すると老父たちはたいそう驚き、「石狩の先に夜襲が来て村が滅びたということは聞いていたが、ではお前は石狩のニシパの子孫なのだ」と言って同情し、さらに「お前ももう大きくなったのだから、夜襲の敵を討ちに行ったらいい。きっとお前の姉は生きていような気がするから、探し出して敵を討ちなさい」と言う。そこで私と兄は、村の屈強な男たちと共に、大勢で石狩へと向かった。

兄たちは山陰に潜み、私は一人で一軒の家へ入った。そこには2人の男が寝ており、互いに気づいた姉と私は声を忍ばせ再会を喜んだ。

やがて夜　　。兄たちも村に下りてきて祈りを捧げ、巫術によって村人を眠らせてから村に攻め入ると、村人たちは皆いびきをかいて寝入っているの、一軒一軒喉をかき斬って回り、やがて残らず皆殺しにしたのだった。

翌日、私たちは夜盗に奪われた父の持ち物を全部集め、かつて滅ぼされた私たちの村に行き、供養を行った。「神の国へ行けずにいる同胞たち、これからでも神の仲間入りして下さい」と兄達が祈り、家送りをして姉と子ども湧別の村に帰ったのだった。

湧別の父も喜んでくれ、姉も湧別の父に繰り返し礼を言うことには、「弟さえ生きていれば父の子孫を絶やさずに済むと思ひ、泣きながら育てていましたが、ニシパのおかげで弟もこんなに立派に成長してきたのです」と言って喜んだ。姉をさらっていった石狩の男が現れ、「飯炊き女にでもしようと思って連れていったが、毎日泣いてばかりいる。妻になれというのも気の毒になり、弟がいるというのでその弟を探し出してやろうと思っていたが、姉弟一緒に暮らせるようになって良かった」と喜んだ。その男も可哀想なので別に家を建て、姉と所帯をもった。私も姉を大切に暮らした。

やがて湧別の父母も亡くなり、兄も結婚して子をもうけ、姉も幸せに死んでいった。私の子供も大きくなり、やがて私も死ぬのだが、「子供たちよ、私たちは石狩から来たものなので、でしゃばることなく、湧別の人たちと仲良く暮らすのだよ」と一人の男が語った。

- [1]-1
0:00 **アサ アン ヒネ オカアン ヒケ,**
a=sa an hine oka=an hike,
(私の)姉 ある して 暮らす(私達) したが
- 2 **アサ マク ネ ワ ネ ヤ**
a=sa mak ne wa ne ya
(私の)姉 どう である して である か
- 3 **チシ コロ パテカン コロ オラ**
cis kor patek an¹ kor ora
泣く しつつ ばかり いる しつつ そして
- 4 **イカイ カネ ワ,**
i=kay kane wa,
(私を)おぶう して して
- 5 **ネフ カラ ヤッカ イカイ カネ ワ ネフキ。**
nep kar yakka i=kay kane wa nepki.
何 する であっても (私を)おぶう しながら して 働く
- 6 **ムン ラタシケフ キナ ラタシケフ カラ コロ**
mun rataskep kina rataskep kar kor²
雑草 煮物 野草 煮物 作る しつつ
- 7 **ピリカ ウシケ イエレ コロ**
pirka uske i=ere kor
いい ところ (私に)食べさす しつつ
- 8 **オカアン ペ ネ ア フ,**
oka=an pe ne a p,
暮らす(私達) もの だったが
- 9 **タネ ポンノ ポロアニ オラノ アナクネ**
tane ponno poro=an hi orano anakne
今 少し 大きくなる(私) 時 それから は
- 10 **アサ イホツパ ノ エキムネ ランケ ワ**
a=sa i=hoppa no ekimne ranke wa
(私の)姉 (私を)残す して 山に行く 何度もする して
- 11 **オハシツ タ アナン ペ ネ ア フ,**
ohasir ta an=an pe ne a p,
留守の家 に いる(私) もの だったが
- [2]-1
0:34 **シネアンタ ソイネアン ヒネ ソイ タ**
sineanta soyne=an hine soy ta
ある時 外に出る(私) して 外 に
- 2 **アアン ヒネ アナン ルウェ ネ アクス,**
a=an hine an=an ruwe ne akusu,
座る(私) して いる(私) こと である したところ
- 3 **ペックシ ワ レ オッカヨ アーキバ ヒネ**
petkus wa re okkayo arkipa hine
川向こう から 三人の 男 来る して
- 姉がいて私たちは暮らしていたが、
- 姉はどういうわけか
- 泣いてばかりいて、そして
- 私をおぶって、
- 何をするのでも私をおぶったまま働いた。
- 雑草の煮物、野草の煮物を作っては
- おいしいところを私に食べさせて
- 暮らしていた。
- 今少し(私が)大きくなってからは、
- 姉はよく私を残して山へ行くようになり、
- 留守の家に私はいた。
- あるとき、私は外に出て
- 座っていると、
- 川向こうから三人の男が来て、

1; この話は姉弟の二人暮らし。こうした場合、たいていは夜盗、疫病によって村が滅びたことを言外に匂わせている(中川裕『アイヌの物語世界』参照)。

2; munは食べられない草、kinaは食べられる草をいうが、食べられないものまで食べた、というところに暮らしぶりが出ている。男手がないので、狩りをして肉をとってくる人間がないのである。

ただし、本田優子氏によると、トシさんは rataskep を「野草」の意味で使う場合があるとのこと。

- 4 トマム サラ オシマバ シリ イキ ヒ 葦原に隠れたのを
tomam sar osmapa siri iki hi
湿地 葦原 入る 様子 する こと
- 5 アヌカラ ヒ クス, オラ 見たので,
a=nukar hi kusu, ora
(私)見る なので そして
- 6 アサ イワク ヒ クス アイェ アクス, 姉が帰ってきてその話をする,
a=sa iwak hi kusu a=ye akusu,
(私の)姉 帰る なので (私)言う したところ
- 7 アサ チシ コロ エネ ハウエアニ。 姉は泣きながらこう言った。
a=sa cis kor ene hawean hi.
(私の)姉 泣く しつつ 次のように言った
- 8 「タネ パクノ エポロ ワ ネ ヤクン 「こうまでおまえが大きくなったのだから
“ tane pakno e=poro wa ne yakun
今 まで (お前)大きくなる して である ならば
- 9 アエパシクマ ナ。 わけを話しますよ。
a=e=paskuma na.
(私が・お前に)素性話をする よ
- 10 アイェ ヲ ネノ イキ ハニ」 私の言うとおりになさいね」
a=ye p neno iki hani³”
(私)言う もののように する しなさいね
- 11 セコロ ハウエアニ ヒ クス と言うので
sekor hawean hi kusu
と 言う だから
- 12 アエエセ ヒネ アナン アクス, うなずくと,
a=eese hine an=an akusu,
(私)同意する して いる(私) したところ
- 13 オラ エネ ハウエアニ。 (姉は)こう言った。
ora ene hawean hi.
そして 次のように言った
- [3]-1 「ナ エポニ タ 「おまえがまだ小さい頃,
1:15 “ na e=pon hi ta
まだ (お前)小さい 時 に
- 2 アエカイ カネ ヒネ キモシノタン クス (私はおまえをおぶって山へ遊びに)
a=e=kay kane hine kimosinot=an kusu
(私・お前)おぶう ままで して 山で遊ぶ(私) ために
- 3 アエカイ ヒネ シノタン クス おまえをおぶって遊びに
a=e=kay hine sinot=an kusu
(私・お前)おぶう して 遊ぶ(私) ために
- 4 キム タ ア=パアン パイエアン ヒネ オラ 山へ行って,
kim ta arpa=an⁴ paye=an hine ora
山 に 行く(私) 行く(私達) して そして
- 5 ホシピアン, タネ ホシピアン コタン カランケ 帰って, 村のすぐ近くに
hosipi=an, tane hosipi=an kotan karanke
帰る(私) 今やもう 帰る(私) 村 の近くに

3; hani は, 子供に優しく言いかけせるような場合に用いる。

4; arpa は単数形で「(一人が)行く」という意味になるため, 続けて paye 「(二人以上が)行く」と複数形で言い直し

ている。以下の2行でも, hosipi (単), arki (複) など, 単数・複数混在しているが, 本来は hosipi も hosippa と複数形になるべきところだろう。

- 6 アラキアン ルウェ ネ アクス, さしかかったところ,
ar ki=an⁴ ruwe ne akusu,
来る(私達) こと である したところ
- 7 コタン オルン ウェン キマカウ アシ ワ 村で悲鳴がしたので,
kotan or un wen kimakaw as wa
村 の所へ ひどい 呼び声 立つ して
- [4]-1 オラ アオヤモクテ, トバットゥミ ヘネ おかしいな, 夜襲でも
1:43 ora a=oyamokte, topattumi⁵ hene
そして (私)いぶかしむ 夜襲 でも
- 2 エク ワ ネ クニ アラム ヒ クス 来たのだろうかと思って
ek wa ne kuni a=ramu hi kusu
来る して である と (私)思う だから
- 3 オラ ホロカ キラアン ヒネ アクス, 逆方向に逃げると,
ora horka kira=an hine akusu,
そして 逆方向に 逃げる(私) して したところ
- 4 オシンリッコメウケ チクニ, ポロ チクニ 根こそぎ倒れた木, 大きな木が
osinritkomewke⁶ cikuni, poro cikuni
根ごと倒れる 木 大きい 木
- 5 アン ヒ クス, ネ チクニ チョロボク あるので, その木の下に
an hi kusu, ne cikuni corpok
ある こと なので その 木 の下
- 6 アフナン ヒネ ヌイナクアニネ オカアン アイネ, 入ってずっと隠れていた。やがて
ahun=an hine nuynak=an hine oka=an ayne,
入る(私) して 隠れる(私) して いる(私達) したあげく
- 7 コタン オツ タ サパン ルウェ ネ アクス, 村に下りていくと,
kotan or ta sap=an ruwe ne akusu,
村 の所へ 下りる(私) こと である したところ
- 8 コタン オピッタ スプヤ サク ヒネ, オラ 村中の家の煙が消えていて,
kotan opitta supuya sak hine, ora
村 じゅう 煙 ない して そして
- 9 チサン コロ ケウピステアン アクス, 泣きながら骸を改めてみると,
cis=an kor kew-piste=an⁷ akusu,
泣く(私) しつつ 骸を数える(私) したところ
- 10 アウタリ アナクネ オピッタ 村人は皆
a=utari anakne opitta
(私の)村の人達 は 皆
- 11 タネ ライ ワ オカ ルウェ ネ。すでに死んでしまっていた。
tane ray wa oka ruwe ne.
今では 死ぬ すでに~している こと である
- [5]-1 クンネ ヒネ オラ コロカ, (暗くなったけれど)
2:21 kunne hine⁸ ora korka,
暗くなる して そして けれど

5; 物語りの中に伝えられる, 村の侵略のこと。呪術を用い, 村人を皆殺しにして財宝を奪ってゆく。このお話は, トバットゥミに遭った村の生き残りが, よその村の協力を得て復讐を果たす筋立てだが, 聞き進むとわかるように, 最初トバットゥミの被害者だった側が, 復讐の段になるとやはりトバットゥミとなってよその村に攻め入ることになる。単純に善玉・悪玉の関係ではないようである。

6; o-sinrit-ko-mewke「(場所)に・根・と共に・もげる」

7; kew-piste「遺骸・の数をそろえる」

8; トシさんによると, kunne hineの部分は, 本来 nuynak=an hine「私は隠れていたのだが」と言うべきところであった, とのこと。

- 5 エエ プ, ニサツタ エエ プ
e=e p, nisatta e=e p
(お前)食べる 物 明日 (お前)食べる 物
明日の食べ物を
- 6 アアヌ クス ネ ナ。
a=anu kusu ne na.
(私)置く つもり だ よ
置いておくよ。
- 7 ネ ワ アン ペ エエ ヤク ピリカ ナ」
ne wa an pe e=e yak pirka na”
今いったその物 (お前)食べる したら いい よ
それを食べたらいいいよ」
- 8 セコロ イイエ コロ
sekor i=ye kor
と (私に)言う しつつ
と言いながら
- 9 オヌマン イベ イエレ ヒネ
onuman ipe i=ere hine
夕方 食事 (私に)食べさす して
夕食を私に食べさせて、
- [7]-1 オラ チセ シッケウ タ シロウリ ヒネ,
3:19 ora cise sikkew ta sirowri hine,
そして 家 隅 に 穴を掘る して
それから家の隅に穴を掘って
- 2 オロ イオマレ ヒネ オラ
oro i=omare hine ora
その所 (私を)入れる して そして
そこに私を入れて、
- 3 イカ ムン クシテ ヒネ
i=ka mun kuste hine
(私の)上 草 かぶせる して
上から草をかぶせて、
- 4 アシク タクピ サラ ワ
a=sik¹¹ takupi sara wa
(私の)目 ばかり 開ける して
目(の)ところ)だけ開けて
- 5 インカラアン クニネ カラ ヒネ,
inkar=an kunine kar hine,
見る(私) するように 作る して
見えるようにして、
- 6 イカ ウン ムン ルラ ヒネ
i=ka un mun rura hine
(私の)上 に 草 運ぶ して
私の上に草を運んで
- 7 アナン ルウェ ネ アクス,
an=an ruwe ne akusu,
いる(私) こと である したところ
(そこに)私はいた。
- 8 オラ アサ カ チシ コロ イベ カ キ ヒ
ora a=sa ka cis kor ipe ka ki hi
そして(私の)姉 も 泣く しつつ 食事 も する 事
そして姉も泣く泣く食事をとり
- 9 オカ アン アクス, オラノ チシ コロ
oka an akusu, orano cis kor
が終わる したところ それから 泣く しつつ
終え、涙ながらに
- 10 シノツチャキ ア シノツチャキ ア コロ,
sinotcaki a sinotcaki a kor,
歌を歌う (何度も) 歌を歌う (何度も)したところ
歌を何度も歌ったけれど、

11 ; 「シク」と聞こえるが、「目」は概念形がsik, 所属形がsiki(hi)で、「私の目」というときには所属形になり、a=sikiとなるべきところ。

- 11 シノツチャキ オロ オイタク ハウェ エネ アニ。 歌の文句はこうであった。
 sinotcaki oro oytak hawe ene an hi.¹²
 歌を歌うこと の中 に言う 声(言葉) こう ある こと
- [8]-1 「ヒナク ワ エク ペ アネ ルウェ アン、 「どこから来た私なのか、
 3:52 “ hinak wa ek pe a=ne ruwe an,
 どこ から 来た 者(私)である こと ある
- 2 エネ ウタラ カ サク アバ カ サク ヒネ このように同族もなく親戚もなしに
 ene utar ka sak apa ka sak hine
 このように 同族 も なく 親戚 も なく して
- 3 エネ オアラ シネン ネ アナン ヒケ カ たったひとりで暮らしていても、
 ene oar sinen ne an=an hike ka
 このように 全く 一人 として 暮らす(私) して も
- 4 ライ カ アコヤイクシ コロ 死ぬに死ねずに
 ray ka a=koyaykus kor
 死ぬ も (私)しづらい しつつ
- 5 エネ アナン ルウェ アン」¹³ このように暮らすことよ」
 ene an=an ruwe an ”
 このように 暮らす(私) こと だなあ
- 6 セコロ ハウエアン コロ アサハ チシ コロ と言って姉は涙ながらに
 sekor hawean kor a=saha cis kor
 と 言う しつつ (私の)姉 泣く しつつ
- 7 シノツチャキ コロ アン アクス、 歌っていたところ、
 sinotcaki kor an akusu,
 歌を歌う しつつ いる したところ
- [9]-1 ラボッケ アババ タ レ オッカヨ 戸口に三人の男が
 4:11 rapokke apapa ta re okkayo
 そのうち 戸口 に 三人の 男
- 2 タシロ エタムタララ カネ パ ヒネ 山刀をふりかざして来て(姉を)見つけ、
 tasiro etamtarara kane pa hine
 山刀 ふりかざす して 見つける して
- 3 アババ エウンエウンパ ヒネ オラ アサ エウン 戸口へ押し寄せて来て、姉に
 apapa euneunpa¹⁴ hine ora a=sa eun
 戸口 殺到する して そして(私の)姉 へ
- 4 「ソノ シネン ネ エアン ペ ネ ヤ？」 「本当に一人で暮らしているのか？」
 “ sonno sinen ne e=an pe ne ya? ”
 本当に 一人 として(お前)暮らすもの である か
- 5 コウエペケンヌ アクス、 アサ、 と尋ねると、姉は、
 kouepekennu akusu, a=sa,
 事情を尋ねる したところ (私の)姉
- 6 「ソノ シネン ネ アン ペ アネ クス 「本当に独り者なので、
 “ sonno sinen ne an pe a=ne kusu
 本当に 一人 として 暮らす もの(私)である ので

12; 今までは ene hawean hi だったが、その前の動詞句を受け
 するために hawe を前にもってきて語順が変化している。

13; アイヌの歌謡には、このように自分の心情を即興で歌詞
 にし、謡うものがあった。ここでの歌詞は、自分は一人
 で暮らしているという内容で、弟を助けるためにわざと
 いつわりを述べている。

14; euneun というのは、戸口からいっぺんに入ろうとして、
 体がつかえる様子。ちょっと漫画的な表現で、「間抜け
 な小悪党三人組」のイメージだが、少なくとも中のひとり
 りはたいした悪人ではなかったらしいことが話の最後に
 わかる。

- 7 アイライケ ヤク アイライケ ヤッカ 殺されるなら殺されるで
a=i=rayke yak a=i=rayke yakka
(人が・私を)殺す ならば (人が・私を)殺す であっても
- 8 ヤイキツニウケシ カ アキ カ ソモ キ ッ ネ ナ, 命を惜しみはしないよ。
yaykipniwkes¹⁵ ka a=ki ka somo ki p ne na,
「死ぬのはいやだ」 も (私)する も しない する もの だ よ
- 9 アイライケ ヤッカ ピリカ ナ」 殺せばいいさ」
a=i=rayke yakka pirka na”
(人が・私を)殺す であっても いい よ
- 10 セコロ アサ ハウエアン ルウェ ネ アクス, と言ったところ,
sekor a=sa hawean ruwe ne akusu,
と (私の)姉 言う こと である したところ
- [10]-1 オラ (シネ オッカヨ) トゥ オッカヨ 二人の男は
4:44 ora tu okkayo
そして 二人の 男
- 2 ウタシバ ウヌカラ ヒネ オラ 互いに顔を見合せて,
utaspa unukar hine ora
互いに 互いに見合う して そして
- 3 シネ オッカヨ エウン, ひとりの男に向かって,
sine okkayo eun,
一人の 男 へ
- 4 「タン メノコ エトゥラ ワ, 「この女を連れていって,
“ tan menoko e=tura wa,
この 女 (お前)連れる して
- 5 ナ エシパロスケ メノコ カ イサムノ まだお前は飯炊き女もなしに
na e=siparosuke¹⁶ menoko ka isamno
まだ (お前)養わせる 女 も なしに
- 6 ブイネ エアン クス, ひとりでいるのだから,
puyne e=an kusu,
ひとりで (お前)いる ので
- 7 タン メノコ エトゥラ ワ エサン ワ この女を連れ帰って
tan menoko e=tura wa e=san wa
この 女 (お前)連れる して (お前)下る して
- 8 エシパロスケ ルスイ ソモ キ ヤ?」 飯炊きにしたくないか?」
e=siparosuke rusuy somo ki ya? ”
(お前)養わせる したい しない する か?
- 9 セコロ コウエペケンヌ アクス, と尋ねると,
sekor kouepekennu akusu,
と 事情を尋ねる したところ
- [11]-1 「アシクヌレ ワ アトゥラ ワ 「生かして連れ帰って
5:10 “ a=siknure wa a=tura wa
(私)生かす して (私)連れる して
- 2 アシパロスケ ヤッカ ピリカ ワ」 セコロ 飯炊きをさせてもいいよ」と
a=siparosuke yakka pirka wa” sekor
(私)養わせる であっても いい よ と

15 ; yeykipniwkes 「死ぬのはいやだ」(菅野辞典)。この一行についてトシさんは「寿命もいたましくないことだ」と。
16 ; siparosuke は辞書に見あたらぬ言葉だが, siparosukere

の形で「養フ・食事を任すこと」, aesiparosukere 「汝養ハル」と久保寺辞典にある。

- 3 シネ オッカヨ ハウェアン ルウェ ネ アクス, ひとりの男が答えた。そして
sine okkayo¹⁷ hawean ruwe ne akusu,
一人の 男 言う こと である したところ
- 4 「ヤクン アライケ ソモ キ ノ アトゥラ クス ネ」 「ならば殺さないで連れていくとしよう」
“ yakun a=rayke somo ki no a=tura kusu ne ”
ならば (私)殺す しない する して(私)運れる します
- 5 セコロ ハウェオカバ コロ と口々に言い,
sekor haweokapa kor
と 言う しつつ
- 6 アサ ウレンテック キシマ ワ ネ 姉の両手をつかんで
a=sa urentek kisma wa ne
(私の)姉 両手 つかむ して ?
- 7 エホトゥリトゥリパ コロ ソイェンバ, オラ 無理矢理連れ出した。そして
ehoturituripa kor soyenpa, ora
引っ張る? しつつ 外に出る そして
- [12]-1 アサ パラパラク コロ ソイネ ハウ 姉が泣く泣く連れられていく声を
5:29 a=sa paraparak kor soyne haw
(私の)姉 泣く しつつ 外に出る 声
- 2 アヌ コロ ヌイナクアン ペ ネ クス 私は聞きながら隠れていたものだから,
a=nu kor nuynak=an pe ne kusu
(私)聞く しつつ 隠れる(私) もの である ので
- 3 ソイネアン カ ソモ キ ノ アナン アイネ, ずっと外に出ずにいて, やがて
soyne=an ka somo ki no an=an ayne,
外に出る(私) も しない する して いる(私) したあげく
- 4 クネイワ ソイネアン ヒネ, ソンノ カ 朝, 外に出ると, (姉に)言われた通り
kuneywa soyne=an hine, sonno ka
朝 外に出る(私) して 聞いた通りに
- 5 ソイ タ ソイネアン, インカラアン アクス, 外に出て見てみると,
soy ta soyne=an, inkar=an akusu,
外 に 外に出る(私) 見る(私) したところ
- 6 ネ チクニ ウコウトウツ タ クネイワ アエフ その木の間に朝ごはんが
ne cikuni ukoutur ta kuneywa aep
その 木 の間 に 朝 食べ物
- 7 アン ヒ クス アエ カ キ ヒネ, オラ あったので食べ, それから
an hi kusu a=e ka ki hine, ora
ある だから (私)食べる も する して そして
- 8 ペツ サム タ サナン ヒネ 川のそばに行って,
pet sam ta san=an hine
川 そば に 下りる(私) して
- 9 ペテトクン カ ペットトゥン カ 川上や川下のほうを
petetok un ka petput un ka¹⁸
源 へ も 川尻 へ も
- 10 インカラアン コロ アナン ルウェ ネ アクス, 見ていると,
inkar=an kor an=an ruwe ne akusu,
見る(私) しつつ いる(私) こと である したところ

17 ; この男は, 物語の最後にも登場する。

18 ; petetokは「水源地」, petputは「川口」を言うが, unやwaがつくと方向を表す。

- [13]-1 6:04 **ペテトク ワ ネン カ アイヌ ヘネ ネ** 川上から誰か人間
 petetok wa nen ka aynu hene ne
 源 から 誰 が 人間 でも である
- 2 **ペコロ アン ペ サン シリ イキ ヒ クス** らしきものが下ってくるようなので
 pekor an pe san¹⁹ siri iki hi kusu
 かのような ある もの 下る 様子 する ので
- 3 **アヌカラ ヒネ アナン ルウェ ネ アクス,** 見ていると,
 a=nukar hine an=an ruwe ne akusu,
 (私)見る して いる(私) こと である したところ
- 4 **オッカヨ ネ ヒネ,** 男の人であって,
 okkayo ne hine,
 男 である して
- 5 **パシ カネ テレケ カネ アン ヒネ サニネ,** 一目散に走り下ってきて,
 pas kane terke kane²⁰ an hine san hine,
 走る して 跳ぶ して いる して 下る して
- 6 **イエタフトゥサレ カネ アン クル ネ ヒネ** それは片肌脱いだ男であって,
 i=etaptusare²¹ kane an kur ne hine
 (人に)片肌脱がせる して いる 人 である して
- 7 **エク ヒネ イサム タ エク ヒネ** 私のそばにやっけてきて,
 ek hine i=sam ta ek hine
 来る して (私の)そば に 来る して
- 8 **イルイルイバ コロ** 私をなでながら
 i=ruyruypa²² kor
 (私を)なでる しつつ
- 9 **ナニ イエタツカコモ テク ヒネ** すぐ私をさっと抱きあげて,
 nani i=etapkakomo tek hine
 すぐ (私を)肩に抱える 急に して
- 10 **オラ スイ ナニ ペツ トウラシ** またすぐ川に沿って上へ^{かみ}
 ora suy nani pet turasi²³
 そして また すぐ 川 に沿って上の方へ
- 11 **ホユプ ヒネ パイエアン アイネ,** さんざん走って行き、やがて
 hoyupu hine paye=an ayne,
 走る して 行く(私達) したあげく
- [14]-1 6:46 **「タネ イシカラ アオカリ ルウェ ネ,** 「今は石狩川を通過して,
 tane iskar a=okari ruwe ne,
 今 石狩川 (私)經由する こと である
- 2 **ユペツ オルン ラナン ルウェ ネ」** 湧別川に下っていくんだよ
 yupet²⁴ or un ran=an²⁵ ruwe ne”
 湧別 の所 へ 下る(私) こと である

19; sanは「(川下方向へ)行く/来る」。複数形はsap。川上方向へ行く時はarpaやekが使えるが、「(川下へ)行く/来る」にはこれらは使えない。

20; [13]-11にあるように、ふつう「走る」はhoyupuだが、「走ったり跳んだりしながら(一目散に)行く」という民話的なユーモラスな常套句である。

21; i=e-tap-tusa-re「人に・～でもって・肩・裸になる・させる」。トシさんによると、着物をきちっと着る暇もない程あわててやって来た様子という。男は夢か何かで事件について神の知らせを受け、少年を助けにやってきたのだらう。トシさんはkamuy renkayne「神の意志によって」と説明した。

22; 「～の両手をとってなでて喜びのあいさつをする」。田村辞典では、女性の挨拶のしかたのひとつ、としているが、ここでは原義どおり「なでなでする」ほどの意か。

23; 日本語だと「川沿いに」なのだが、アイヌ語では下 上の方向軸はturasi, 上 下へはpesと、使い分ける。

24; yupet 北見地方の集落、または湧別川のことと思われる。石狩川と源を接する。湧別川は本流のみで総延長84km、石狩川は268kmある。この姉弟の村は石狩川の上流に位置することが後半でわかるが、いずれにせよこの男は相当な距離を子供を抱えて走ったことになる。

25; ranは「上から下へ下がる、川の方へ行く」、rapはその複数形。

- 3 **セコロ ハウェアン コロ** と言いながら,
 sekor hawean kor
 と 言う しつつ
- 4 **ネ ユペツ オルン ラパン ヒネ,** 湧別川を下った。
 ne yupet or un rap=an²⁶ hine,
 その 湧別 の所 へ 下る(私達) して
- 5 **ポロ ペツ ネ ヒネ ペツ ペシ**²⁷ 大きな川で、川に沿って下へ
 poro pet ne hine pet pes
 大きな 川 である して 川 に沿って下へ
- 6 **イエホユブ ヒネ サパン ルウェ ネ アクス,** 私を抱えて走り下っていくと,
 i=ehoyupu²⁸ hine sap=an²⁹ ruwe ne akusu,
 (私を)持って走る して 下る(私達) こと である したところ
- [15]-1 **インネ コタン アン ヒネ, コタン ノシキ タ** 大きな村があって、^{むらおさ}村長の家に
 7:04 inne kotan an hine, kotan noski ta
 人口の多い 村 ある して 村 真ん中 に
- 2 **ナニ イカイ ネノ アニネ アフン ヒネ アクス,** 早速私をおぶったまま入っていくと,
 nani i=kay neno an hine ahun hine akusu,
 すぐ(私を)おぶう したままで して 入る して したところ
- 3 **オンネ クル ルパネマツ アン アクス,** おじいさんとおばあさんがいて,
 onne kur rupnemat an akusu,
 年老いた 男 老女 いる したところ
- 4 **ネ オンネ クル テムニコロ ウン イアレ ヒ クス** おじいさんは私をひざの上に抱いて,
 ne onne kur temnikor³⁰ un i=are hi kusu
 その 年老いた 男 腕の中 へ(私を)座らせる ので
- 5 **ネ オンネ クル,** そのおじいさんは,
 ne onne kur,
 その 年老いた 男
- 6 **「アボホ, ヒナク ワ エネ アン ピリカ ポイソン** 「息子よ、どこからこんな可愛い子を
 “a=poho, hinak wa ene an pirka poyson
 (私の)息子 どこ から こんな よい 子供
- 7 **ヒナク ワ コロ ワ エク ルウェ アン?** 連れてきたのだ?」
 hinak wa kor wa ek ruwe an? ”
 どこ から 持つ して 来る こと ですか?
- 8 **セコロ ハウェアン コロ エアラキンネ** と言いながら、たいそう
 sekor hawean kor earkinne
 と 言う しつつ とても
- 9 **ネ オンネ クル イエヤイコブンテク コロ,** 私のことを喜ばば,
 ne onne kur i=eyaykopuntek kor,
 その 年老いた 男 (私を)喜ぶ すれば
- [16]-1 **ラボッケ ナニ ネア ルパネマツ** 一方、おばあさんはすぐに
 7:33 rapokke nani nea rupnemat
 その間 すぐ 件の 老女

26 ; rap は ran の複数形。

27 ; pet turasi の反対方向が pet pes。「川に沿って下へ」。

28 ; 「抱えて走る」と対訳したが、どんな格好でも持って走れば ehoyupu。[13]-9 では etapkakomo 「肩の上に抱える」とあり、[15]-2 では「おぶったまま」とあるので、訳しづらいところである。

29 ; sap は san の複数形。

30 ; 「腕の中(片腕または両腕で包むようにまたはかかえるように丸くした中)」(田村辞典)。

- 2 **ウセイ カラ ワ**
usey kar³¹ wa
湯 作る して
湯を沸かして、
- 3 **ナニ アオトピ トウイエ ネ ヤ**
nani a=otopi tuye ne ya
すぐ (私の)髪 切る など
早速私の髪を切ったり、
- 4 **アナヌ カラ ネ ヤ**
a=nanu kar³² ne ya
(私の)顔 拭く など
顔を拭いたり、
- 5 **ピリカ アミフ サンケ ヒネ イミレ。**
pirka amip sanke hine i=mire.
よい 着物 出す して (私に)着せる
きれいな着物を出して着せてくれた。
- 6 **エアラキンネ アエイコプンテク カ タ**
earkinne a=eyaykopuntek ka ta
とても (私)喜ぶ 上 に
とても私は嬉しかったのに、そのうえ
- 7 **オラ ピリカ スケ キ ヒネ**
ora pirka suke ki hine
そして よい 料理 する して
おいしい料理を作って
- 8 **ナニ アイペレ, イベアン カ キ。**
nani a=i=ipere, ipe=an ka ki.
すぐ (人が・私に)食べさせる 食べる(私) も する
すぐ私に食べさせてくれた。
- [17]-1 7.50 **エネ アン ピリカ アエフ アエ カ**
ene an pirka aep a=e ka
このように ある よい 食べ物 (私)食べる も
こんなにおいしいものは
- 2 **エラミシカリ ノ アン アアン セコロ**
eramiskari no an aan sekoro
したことがない で いる だったなあ と
食べたことがなかったなあ
- 3 **ヤイヌアン コロ イベアン コロカ,**
yaynu=an kor ipe=an korka,
思う(私) しつつ 食べる(私) けれど
思いながら食べたけれど、
- 4 **アサハ アエランポキウエン ケウトウム**
a=saha a=erampokiwen kewtum
(私の)姉 (私)可哀想に思う 気持ち
姉をかわいそうに思う気持ちを
- 5 **アコロ ヒケ カ エネ アイェ ヒ カ イサム。**
a=kor hike ka ene a=ye hi ka isam.
(私)持つ して も そのように (私)言う こと も ない
持ってはいても、それを口にはできない。
- 6 **アサ アン セコロ アイェ ヒ カ**
a=sa an sekoro a=ye hi ka
(私の)姉 いる と (私)言う こと も
姉がいると口に出すのも
- 7 **イシトマアン ペ ネ クス**
isitoma=an pe ne kusu
怖い(私) もの である ので
怖いので、
- 8 **モシマノ アナン ルウェ ネ アニネ,**
mosmano an=an ruwe ne an hine,
黙って いる(私) こと である いる して
黙っていたのだった。

31 ; karはこの場合「沸す」という意味で使われている。中川辞典には「カラの根本的な意味は『なにかに作用する』ということであると考えられる」と。

32 ; この場合のkarも注31と同じ意味で「拭く」と訳すことができる。

- [18]-1 8:09 **エアッキンネ ネ オンネ クル ウタラ** おじいさんたちはとても
earkinne ne onne kur utar
とても その 年離れた 男 達
- 2 **イオマフ ワ, シリクンネ コロ** 私を可愛がって、夜になると
i=omap wa sirkunne kor
(私を)可愛がる して 暗くなる すると
- 3 **イトウマム イコエウナラバ,** 私を取り合って抱いて寝,
i=tumam i=koewnarapa,³³
(私を)抱いて寝る (人に)取られまいとする
- 4 **イペアン クス ネ コロ ピリカ アエフ** 私が食事をしようとするとおいしい物を
ipe=an kusu ne kor pirka aep
食べる(私) しようとしている と よい 食べ物
- 5 **アパロホ パスイ アニ ヌムケ ワ パ ワ** 箸でより分け,
a=paroho pasuy ani numke wa pa wa
(私の)口 箸 で 選ぶ して 見つける して
- 6 **イエレ イエコエウナラ, オラ** 競って私に食べさせるし,
i=ere i=ekoewnara, ora
(私に)食べさせる (人に)取られまいとする そして
- 7 **ネ イカイ ワ サパン ア オッカヨ ネ ヤッカ** 私をおぶってきたあの男の人も
ne i=kay wa sap=an a okkayo ne yakka
その(私を)おぶう して 下る(私達) した 男 であつても
- 8 **ネノ イオマフ オラ ネノ アナン,** 同じように可愛がってくれる。
nenno i=omap ora nenno an=an,
同じように(私を)可愛がる そして そのように 暮らす(私)
- [19]-1 8:35 **ラポッケ オラ エネ ヤイヌアン ヒ,** やがて私はこのように思った。
rapokke ora ene yaynu=an hi,
そのうち そして このように 思う(私) こと
- 2 **アウヌ アオナ セコロ ヤイヌアン,** 自分の(本当の)両親と思い,
a=unu a=ona sekoro yaynu=an,
(私の)母 (私の)父 と 思う(私)
- 3 **アユピ セコロ ヤイヌアン コロ** お兄さんと思って
a=yupi sekoro yaynu=an kor
(私の)兄 と 思う(私) しつつ
- 4 **アナン ペ ネ クス** 暮らしているのです,
an=an pe ne kusu³⁴
いる(私) もの なので
- 5 **アオナ アウヌ アユピ セコロ ハウエアナン** お父さん, お母さん, お兄さんと呼ぶ
a=ona a=unu a=yupi sekoro hawean=an
(私の)父 (私の)母 (私の)兄 と 言う(私)
- 6 **ペ ネ クス ポヘネ** ものだから, なおさら
pe ne kusu pohene
もの である ので なおさら
- 7 **イオマフ ロク イオマフ ロク コロ オカアン** 私を可愛がりに可愛がることだった。
i=omap rok i=omap rok kor oka=an,
(私を)可愛がる(何度も)(私を)可愛がる(何度も)しつつ 暮らす(私達)

33; 田村辞典には, ko-ewnara 「~に対して・与えるのをいやがる」とあるが, ewnara 自体はどの辞典にも未出。

34; 自分を可愛がってくれる人を本当の父, 母, 兄のように

思ったという意味。

- 8 **ラボク オラ ポロアニ オラ**
rapok ora poro=an hi ora
そのうち それから 大きくなる(私)時 それから
やがて、私は大きくなって、
- 9 **アユピ アトゥラ ワ エキムネアン コロ、**
a=yupi a=tura wa ekimne=an kor,
(私の)兄 (私)同伴する して 山に行く(私) すると
お兄さんについて山獺に行くと、
- 10 **アユピヒ ユク カ カムイ カ コロ、シケ コロ**
a=yupihi yuk ka kamuy ka kor, sike kor
(私の)兄 鹿 も 熊 も 持つ 荷を背負う しつつ
お兄さんは鹿や熊を獲ってそれを背負い、
- 11 **アカスイ ワ シケアン カ キ コロ**
a=kasuy wa sike=an ka ki kor³⁵
(私)手伝う して 荷を背負う(私) も する しつつ
私も運ぶのを手伝いながら
- 12 **イワカン コロ、**
iwak=an kor,
帰る(私) すると
帰ってくると、
- 13 **ポヘネ イエヘンコツパバ コロ オカアン。**
pohene i=ehenkotpapa kor oka=an
なおさら (私を)可愛がる しつつ 暮らす(私達)
いっそう私を可愛がってくれた。
- [20]-1 **ラボッケ スイ オンネ クル エネ ハウェアニ。**
9:06 rapokke suy onne kur ene hawean hi.
そのうち また 年老いた 男 次のように言った
- 2 **「タネ アコロ ソン アコロ ソン アコロ ソン**
“ tane a=kor son a=kor son a=kor son³⁶
今 (私)の 息子 (私)の 息子 (私)の 息子
「今は愛し子愛し子と
- 3 **セコロ イレコ コロ オカアン ペ ネ。**
sekor i=reko kor oka=an pe ne,
と (私を)呼ぶ しつつ いる(私達) もの である
呼んで暮らしているが、
- 4 **アコロ ソン タネ パクノ ポロ ワ ネ ヤクン**
a=kor son tane pakno poro wa ne yakun
(私)の 息子 今 まで 大きくなる して である ならば
息子もこんなに大きくなったので
- 5 **アコウエペケンヌ ヤ？」**
a=kouepekennu ya? ”
(私)事情を尋ねる か
わけを聞いてみようか？」
- 6 **セコロ ネ ヒネ イコウエペケンヌパ ヒ クス**
sekor ne hine i=kouepekennupa³⁷ hi kusu
と言う して (私に)事情を尋ねる ので
と言って私に事情を聞くので、
- [21]-1 **「タツネ カネ アサ トウラノ**
9:26 “ tapne kane³⁸ a=sa turano
このように (私の)姉 と一緒に
「かくかくしかじかで姉と一緒に
- 2 **オカアン ペ ネ ア フ、**
oka=an pe ne a p,
暮らす(私達) もの だったが

35 ; この少年は、ものごころつく前にトバットウミに遭い、姉と二人きりになってしまったので、兄の手伝いをする
ことで初めて男性の仕事を経験し、身につけていったわけ
がある。

36 ; ここで言う「息子」とは、もちろん老人の実の息子のこ
とではなく、主人公の男の子のこと。互いに「おとうさ
ん」「私の息子」と呼び合っていたわけである。

37 ; -paは複数を示している。何度も尋ねられてやっと答え

ることができたということなのであろう。

38 ; ウエベケレ1でもそうであったように、以下は自分の生
い立ちから今までの経緯を繰り返して説明するくだりであ
る。

- 3 **アサ イカイ ワ エキムネ ヒネ オラ**
a=sa i=kay wa ekimne hine ora
(私の)姉 (私を)おぶう して 山に行く して そして
姉は私を背負って山に行き、
- 4 **コタン オッ タ サナン アクス、**
kotan or ta san=an akusu,
村 の所 に 下る(私) したところ
村に下りてみると、
- 5 **ウェン キマカウ アン ヒネ オラ**
wen kimak haw an hine ora
悪い 叫び 声 ある して そして
悲鳴がしたので
- 6 **スイ ヘトボ ホロカ キラアン ヒネ オラ**
suy hetopo horka kira=an hine ora
また 反対に 逆さに 逃げる(私) して そして
再び逃げ戻って、
- 7 **スイ サパン ルウェ ネ アクス、**
suy sap=an ruwe ne akusu,
また 下る(私達) こと である したところ
また村に下りてみると、
- 8 **アコタヌ スプヤ サク クス**
a=kotanu supuya sak kusu
(私の)村 煙 ない ので
村の家々の煙が消えているので、
- 9 **ケウピシテアン アクス、**
kew-piste=an akusu,
骸を数える(私) したところ
骸を数えてみると、
- 10 **オピッタ アウタリ アナクネ ライ ワ オカ。**
opitta a=utari anakne ray wa oka.
皆 (私の)仲間 は 死ぬ すでに~している
皆村の人達はすでに死んでいた。
- 11 **オナ ウタヲ カ ナ ネノ オカ**
ona utar ka na neno oka
父 達 も まだ 同じように いる
父達も同じ
- 12 **ルウェ ネ コロカ、オラ**
ruwe ne korka, ora
こと である けれど そして
であったけれど、
- [22]-1 **コタン オッ タ アナン カ イシトマアン クス** 村にいるのも恐いので
9:56 kotan or ta an=an ka isitoma=an kusu
村 の所 に いる(私) も 恐い(私) ので
- 2 **コタン カットウイマノ オカアン**
kotan kattuymano oka=an
村 から離れて 暮らす(私達)
村はずれに私達は住んでいた
- 3 **ルウェ ネ ア プ、**
ruwe ne a p,
こと だったが
のだが、
- 4 **『スイ ネプ カ オカ クナク ラムパ ワ**
'suy nep ka oka kunak ramupa wa
また 何 か いる と 思う して
『まだ誰がいるかと思って
- 5 **シサノンカラバ クス アラキバ**
sisanonkarpa kusu arakiba³⁹
様子を見に行く ために 来る
(夜盗の一味が)様子を見に来て

39 ; rampa, sisanonkarpa, arkipa, osmapaと、人称接辞がつかず
に-paがついた動詞が並んでいる。いずれも三人称複数
「彼ら」の行ったことであることを表しているが、arkiは

もともと複数形(単数形はek)なので、よりはっきり複
数であることを強調している。

- 6 トマム サラ オロ オシマパ ヒ ネ ナンコロ』 葦原に隠れているのだろう』
tomam sar or osmapa hi ne nankor'
湿地 葦原 の所 入る こと である だろう
- 7 セコロ アサ ハウェアン コロ チシ コロ と姉は言って、泣きながら
sekor a=sa hawean kor cis kor
と (私の)姉 言う しつつ 泣く しつつ
- 8 イヌイナ シロウリ ヒネ オロ タ 私を隠すために穴を掘り、そこに
i=nuyna sirowri hine oro ta
(私を)隠す 穴を掘る して その場所で
- 9 イオマレ ワ イヌイナ ヒネ ラポッケ 私は隠れていた。そうしているうちに、
i=omare wa i=nuyna hine rapokke
(私を)入れる して (私を)隠す して いるうちに
- [23]-1 アサ, シルクンネ アクス, オッカヨ ウタラ, 暗くなると、姉は男達、
10:21 a=sa, sirkunne akusu, okkayo utar,
(私の)姉 暗くなる したところ 男 達
- 2 レ オッカヨ アーキパ エホトゥリトゥリパ ヒネ 三人の男が来てひきずって
re okkayo arkipa ehoturituripa hine
三人の 男 来る 引きずる して
- 3 トウラ ワ パイエパ ワ イサム オカ タ 連れて行ってしまったあとに
tura wa payepa wa isam oka ta
運れる して 行く して しまう あと に
- 4 アナン ルウェ ネ アクス, 私が残されたのだった。
an=an ruwe ne akusu,
いる(私) こと である したところ
- 5 クネイワ, ペツ サム タ アナン アクス, 翌朝、私が川のほとりにいたところに
kuneywa, pet sam ta an=an akusu,
朝 川 のそば に いる(私) したところ
- 6 アユピ サン ワ イパ ワ お兄さんが川上から来て私を見つけ、
a=yupi san wa i=pa wa
(私の)兄 下る して (私を)見つける して
- 7 エカン ペ アネ ルウェ ネ コロカ, ここに来ただけけれど、
ek=an pe a=ne ruwe ne korka,
来る(私) もの (私)である こと である けれど
- 8 アサ アン セコロ ハウェアナン カ 姉がいると口にするのも
a=sa an sekor hawean=an ka
(私の)姉 いる と 言う(私) も
- 9 イシトマアン ワ アサ オルシペ 恐いので、姉のことを
isitoma=an wa a=sa oruspe
恐い(私) して (私の)姉 のこと
- 10 アイェ カ ソモ キ ノ アナン ルウェ ネ」 言わないでいたのですよ」
a=ye ka somo ki no an=an ruwe ne"
(私)言う も しらない する して いる(私) こと である
- 11 セコロ ハウェアン ルウェ ネ。 と言ったのである。
sekor hawean ruwe ne.
と 言う こと である
- [24]-1 エアキネ ネ オンネ クル ウタラ たいそうその老人たち
10:49 earkinne ne onne kur utar
とても その 年離れた 人 達

- 2 **ネ ヤッカ イオクヌレ。** も驚いた。
 ne yakka iokunnure.
 であっても 驚く
- 3 「**イシカラ エトコ ウン トパットゥミ アラキ ワ**」 「石狩の源に夜襲が来て、
 “ iskar etoko⁴⁰ un topattumi arki wa
 石狩 源 に 夜襲 来る して
- 4 **コタン アアルシテッカ ヤク アイェ ヒ** 村が滅ぼされたということ
 kotan a=arustekka yak a=ye hi
 村 (人が)滅ぼす と (人が)言う こと
- 5 **アナクネ アヌ コロ アナン アクス、** は聞いていたが、
 anakne a=nu kor an=an akusu,⁴¹
 は (私)聞く しつつ いる(私) したところ
- 6 **ヤクン イシカラ エトクン ニシパ サンテケヘ** ならば石狩の源の旦那さんの子孫
 yakun iskar etok un nispa santekehe
 ならば 石狩 源 の 旦那 子孫
- 7 **ネ ルウェ ネ」** なのだな」
 ne ruwe ne”
 である こと である
- 8 **ネ オンネ クル ハウエアン コロ** そのおじいさんは言って、
 ne onne kur hawean kor
 その 年老いた 人 言う しつつ
- 9 **イクムヌ ハウコカリ コロ オカアン ラポッケ** 「可哀想に」と何度も繰り返した。やがて
 i=kemnu hawkokari kor oka=an rapokke
 (私に)同情する 何度も言う しつつ いる(私達) そのうち
- 10 **オラ スイ エネ オンネ クル ハウエアニ。** おじいさんはこうも言った。
 ora suy ene onne kur hawean hi.
 そして また 次のように 年老いた 男 言った
- [25]-1 「**タネ パクノ アコロ ソン ポロ ワ ネ ヤクン**」 「息子も今では大きくなったのだから
 11:18 “ tane pakno a=kor son poro wa ne yakun
 今 まで (私)の 息子 大きくなる して である ならば
- 2 **トゥナシノ ネ イシカラ プトゥン サッ ワ** 急いでその石狩の河口に下り、
 tunasno ne iskar put un sap wa⁴²
 早く その 石狩 河口 へ 下る して
- 3 **トパットゥミ ヤイエイモンタサバ クス** 夜襲の敵討ちをしに
 topattumi yayeimontasapa kusu
 夜襲 敵討ちする するために
- 4 **エチサッ ヤク ピリカ。** 行ったらいい。
 eci=sap yak pirka.
 (お前達)下る したら いい
- 5 **ネイ タ カ ネ イサネ メノコ** どこかでその姉である女が
 ney ta ka ne isane menoko
 どこかで その 姉である 女
- 6 **シクヌ ワ アン クニ ペコロ ヤイヌアン クス、** 生きているような気がするので、
 siknu wa an kuni pekor yaynu=an kusu,
 生きる して いる と かのよう(私) 思う(私) ので

40；夜襲にあった村は石狩川上流の村であることがわかる。

41；少年の村を襲った夜襲の噂は、遠く湧別まで及んでいたものであった。

42；ここに至って、襲った村と襲われた村が同じ石狩川の下流と上流に位置していたことがわかる。

- 7 **トゥナシノ (エチ) ネ イサネ メノコ** 急いでその姉である女を
 tunasno (eci=) ne isane menoko
 早く その 姉である 女
- 8 **エチフナラバ トゥライラム** 探して,
 eci=hunarapa turayramu⁴³
 (お前達)探す すると同時に
- 9 **ネ コタン ウェンテバ クス** その村を攻めに
 ne kotan wentepa kusu
 その 村 荒す ために
- 10 **サッパ ヤク ピリカ ナ」** 行ったらしい」
 sappa yak pirka na[”]
 下る したら いい よ
- [26]-1 **セコロ ネ ユベトゥン アオナハ ハウエアン** とその湧別の父が言う
 11:48 sekor ne yupet un a=onaha hawean
 と その 湧別 の (私の)父 言う
- 2 **ペ ネ クス, オラ アユピ ウタラ,** ので, 兄達
 pe ne kusu, ora a=yupi utar,
 もの なので そして (私の)兄 達
- 3 **コタン コロ ウタラ, トゥマシヌ ウタラ** 村人達, 力自慢の人達を
 kotan kor utar, tumasnu utar
 村 の 人達 丈夫である 人達
- 4 **シレンバ ヒネ インネ ウタラ ネ ヒネ** 引き連れて, 大勢で
 sirenpa hine inne utar ne hine
 連れる して 大勢の 人達 になる して
- 5 **(サパン) パイエアン ヒネ,** 歩を進め,
 (sap=an) paye=an hine,
 行く(私達) して
- 6 **ネ イシカッ タ パイエアン ルウェ ネ コロカ,** その石狩に行った。けれど
 ne iskar ta paye=an ruwe ne korka,
 その 石狩 に 行く(私達) こと である けれど
- 7 **アユプタリ アナクネ キム タ ヌイナク ワ オカ** 兄達は山に隠れていて,
 a=yuputari anakne kim ta nuynak wa oka
 (私の)兄達 は 山 に 隠れる して いる
- 8 **ラボッケ ヤイアッカシテアン コロ** 私をひとりで行かせて
 rapokke yayapkaste=an kor
 そのあいだ 一人で行かせる(私) すると
- 9 **プイネ アッカサン ルウェ ネ アクス,** ひとりで歩いていくと,
 pyune apkas=an ruwe ne akusu,
 一人で 歩く(私) こと である したところ
- [27]-1 **シネ チセ アン ヒ クス, ネ チセ** 一軒の家があって, その家
 12:12 sine cise an hi kusu, ne cise
 ひとつ 家 ある ので その 家
- 2 **オルン アフナン ルウェ ネ アクス,** に入ると,
 or un ahun=an ruwe ne akusu,
 の所 に 入る(私) こと である したところ

43; トシさんによると, turayramuは「一緒に」という意味になるそうである。

- 3 アペハラキソ ワ カ シネン ホツケ ワ アン, 客座にひとり寝ている,
ape-harkiso wa ka sinen hotke wa an,
左座 から も 一人 寝る して いる
- 4 アペエトク タ カ シネ オッカヨ 横座にもひとりの男が
apeetok ta ka sine okkayo
横座 に も 一人の 男
- 5 ホツケ ヒネ オカ ルウェ ネ ヒネ, 寝ていて,
hotke hine oka ruwe ne hine⁴⁴,
寝る して いる こと である して
- 6 オロ タ アフナン ルウェ ネ アクス, そこへ入っていったところ,
oro ta ahun=an ruwe ne akusu,
その中に 入る(私) こと である したところ
- 7 トゥサプイカリ ヘ アフナン ヒ 身八つ口から(見て)私が入るのが
tusapuykari⁴⁵ he ahun=an hi
身八つ口から が 入る(私) こと
- 8 エラムアン ワ ヘ イヌカラ ルウェ ネ わかったのか、私を見る者がある。
eramuan wa he i=nukar ruwe ne
わかる して か (私を)見る こと である
- 9 アクス, アサ ネ ヒネ, それは私の姉であった。
akusu, a=sa ne hine,
したところ(私の)姉 である して
- [28]-1 「アアキ ソモ ネ」セコロ ネ。 「弟じゃないのか」と姉は言い,
12:38 “a=aki somo ne” sekoro ne.
(私の)弟 でないか と言った
- 2 「アサ」セコロ ハウエアナン コロ 「姉さん」と私は言って,
“a=sa” sekoro hawean=an koro
(私の)姉 と 言う(私) しつつ
- 3 イルイルイバ コロ パラバラク ア コロカ, 姉は私を撫でては泣いたけれど,
i=ruyruypa⁴⁶ koro paraparaka a korka,
(私を)なでる しつつ 泣く した けれど
- 4 パラバラク ハウ カ (気づかれてはいけないので)泣き声を
paraparaka haw ka
泣く 声 も
- 5 アキ カ エアイカツ ペ ネ クス たてることもできないので,
a=ki ka eaykap pe ne kusu
(私)する も できない ものである ので
- 6 「タプネ カネ ワ ヤイエイモンタサアン クス 「かくかくしかじかで仕返しに
“tapne kane wa yayeymontasa=an kusu
このように して 仕返しする(私) ために
- 7 アラキアン ワ 来て,
arki=an wa
来る(私達) して

44; 姉をさらって行った男たちは三人組だったはずだが、ここでは二人しか登場しない。残る「ひとりの男」の方は別の役回りが最後に待っているのです、こういう愁嘆場には登場させないということが。

45; 「トゥサプイカリ」と発音しているが、後日トシさんに同じ箇所を語ってもらったところ、「トゥサプイカリ」と発音した。tusapuykari「身八つ口から」は、着物を頭からかぶってふさぎ込んでいて、その身八つ口(着物の

袖付けの下)から見た、ということ。

46; 注22参照。ここはおそらく、文字通りの「女性のあいさつの仕方」だろう。ウルイルイェとも言う。

- 8 **アウタリ ヌイナク ワ オカ ヒ ネ**」
a=utari nuynak wa oka hi ne”
(私の)仲間 隠れる して いる こと だよ
私の仲間が隠れているんだ」
- 9 **ヒ アイェ ッ ネ クス,**
hi a=ye p ne kusu,
こと (私)言う もの なので
と言うと
- [29]-1 **オラ アサハ カ エヤイコブンテク コロ**
13.04 ora a=saha ka eyaykopuntek kor
そして (私の)姉 も 喜ぶ しつつ
姉も喜んだ
- 2 **ネ コロカ, オラ ホプニ ヒネ**
ne korka, ora hopuni hine
である けれど そして 立つ して
けれど、それから立ちあがって
- 3 **シピネ カ キ ヒネ オカアン,**
sipine ka ki hine oka=an,
身支度 も する して いる(私達)
身支度をしたりしていた。
- 4 **ラボッケ タネ シリクンネ ヒ オラ**
rapokke tane sirikunne hi ora
そのうち 今 暗くなる 時 そして
やがて暗くなってから
- 5 **アユウタリ アラキバ ヒネ**
a=yuputari arkipa hine
(私の)兄達 来る して
兄達がやってくる、
- 6 **ネ コタン オルン サパン ヒネ オラノ**
ne kotan or un sap=an hine orano
その 村 の所 に 下る(私達) して そして
その村に下りてきて、それから
- 7 **アユウタリ イノンノイタク コロ オカ ラボッケ**
a=yuputari inonnoytak kor oka rapokke
(私の)兄達 祈る しつつ いる そのうち
兄達が祈りを捧げているあいだに
- [30]-1 **コタンバ ワ コタンケシ ワ**
13.26 kotanpa wa kotankes wa
村の上端 から 村の下端 から
村の上端、下端から
- 2 **ケム タク トウルセ シリ イキ アナクネ**
kem tak turse⁴⁷ siri iki anakne
血 塊 落ちる 様子 する は
血の塊が(飛び上がって)落ちた様子で、
- 3 **「タネ ピリカ ルウェ ネ」**
“ tane pirka ruwe ne”
今 よい とき である
「もういいぞ」
- 4 **ヤク イェバ コロ**
yak yepa kor
と 言う しつつ
と言いあって
- 5 **コタン オルン サッパ ルウェ ネ アクス,**
kotan or un sappa ruwe ne akusu,
村 の所 に 下る こと である したところ
村に下りていくと、
- 6 **「ウコエトロトルパ コロ オカ ルウェ ネ」**
“ ukoetoroturpa kor oka ruwe ne”
皆でいびきをかく しつつ いる こと である
「皆いびきをかいているぞ」

47 ; kotanpa wa ~ kemtak turse 「topattumi が相手部落を襲う前に村人全員をぐっすり寝込ませるために行う巫術」(1983, 『人々の物語』p.160, アイヌ無形文化伝承保存会)

この場面で、主人公の少年や湧別の村人たちは、ただの仕返しに来たのではなく、トパットゥミとして石狩に来たことがわかる。

- 7 ヤク イェバ コロ オラノ
yak yepa kor orano
と 言う しつつ そして
と言いあって、
- 8 セウリ トウイェバ コロ
sewri tuyepa kor
喉 切る しつつ
喉を切って、
- 9 シネ チセ シネ チセ タ
sine cise sine cise ta
一つ 家 一つ 家 に
一軒一軒
- 10 セウリ トウイェバ コロ ヤク 「オピッタ、
sewri tuyepa kor yak “ opitta,
喉 切る しつつ すると 皆
喉を切って、そうして「だれもかれも皆、
- 11 オカ ウタラ オピッタ アライケ ルウェ ネ」
oka utar opitta a=rayke ruwe ne”
いる 人達 皆 (私)殺す こと である
いる者残らず殺したぞ」
- 12 ヤク イェバ コロ アラキバ ルウェ ネ ヒネ、
yak yepa kor arkiba ruwe ne hine,
と 言う しつつ 来る こと である して
と言いながら来て、そして
- [31]-1 アサ ウニヒ ネ アン ウッケ タ
13:58 a=sa unihi ne an uske ta
(私の)姉 家 として ある 所 に
姉の家であるところに
- 2 アラキアンバ ネ ヒネ、オラノ
arki=an-pa⁴⁸ ne hine, orano
来る(私達) である して そして
到着した。
- 3 アサ チシ コロ イコブンテク ネ ヤ
a=sa cis kor i=kopuntek ne ya
(私の)姉 泣く しつつ (私を)喜ぶ など
姉は泣いて喜んだり、
- 4 イケウェ ホムス ネ ヤ
i=kewe homsu⁴⁹ ne ya
(私に)無事を祝う など
無事を祝ったり、
- 5 ユペトゥン クル エウン アサ ヤイライケ ヒ
yupet un kur eun a=sa yairayke hi
湧別 の 人 に (私の)姉 感謝する こと
湧別の人達に姉はお礼の言葉
- 6 イェ ア イェ ア コロ オロ タ オカアニネ、
ye a ye a kor oro ta oka=an hine,
言う(何度も)言う(何度も)しつつ その場所で いる(私達)して
何度も何度も言いながら過ごした。
- [32]-1 イシムネ オラ
14:17 isimne ora
翌日 そして
翌日、
- 2 コタン オツ タ アサ カ トウラノ サパン クス
kotan or ta a=sa ka turano sap=an kusu
村 の 所 に (私の)姉 も 一緒に 下る(私達) ので
村に姉も一緒に下りていき、

48 ; arkiは複数形の自動詞で、これに更に複数を表す-pa「何人もで/何回も」がついているのだが、-paが-anの前に来る動詞と、-paの後に来る動詞がある。arkiの場合は後者。

49 ; 田村辞典には「～に危なかったことの見舞いを言う」とあるが、中川辞典には「(神)に向かって、恐ろしい目にあった人の無事を祝い、魔を払うための儀式を行う」とある。「無事を祝う」というより、もっと強い意味が含まれているのかもしれない。

- 3 **アサ アナクネ アオナハ コロ ワ オカイ ペ** 姉は父の持ち物を
 a=sa anakne a=onaha kor wa okay pe
 (私の)姉 は (私の)父 持つ して いる もの
- 4 **キリ ペ ネ クス,** 見覚えていたので,
 kir pe ne kusu,
 見覚えがある もの なので
- 5 **アオナハ コロ ワ オカイ ペ** 父の持ちものを
 a=onaha kor wa okay pe
 (私の)父 持つ して いる もの
- 6 **オピッタ アウオマレ ヒネ オラノ** 全部集めて
 opitta a=uomare hine orano⁵⁰
 皆 (私)集める して そして
- 7 **アウタリ トウラノ アセ ヒネ アラキアン ヒネ** 仲間達と背負って来て,
 a=utari turano a=se hine arki=an hine
 (私の)仲間 一緒に (私)背負う して 来る(私達) して
- 8 **ネア アウエンテ ア コタン オツ タ** かつて滅ぼされた村に
 nea a=wente a kotan or ta
 その (人)荒らす した 村 の所 に
- 9 **アラキアン ヒネ, コタン オツ タ** 来て, 村で
 arki=an hine, kotan or ta
 来る(私達) して 村 の所 に
- 10 **アペアリ ヒネ スケアン ワ** 火を焚いて料理し,
 apearri hine suke=an⁵¹ wa
 火を焚く して 料理する(私) して
- 11 **アエツ ネ ヤッカ ピリカ ヒ** 食べ物もよいものを
 aep ne yakka pirka hi
 食べ物 であっても よい もの
- 12 **ポロンノ アセ ヲ ネ クス, オロ タ,** たくさん背負っているのです, そこで
 poronno a=se p ne kusu, oro ta,
 たくさん (私)背負う もの なので その場所で
- [33] -1 「カムイ トッカーリ エオツ ワ アウタリ」 「(成仏できずに)神の手前に同族達が
 14:47 “ kamuy tukari eot wa a=utari
 神 の手前 に赴く して (私の)同族
- 2 **オピッタ オカ ルウェ ネ ナンコン ナ。** みんないることでしょう。
 opitta oka ruwe ne nankor na,
 皆 いる こと である でしょう ね
- 3 **テワノ ボカ** これからでも
 tewano poka
 これから でも
- 4 **カムイ エウタンネバ ヤク ピリカ ナ」** 神の仲間になってください」
 kamuy eutannepa⁵² yak pirka na”
 神 仲間になる したら いい よ
- 5 **セコロ アユプタリ ハウエオカバ コロ** と兄達が言って,
 sekor a=yuputari haweokapa kor
 と (私の)兄達 言う しつつ

50 ; 以前しかけられた夜襲のときに奪われたものを取り返す
 くだりである。

51 ; 儀式の準備をする様子。

52 ; e-utar-ne-pa 「(場所)で・仲間・になる・(複数)」

- [35]-1 「ネン ポカ イキ ワ アアキヒ シクヌ ワ ネ 「どうにかして、弟が生きていてさえ
15:39 “ nen poka iki wa a=akihi siknu wa ne
なんとか する して (私の)弟 生きる して である
- 2 ヤク アオナハ サンテケヘ シトゥリ クス ネ くれれば、父の血筋を続けられます。
yak a=onaha santekehe situri kusu ne
したら (私の)父 子孫 伸ばす でしょう
- 3 アウタリ オピッタ アアルシテッカ ワ 村人が皆滅ぼされて、
a=utari opitta a=arustekka wa
(私の)仲間 皆 (人が)滅ぼす して
- 4 アアキヒ アヌペコレス ヲネ ア ヲ, 弟を泣きながら育てていたけれど、
a=akihi a=nupekoresu p ne a p,
(私の)弟 (私)涙を流しながら育てる もの だったが
- 5 エネ ニシバ アン クスケライボ エネ アン 旦那さんがいたおかげで、こんな
ene nispa an kuskeraypo ene an
このように 旦那 いる おかげで こんな
- 6 ピリカ スクッ オンネ エトク タ アキ」 立派な姿を死ぬ前に見られたのです」
pirka sukup onne etok ta a=ki”
よい 成長 年老いて死ぬ の前 に (私)する
- 7 セコロ ハウエアン コロ と言って
sekor hawean kor
と 言う しつつ
- 8 エヤイコブンテック コロ オカアン ラボッケ オラ 喜んでいると、やがて
eyaykopuntek kor oka=an rapokke ora
喜ぶ しつつ いる(私) そのうち そして
- 9 (ネ オンネ クル エネ ハウエアニ。エネ...) (湧別の父はこう言った)
(ne onne kur ene hawean hi. ene...)
その 年老いた 男 次のように言った
- 10 ネア イシカツ タ トウラノ アン ア オッカヨ, 例の石狩で(姉と)一緒に暮らしていた男,
nea iskar ta turano an a okkayo,
件の 石狩 に 一緒に いる した 男
- 11 シネ オッカヨ, トウラ ワ サナン オッカヨ ひとりの男, 姉を連れて下った男が
sine okkayo, tura wa san=an okkayo⁵⁴
一人 男 連れる して 下る(私) 男
- 12 エネ ハウエアニ。 こう言った。
ene hawean hi.
次のように言った
- [36]-1 「アシパロスケ クナク アラム コロ 「飯炊きをさせようと思って
16:18 “ a=siparosuke kunak a=ramu kor
(私)養う と (私)思う しつつ
- 2 アトゥラ ア コロカ, 連れてきたけれど、
a=tura a korka,
(私)を連れる した けれど
- 3 エネ チシ コロ パテック アン ペ ネ クス, このように泣いてばかりいるので
ene cis kor patek an pe ne kusu,
このように 泣く しつつ ばかり いる もの なので

54 ; この一緒に来た男性は、姉を飯炊きにするといって連れていった張本人らしいが、その後姉に同情して、無理強いをせず姉を大切にしてくれていたらしい。

- 4 **アシパロスケレ ワ マツ ネ アコロ** 私が養って妻にしよう
 a=siparosukere⁵⁵ wa mat ne a=kor
 (私)養う して 妻 として (私)持つ
- 5 **セコロ カ アイェ カ アケムヌ ワ ネクス,** というのも気の毒なので,
 sekor ka a=ye ka a=kemnu wa nekusu,
 と も (私)言う も (私)同情する して なので
- 6 **マツ ネ アコロ カ ソモ キ ノ** 妻にもしないで,
 mat ne a=kor ka somo ki no
 妻 として (私)持つ も しない する して
- 7 **エネ チシ コロ ヘムイムイェ アン ペ ネ クス,** このように泣き伏しているの
 ene cis kor hemuymuye an pe ne kusu,
 このように 泣く しつつ 伏せる いる もの なので
- 8 **ネン ボカ イキ ワ シクヌアン ラボッケ** なんとかして私が生きている間に,
 nen poka iki wa siknu=an rapokke
 何とか する して 生きる(私) そのうち
- 9 **アキヒ アン ペ ネ ヤク イェ クス** 弟がいると言うので
 akihi an pe ne yak ye kusu
 弟 いる もの である と 言う ので
- 10 **フナラ クナク アラム コロ アナナ プ,** その弟を探そうと思っていたが,
 hunara kunak a=ramu kor an=an a p,
 探す と (私)思う しつつ いる(私)だったが
- 11 **ネ メノコ フナラ ワ** (弟が)その女を探して,
 ne menoko hunara wa
 その 女 探す して
- 12 **アアキヒ トゥラノ オカ エアシカイ アニ アン,** 弟と一緒に暮らせるのだな」
 a=akihi turano oka easkay an hi an ”
 (私の)弟 一緒に いる できる ある こと ある
- 13 **セコロ ハウエアン コロ エヤイコブンテク ヒ,** と言って喜んで,
 sekor hawean kor eyaykopuntek hi,
 と 言う しつつ 喜ぶ こと
- [37]-1 **ナニ コンド ネ メノコ,** すぐにその女と,
 16:57 nani konto ne menoko,
 すぐ こんど その 女
- 2 **アサ トゥラノ オンネ クル カ,** 姉と一緒に年をとった男,
 a=sa turano onne kur ka,
 (私の)姉 一緒に 年をとる 男 も
- 3 **ネ オッカヨ カ アエランボキウエン クス,** その男も哀れなので,(二人のために)
 ne okayo ka a=erampokiwen kusu,
 その 男 も (私)かわいそうに思う ので
- 4 **オラ ナニ チセカラン ヒネ** すぐに家を作って,
 ora nani cise-kar=an hine
 そして すぐに 家を作る(私) して
- 5 **シンナ チセカラン ヒネ** 別に家を作って,
 sinna cise-kar=an hine
 別な 家を作る(私) して

55 ; siparosuke 「食わせてもらう」と言って連れていったのに, siparosukere 「食わせる」はめになった。語形の上からも, 立場が逆転している。また, 女の弟を探してやる

うと思っていたのに, 弟に先に探し出されたりと, この男は物語中でのちょっとした道化役なのかもしれない。

- 6 **オロ タ アサ エウン アヌヌケ。**
oro ta a=sa eun a=nunuke.
そこ で (私の)姉 に (私)大切に
そこで姉に孝行した。
- 7 **ネ シリキラッ, イレス ボカ エヤイコラムペテツネ**
ne sirkirap, i=resu poka eyaykoram-petetne⁵⁶
その 苦労 (私を)育てるのに苦労する
その(姉の)苦労, 私を育てるのにも
- 8 **ペコロ ヤイヌアン ペ ネ クス,**
pekor yaynu=an pe ne kusu,
ように 思う(私) もの なので
苦労しただろうと思ったので
- 9 **アピリカヌヌケ コロ オカアン。**
a=pirkanunuke kor oka=an.
(私)よく面倒をみる しつつ 暮らす(私達)
よく面倒をみて暮らした。
- [38] -1 **ラボッケ, ネ イレス (アコロ...)**
17.22 rapokke, ne i=resu (a=kor)
そのうち その (私を)育てる
やがて私を育ててくれた
- 2 **アオナ カ アウヌ カ イサム オカ タ**
a=ona ka a=unu ka isam oka ta
(私の)父 も (私の)母 も いなくなる 後 に
父も母も(年老いて)死んだ後に
- 3 **アユビヒ カ オラ エアシリ**
a=yupihi ka ora easir
(私の)兄 も そして 初めて
兄も初めて
- 4 **マツ コロ(ワ)カ キ ワ, アユビヒ カ**
mat kor (wa) ka ki wa, a=yupihi ka
妻 持つ して も する して (私の)兄 も
奥さんをもらって, 兄が
- 5 **ボカ ポ コロ シリ カ アヌカラ オラ,**
poka po kor siri ka a=nukar ora,
やっ と 子供 持つ 様子 も (私)見る そして
やっ と子供を持った様子も見て,
- 6 **アサハ カ オンネ シリ カ アヌカラ コロ**
a=saha ka onne siri ka a=nukar kor
(私の)姉 も 老死する 様子 も (私)見る しつつ
姉が年老いて死んだ様子も見て,
- 7 **ヤイカタ カ タネ**
yaykata ka tane
自分 も 今
自分も今や
- 8 **アボホ ウタラ カ ルフネ ワ**
a=poho utar ka rupne wa
(私の)子供 達 も 大人になる して
子供達も大人になって
- 9 **オンネアン ルウェ ネ コロカ,**
onne=an ruwe ne korka,
老死する(私) こと である けれど
私は年老いて死んでいくのだけれど,
- [39] -1 **アッパケ ワノ**
17.51 atpake wano
最初 から
はじめから
- 2 **ユペトゥン クル アネ ルウェ カ ソモ ネ,**
yupet un kur a=ne ruwe ka somo ne,
湧別 の 人 (私)である こと も ない である
私は湧別の人間だったのではない。

56 ; resu poka eyaykoram-petetne 「~を育てるのに苦労する」
(慣用句)

- 3 **イシカラ ワ エカン ペ アネ ルウェ ネ クス** 石狩から来たものなので、
 iskar wa ek=an pe a=ne ruwe ne kusu
 石狩 から 来る(私) もの (私)である こと である ので
- 4 **アポウタリ, シトゥムカネレ ソモ キ ノ** 子供たちよ、でしゃばることなく、
 a=poutari, situmukanere⁵⁷ somo ki no
 (私の)子供達 でしゃばる しない する して
- 5 **ユベトゥン クン ネ イヨロツ ヤク ピリカ ナ,** 湧別の人と暮らすのだよ、
 yupet un kur ne iyorot yak pirka na,
 湧別 の 人 として 人と交わる したら いい よ
- 6 **セコロ シネ オッカイボ イソイタク セコン ネ。** とひとりの男が物語った、ということだ。
 sekor sine okaypo isoytak sekor ne.
 と 一人 男 物語る ということだ

57 ; si-tum-ka-ne-re 「自分を・たかさんのものの中・の上・
 になる・させる」 でしゃばる。

語彙索引

【ア】

- アa か 42
 アa した..... 14, 15, 16, 18, 19, 23, 25, 32, 37, 38, 40,
 42, 43, 51, 54, 62, 63, 64, 68, 71, 73, 73, 74
 アa 座る25, 51
 アa= 私が, 私達が..... 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 22,
 23, 25, 26, 27, 28, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36,
 37, 38, 39, 38, 40, 41, 42, 43, 44, 46, 47, 48,
 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 61, 63, 65, 66,
 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76
 アa= 私の..... 14, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 32,
 34, 35, 37, 39, 40, 41, 42, 44, 45, 46, 47, 48,
 51, 52, 53, 55, 56, 57, 58, 60, 61, 62, 63, 64,
 65, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76
 アa= 人が28, 29, 36, 57, 61, 66, 71, 73
 ~ア~アa 何度も~する32, 35, 46, 55, 70
 アアンaan だったなあ.....13, 24, 61
 アイay 矢33
 アイヌaynu 人間.....15, 17, 28, 36, 48, 59
 アイネayne したあげく..... 14, 20, 21, 23, 26, 32, 33, 34,
 35, 39, 45, 48, 53, 58, 59
 アウオシマawosma 家の中へ入る41, 42
 アエプaeap 食べ物37, 40, 58, 61, 62, 71
 アキaki 弟68
 アキヒakihi 弟73, 74
 アクスakusu したところ, すると...15, 16, 17, 18, 21, 22,
 23, 24, 26, 27, 28, 30, 31, 34, 35, 36, 37, 38,
 40, 41, 42, 43, 46, 47, 51, 52, 53, 55, 56, 57,
 58, 59, 60, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 72
 アシas 立つ28, 53
 アツパケatpake 最初75
 アトウイatuy 海30
 アナイシリanaysir 死人.....45
 アナクネanakne は..... 14, 18, 21, 33, 36, 41, 47, 51, 53,
 54, 64, 66, 67, 69, 71
 アニani で62
 アニani 持つ22, 24
 アヌanu 置く.....23, 26, 55
 アバapa 親戚56
 アバパapapa 戸口25, 27, 56
 アブカシapkas 歩く21, 67
 アフナンahun 入る15, 22, 23, 24, 25, 27, 31, 36
 アフンahun 入る53, 60, 67, 68
 アフンケahunke 入れる15, 36
 アペアリapeari 火を焚く44, 71
 アベエトクapeetok 横座.....25, 68
 アベハラキノapeharkiso 左座68
 アミブamip 着物61
 アラキarki 来る46, 53, 66, 68, 71, 72
 アラキバarkipa 来る23, 43, 44, 51, 54, 64, 65, 69, 70
 アラバarpa 行く..... 16, 19, 20, 22, 23, 27, 37, 38, 39,
 40, 41, 44, 52
 アラババarpapa 行く25
 アリキキarikiki よく働く16, 17, 18
 アルシテツカarustekka 減ぼす66, 73
 アレare 座らせる.....60
 アンan ある, いる, 暮らす..... 13, 14, 15, 16, 17, 18,
 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 30, 31,
 32, 33, 34, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 44, 45,
 47, 48, 51, 53, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62,
 64, 65, 66, 67, 68, 70, 73, 74
 アンan だなあ56
 アン? an? ですか?31, 60
 アンan になる16, 17
 アン=an 私が, 私達が..... 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20,
 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32,
 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44,
 45, 46, 47, 48, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 58, 59,
 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71,
 72, 73, 74, 75, 76
 イi= 私に/を..... 15, 16, 17, 18, 20, 19, 23, 24, 29, 30,
 37, 38, 39, 40, 41, 42, 44, 45, 46, 47, 48, 51,
 54, 55, 57, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 68,
 70, 75
 イi= 私の.....30, 55, 59
 イi= 人に.....27, 59, 62
 イアクネiakne 弟である28
 イエye 言う..... 15, 16, 17, 20, 22, 27, 34, 36, 37, 38,
 39, 40, 42, 43, 46, 52, 54, 55, 61, 65, 66, 69,
 70, 72, 74
 イエバyepa 言う19, 38, 69, 70
 イオクヌレiokunnure 驚く66
 イオナネionane 父である25, 28
 イカオバシikaopas 駆けつける.....43
 イキiki する..... 13, 14, 17, 26, 29, 30, 32, 39, 40, 45,
 52, 54, 59, 69, 73, 74
 イコブンテクikopuntek 喜ぶ.....46
 イサネisane 姉である66, 67
 イサムisam いない, いなくなる, 死ぬ..... 17, 19, 23, 28,
 29, 31, 38, 48, 61, 65
 イサムノisamno なしに43, 57
 イサムノisamno 全くない28
 イシカラiskar 石狩, 石狩川..... 18, 19, 21, 37, 41, 59, 66,
 67, 73, 76
 イシトマisitoma 怖い31, 61, 64, 65
 イシムネisimne 翌日70
 イソイタクisoytak 物語る34, 48, 76
 イソンison 狩がうまい28
 イタクムイエitakmuye 言い残す48
 イチャラpicarpa 供養する45
 イテキiteki するな28, 29
 イネine どうした.....26
 イノンノイタクinonnoytak 祈る69
 イベipe 食べる, 食事37, 54, 55, 61, 62
 イベレipere 食べさせる61
 イボネipone 息子である27, 34, 43
 イマタクネimatakne 妹である42
 イユブネiyupne 兄である24, 42, 43
 イヨシキiyoski 酔う.....26
 イヨッタiyotta 一番28
 イヨロツiyorot 集団の中の一員になる76
 イワクiwak 帰る16, 17, 19, 34, 52, 63
 イワンiwan 六つの, 六人の15, 19, 36
 インカラinkar 見る15, 24, 25, 36, 55, 58
 インネinne 大勢の, 人口が多い21, 30, 41, 60, 67
 ウエンwen 悪い.....28, 46, 53, 64
 ウエンカムイwenkamuy 悪い神29
 ウエンテwente 荒らす71
 ウエンテバwentepa 荒らす67
 ウオマレuomare 集める, 片づける14, 46, 71

ウク uk 取る	30	エシンバイ esinpay を心配する	26
ウコウトウル ukoutur 互いの間	54, 58	エソイネ esoyne 外で, 外に	13, 14, 15, 31, 36, 43
ウコエトロトウルバ ukoetoroturpa 皆でいびきをかく ...	69	エタプカコモ etapkakomo 肩に抱える	59
ウコエラミシカリ ukoeramiskari 皆知らない	19	エタプトウサレ etaptusare 片肌脱がせる	59
ウコキキク ukokikkik 皆で殴る	43	エタムタララ etamtarara ふりがざす	56
ウコキリセバ ukokirisepa 皆で叫ぶ	43	エチ eci= お前達が	66, 67
ウコクシシ ukokusis とともに	43	エチ eci= お前達の	42
ウサ usa いろいろな	13, 16, 17	エチヨクヌレ ecoknure にくちづけをする	33
ウシ usi とき, ところ	21, 32, 44	エトゥナンカラ etunankar 人と行きあう	27
ウシケ uske するところ	38, 44, 51, 70	エトゥン etun を嫁にもらう	18, 23, 29, 47
ウセイ usey 湯	61	エトゥンバ etunpa を嫁にもらう	18
ウタシバ utaspa 互いに	57	エトケ tok の前	73
ウタラ utar 達, 人達, 同族	23, 24, 27, 28, 30, 38, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 56, 62, 64, 65, 67, 70, 75	エトケ tok 源	66
ウタリ utari 仲間, 同族, 村の人達	53, 64, 69, 71, 73	エトコ etoko の源	66
ウナ una 灰	33	エトコ オイキ etoko oyki	の準備をする 25, 40
ウニ uni 家	20, 26, 27, 32, 38, 45	エトコ オイキバ etoko oykipa の準備をする	24
ウニヒ unihhi 家	27, 70	エヌワプ enuwap お産する	39
ウヌ unu 母	13, 18, 34, 35, 36, 37, 39, 46, 47, 48, 62, 75	エネ ene このように, 次のように ...	16, 17, 18, 20, 23, 24, 26, 30, 35, 38, 40, 42, 43, 47, 52, 54, 56, 60, 61, 62, 63, 66, 73, 74
ウヌフ unuhu 母	14, 35, 39, 40, 41, 42, 45, 46, 47	エパカシヌ epakasnu を教える	17, 33, 34, 41
ウヌカラ unukar 互いに見合う	57	エハンケ ehanke が近くなる	19
ウブソロ upsoro のふところ	32	エビタ epita を広げる	15
ウベベ ワッカ upepe wakka 雪解け水	21	エピッタ epitta みんな	20
ウレンテク urentek 両手	58	エブンキネ epunkine を守る	29, 38, 45
ウン un (場所)に, へ, の ...	19, 20, 22, 26, 27, 31, 32, 38, 41, 44, 45, 46, 53, 55, 58, 59, 60, 66, 67, 69, 70, 72, 75, 76	エヘセ ehese でほっとする	43
エe= お前が / は	28, 29, 35, 39, 40, 41, 52, 54, 55, 56, 57	エベセ epese 器量がいい	28
エe= お前に / を	29, 35, 52	エペッチウ epetciw が障害になる	29, 39
エe= お前の	29, 38	エヘンコツパパ ehentakpapapa 可愛がる	63
エe 食べる	16, 17, 37, 54, 55, 58, 61	エポタラ epotara を心配する	46
エアイクア eyaykap できない	68	エホトゥリトウリバ ehoturituripa 引きずる?	58, 65
エアシカイ easkay できる	33, 41, 74	エホコブ ehoyupu を持って走る	60
エアシリ easir 初めて	42, 75	エヤイコブンテ eyaykopunte を喜ぶ	17, 18, 25, 31, 45, 60, 61, 69, 72, 73, 74
エアニ eani あなた	28, 29	エヤム eyam を気遣う, が気がかりである	18, 40
エアキンネ earkinne とても ...	16, 23, 40, 60, 61, 62, 65	エラナク eranak で困っている	30
エイタサ eytasa とても	20	エラムシカリ eramiskari したことがない, を知らない ...	15, 17, 36, 42, 48, 61
エイワンケ eywanke 使う	14	エラムアン eramuan がわかる	35, 68
エウタンネバ eutannepa 仲間になる	71	エランベウテク erampewtek がわからない	13
エウミナレバ euminarepa 皆で笑う	31	エランボキウエン erampokiwen をかわいそうに思う	23, 61, 74
エウン eun そこへ / に	22, 34, 37, 42, 56, 57, 70, 75	エレ ere 食べさせる	37, 51, 54, 55, 62
エウンエウンバ eun-eunpa 殺到する	56	オアラ oar 全く	19, 56
エウンノ eunno に対して	19	オイタク oytak に言う	56
エエセ eese に同意する	17, 52	オカ oka ある, いる, 暮らす ...	13, 16, 18, 21, 23, 24, 25, 28, 29, 30, 37, 38, 42, 45, 46, 47, 48, 51, 53, 54, 62, 63, 64, 66, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75
エオツ eot に赴く	45, 71	オカ oka の後	40, 48, 65, 75
エカシ ekasi 祖父, 長老	47, 48	オカ アン oka an が終わる	55
エカスイ ekasuy を手伝う	44	オカイ okay いる	22, 46, 71
エキマテク ekimatek あわてる	22	オカリ okari のまわりに	14
エキマテクバ ekimatekpa で驚く, あわてる	42	オカリ okari を経由する	59
エキムネ ekimne 山に行く, 山獺に行く	16, 19, 29, 33, 39, 51, 63, 64	オケレ okere し終わる	14, 15
エケ ek 来る	24, 25, 26, 32, 37, 39, 53, 56, 59, 60, 65, 72, 76	オケレ okere とても ~ である	23, 28
エコエウナラ ekoewnara に取られまいとする	62	オシ os の後から	27, 30
エコタンネ ekotanne の村に住む	47	オシクルコテ osikkurkote じっと見る	33
エシノッテ esinotte で遊ばせる	33	オシマ osma 入る, 当たる, 飛び込む	30, 31, 34, 39
エシタプカコモバ esitapakakomopa 肩の上で折り曲げる ...	27	オシマバ osmapa 入る, 当たる, 飛び込む	52, 65
エシニコバンテ esirkopaste に立てかける	54		

- オシンリッコミウケ osinritkomewke 根ごと倒れる53
 オックカイボ okkaypo 青年, 男34, 48, 76
 オックヨ okkayo 男15, 31, 36, 51, 56, 57, 58, 59, 62, 65, 68, 73, 74
 オトピ otopi 髪43, 61
 オナ ona 父13, 18, 34, 35, 36, 37, 46, 48, 62, 64, 75
 オナウタリ onautari 父達19
 オナハ onaha の父22, 39, 42, 44, 48, 67, 71, 72, 73
 オヌマン onuman タ方55
 オハシリ ohasir 誰もいない家36, 51
 オピッタ opitta 皆 ...19, 22, 43, 46, 53, 64, 70, 71, 72, 73
 オベシ opes 沿う20, 32, 40, 41
 オボソ oposo 通して33
 オホンノ ohonno 長い間に44
 オマナン omanan 旅する19
 オマブ map 可愛がる62
 オマレ omare 入れる32, 55, 65
 オマレバレ omarepare 入れさせる29
 オヤモクテ oyamokte いぶかしむ53
 オラ ora そして, それから15, 16, 17, 20, 21, 22, 23, 24, 26, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 38, 39, 40, 42, 44, 45, 46, 47, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 61, 62, 63, 64, 66, 67, 69, 70, 73, 74, 75
 オラノ orano そして, それから13, 14, 16, 17, 18, 29, 31, 32, 33, 34, 37, 39, 40, 46, 51, 55, 69, 70, 71, 72
 オルシペ oruspe の話, のこと65, 72
 オロ oro そこ21, 23, 38, 42, 44, 45, 54, 55, 56, 65, 68, 70, 71, 72, 75
 オロ or の所 19, 21, 22, 30, 31, 32, 39, 41, 44, 45, 53, 54, 59, 60, 64, 65, 67, 69, 70, 71, 72
 オンナイ onnay の中13, 14, 15, 24, 36, 41, 44
 オンネ onne 年老いた, 年をとる24, 26, 41, 42, 43, 47, 48, 60, 62, 63, 65, 66, 72, 73, 74
 オンネ onne 年老いて死ぬ48, 73, 75
 カ ka も, か13, 14, 15, 16, 17, 18, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 39, 40, 41, 42, 43, 45, 47, 48, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 61, 63, 64, 65, 68, 69, 70, 72, 74, 75
- [カ ka]**
 カ ka の上23, 25, 41, 55, 61
 カイ kay おぶう51, 52, 60, 62, 64
 カシ kasi の上34
 カシバオツテ kaspaotte 命じる39
 カスイ kasuy 手伝う44, 63
 カツケマツ katkemat 奥さん, 奥様28, 38, 45
 カットウイマノ kattuymano から離れて54, 64
 カネ kane して, したままで15, 19, 20, 22, 24, 30, 32, 33, 35, 36, 40, 51, 52, 56, 59
 カムイ kamuy 熊16, 34, 63
 カムイ kamuy 神45, 71
 カラ kar 作る, する21, 33, 35, 40, 51, 54, 61, 74
 カランケ karanke の近くに52
 カンナ kanna 重ねて42
 キ ki する14, 16, 17, 18, 19, 22, 23, 26, 29, 30, 33, 37, 39, 44, 46, 47, 54, 55, 57, 58, 61, 63, 65, 68, 69, 73, 74, 75, 76
 キシマ kisma つかむ58
 キナ kina 野草51
 キマカウ kimak haw 驚きの声53, 64
 キム kim 山34, 52, 67
 キモシノッ kimosinot 山で遊ぶ52
 キラ kira 逃げる28, 29, 38, 39, 53, 64
 キリ kir 見覚えがある71
 キリリセバ kirirsepa 叫ぶ43
 ク ku 飲む24, 25
 ク ku 弓33
 クアリ kuari 仕掛け弓をしかける, 仕掛け弓17, 33, 34
 クシケライボ kuskeraypo おかげで16, 33, 39, 45
 クシテ kuste かぶせる55
 クス kusu ので, だから, するために ...14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 22, 15, 25, 26, 27, 28, 29, 31, 33, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 44, 45, 46, 47, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76
 クス ne kusu ne するつもりである, するでしょう29, 32, 38, 58, 62, 73
 クシケライボ kuskeraypo おかげで73
 クナク kunak だろうと, しようと ...16, 20, 23, 37, 40, 46, 54, 64, 73, 74
 クニ kuni だろうと, しようと, べき 14, 15, 29, 36, 39, 42, 44, 46, 53, 66
 クニ ne kuni ne するように45, 47, 55
 クネイワ kuneywa 朝54, 58, 65
 クバ kupa 飲む38
 クリバン kuripan 姿が消える30
 クルク kur 人, 男15, 16, 17, 18, 22, 24, 25, 26, 27, 28, 37, 41, 42, 43, 48, 59, 60, 62, 63, 65, 66, 70, 72, 73, 74, 75, 76
 クレ kure 飲ませる25, 42
 クレバ kurepa 飲ませる38
 クンネ kunne 暗くなる53
 ケウ kew 骸53, 64
 ケウエ ホームス kewe homsu無事を祝う 70
 ケウトウム kewtum気持ち 61
 ケウレ kewre を削る20, 21, 32, 40, 41
 ケサンバ kesanpa 追いかける30
 ケツケバ keskepa ねたむ28
 ケット kesto 毎日14
 ケット アン コロ kesto an kor 毎日毎日13
 ケム kem 血69
 ケム又 kemnu を気の毒に思う23, 24, 31, 32, 34, 39, 43, 66, 74
 ケメイキ kemeyki 針仕事する14, 15
 ケレケリ kerkeri 掃きさらう14
 コウエケンヌ kouepekennu 事情を尋ねる35, 42, 56, 57, 63
 コウエケンヌバ kouepekennupa 事情を尋ねる63
 コウバクマ koupaskuma 事情を話す35
 コエウナラバ koewnarapa 取られまいとする62
 ココパン kokopan をしないように言う19, 40
 コシレバ kosirepa に着く46
 コタヌ kotanu の村21, 46, 47, 64
 コタン kotan 村21, 22, 24, 41, 46, 44, 46, 47, 52, 53, 54, 60, 64, 66, 67, 69, 70, 71
 コタンケシ kotankes 村の下端69
 コタンバ kotanpa 村の上端69
 コノイノイケ konoynoyke からまる44

コノンノイタクバ kononnoiyakpa に祈る	29
コパン kopan 拒む, 断る	17
コピシ kopisi 尋ねる	19
コブンテク kopuntek 喜ぶ	34, 70
コホンコロ kohonkor 妊娠する	18
コヤイクシ koyaykus しづらい	56
コヤイライケ koyairayke に感謝する	46
コレ kore くれる, 与える	15, 45, 48
コロ kor しつつ, して, すると	13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75
コロ kor の	24, 25, 26, 27, 28, 30, 31, 32, 33, 34, 38, 43, 44, 46, 47, 48, 63, 66, 67
コロ kor 持つ	13, 17, 18, 19, 29, 30, 31, 37, 44, 46, 47, 48, 60, 61, 63, 71, 74, 75
コロカ korka けれど	13, 15, 35, 40, 41, 47, 48, 53, 61, 64, 65, 67, 68, 69, 73, 75
コロバ korpa 持つ	28
コンド konto こんど	22, 29, 74

【サsa】

サsa 姉	51, 52, 55, 56, 57, 58, 61, 63, 64, 65, 68, 70, 71, 72, 74, 75
サク sak ない, なく	13, 34, 35, 36, 47, 53, 56, 64
サケ sake 酒	24, 25, 38, 42
サッカム satkam 干し肉	15
サツバ sappa 下る	67, 69
サハ saha の姉	56, 61, 69, 72, 75
サバウシベ sapauspe 髪	43
サブ sap 下りる	30, 53, 60, 62, 64, 66, 69, 70
サマ sama そば	27
サム sam そば	21, 30, 58, 59, 65
サラ sar 葦原	52, 65
サラ sara 開ける	55
サン san 下る	57, 58, 59, 64, 65, 73
サンケ sanke 出す	15, 61
サンテケへ santekehe 子孫	66, 73
サンベ sampe 心	28
シウエンテ siwente 歩くのが遅い	20
シク sik 目	55
シクス siknu 生きる	29, 45, 54, 66, 72, 73, 74
シクスレ siknure 生かす	57
シケ sike 荷物, 荷を背負う	15, 22, 30, 46, 63
シケトクナ siketokna 見覚えがない	42
シケヘ sikehe 荷物	23
シサンカラ sisanonkar 様子を見に行く	54, 64
シッケウ sikkew 隅	55
シツチャヌレ sir-casnure 辺りを掃除すること	44
シトゥムカネレ situmukanere でしゃばる	76
シトゥリ situri 伸ばす	73
シトマ sitoma 恐れる, 恐ろしい	54, 72
シニ sini 休む	23, 25
シネ sine 一つの, 一人の	42, 48, 57, 58, 67, 68, 70, 73, 76
シネアンタ sineanta あるとき	15, 35, 51
シネン sinen 一人	56, 68
シノツ sinot 遊ぶ	52

シノツチャキ sinotcaki 歌を歌う	55, 56
シバロスケ siparosuke 養わせる?	57, 58, 73
シバロスケレ siparosukere 養う	74
シビネ sipine 身支度する	69
シラン siran 時がたつ	44
シリ sir 辺り	14
シリ siri 様子	20, 26, 45, 47, 52, 59, 69, 75
シリキ sirki 様子が見える	21
シリクラブ sirkirap 苦勞, 苦勞すること	47, 75
シリクンネ sirkunne 暗くなる	62, 65, 69
シレトク siretok 美貌である	28
シレバ sirepa 着く	20, 32, 45
シレン siren 行こうと誘う	19, 23
シレンバ sirenpa 行こうと誘う	67
シロウリ sirowri 穴を掘る	55, 65
シロトウイエ sirotuye 草を刈る	20
シンキ sinki 疲れる	26, 38
シントコ sintoko 行器	13
シンナ sinna 別な	74
シンヌラツパバ sinnurappapa 先祖供養する	72
ス su 鍋	21, 41
スイ suy また	15, 24, 26, 54, 59, 63, 64, 66
スクブ sukup 成長	73
スケ suke 料理, 料理する	44, 54, 61, 71
スツ sut 下の方	29
スバ supra 料理する	15, 37
スバレ supare 料理させる	15, 37
スプ sup 巻いた物	44
スプヤ supuya 煙	53, 64
スルク surku 毒	38, 42
セ se 背負う	16, 22, 34, 37, 40, 71
セウリ sewri 喉	70
セコロ sekor と	15, 16, 17, 19, 20, 21, 22, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 31, 32, 35, 36, 38, 39, 40, 41, 42, 44, 45, 47, 48, 52, 54, 55, 56, 57, 58, 60, 61, 62, 63, 65, 67, 68, 71, 72, 73, 74, 76
セコン ne sekor ne と	15, 63, 68, 76
セレマク sermak 憑神	29
ソイ soy 外	14, 15, 23, 36, 51, 54, 58
ソイエンバ soynpa 外に出る	27, 58
ソイネ soyne 外に出る	15, 23, 27, 30, 31, 36, 51, 58
ソウスツ sowsut 壁際	28
ソモ samo しない	16, 17, 18, 23, 26, 29, 30, 37, 39, 42, 47, 57, 58, 65, 68, 74, 75, 76
ソン son 息子	33, 34, 63, 66
ソンノ sonno 本当に	30, 31, 32, 40, 41, 56, 58

【タta】

タta に, で	13, 15, 18, 21, 22, 23, 24, 25, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 34, 36, 37, 38, 39, 41, 42, 44, 45, 47, 48, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 58, 59, 60, 61, 64, 65, 66, 67, 68, 70, 71, 72, 73, 75
タア taa ここに	54
タク tak 塊	69
タクビ takupi ばかり	42, 55
タクブ takup ばかり	35
タシロ tasiro 山刀	56
タトウシベ tatuspe たいまつ	30
タヌクラン tanukuran 今夜	25, 54

タネ tane 今, 今では, 今や.....16, 18, 19, 23, 30, 32, 33, 34, 35, 39, 40, 43, 44, 45, 47, 51, 52, 53, 59, 63, 66, 69, 75
 タブネ tapne このように.....72
 タブネ カネ tapne kane 実は,36, 37, 38, 63, 68 かくかくしかじか, このように
 タン tan この20, 22, 57
 タンベ tanpe これ17
 チ ci= 私達が29
 チキ ciki したら31
 チク nicikuni 木20, 32, 40, 41, 53, 54, 58
 チコイキブ cikoykip 獲物17
 チシ cis 泣く.....28, 29, 31, 32, 33, 34, 35, 39, 44, 46, 51, 52, 53, 55, 56, 65, 70, 73, 74
 チセ cise 家.....13, 14, 15, 21, 24, 27, 29, 32, 36, 40, 41, 44, 54, 55, 67, 70, 72, 74
 チャシヌレ casnure 掃除する, 片づける.....14, 36
 チョクサミブ cokusamip 喪服.....15, 19, 36
 チョロ cor の下31
 チョロボク corpok の下22, 28, 39, 53
 テ te ここ22, 44, 54
 テク tek 急に~する26, 30, 59
 テクサム teksam そば29, 38
 テケ teke 手22, 24
 テッコノイエ tekkonoye 引っ掴む?43
 テムニコロ temnikor 腕の中60
 テレケ terke 跳ぶ59
 テワノ tewano これから45, 71
 トアン toan あの21
 トイ toy 土29
 トイコキキク toykokikkik ひどく殴る43
 トウ tu 二人の18, 57
 トウイエ tuye 切る61
 トウエバ tuyepa 切る70
 トウイカ tuyka している時39
 トウイマ tuyma 遠く44
 トウカリ tukari の手前45, 71
 トウサビカリ tusapyukari 身八つ口から.....68
 トウナシノ tunasno 早く.....20, 66, 67
 トウマシヌ tumasnu 丈夫である67
 トウマム tumam 抱いて寝る62
 トウム tum の中13, 29, 36
 トウムン tumun ごみ, ほこり.....13, 14, 36, 44
 トウムンコウファイカ tumun-ko-uhuyka43
 ほこりと一緒に燃やす
 トウラ tura 一緒に行く, 連れて行く.....19, 20, 24, 28, 33, 57, 58, 63, 65, 72, 73
 トウライラム turayramu すると同時に67
 トウラシ turasi に沿って上の方へ59
 トウラノ turano と一緒に...16, 17, 18, 34, 35, 37, 63, 70, 71, 72, 73, 74
 トウルセ turse 落ちる69
 トウン tun 二人24
 トシロ tosir 川岸の洞穴.....22, 31, 39
 トバットウミ topattumi 夜襲53, 66
 トマ toma 莫座44
 トマソカラ tomasokar 莫座の座をしつらえる44
 トمام tomam 湿地52, 65
 トンチカムニ toncikamni 敷居25

[ナ na]

ナ na まだ14, 16, 31, 45, 52, 57, 64, 72
 ナ na よ, ね ...19, 26, 28, 29, 36, 38, 41, 48, 52, 55, 57, 67, 71, 76, 22, 23, 27, 30, 41, 42, 44, 47, 59, 60, 61, 72, 74
 ナヌ nanu 顔61
 ナンコロ nankor だろろう.....28, 29, 31, 36, 38, 40, 41, 45, 54, 65, 71
 ニ ni 木20, 21, 40, 41
 ニサッタ nisatta 明日16, 37, 54, 55
 ニシパ nispa 旦那, 長者 25, 26, 27, 28, 31, 32, 34, 38, 43, 66, 73
 ニス nisu 白23
 ニナ nina 薪とりをする16
 ニンパニンバ ninpa-ninpapa ずるずる引きずる27
 ニヌ 聞く31, 43, 58, 66
 ナイエオツケ nuyeyotke 火をつける72
 ナイナ nuyna 隠す22, 65
 ナイナク nuynak 隠れる22, 31, 53, 58, 67, 69
 ナカラ nukar 見る ...15, 17, 26, 36, 47, 48, 52, 59, 68, 75
 ナクリ nukuri しづらい19
 ナサ nusa 祭壇14
 ナスケ nunuke を大切に, の面倒をよくみる25
 ナベコレス nupekoresu 涙を流しながら育てる73
 ナムケ numke 選ぶ62
 ナヤヌヤ nuyanuya 揉み揉みする43
 ナラツパ nurappa 供養する48
 ナワブ nuwap お産する, 産気づく19, 29, 31
 ネ ne その.....14, 21, 22, 24, 25, 26, 27, 29, 31, 32, 33, 34, 39, 40, 41, 42, 43, 45, 46, 47, 53, 54, 58, 60, 62, 65, 66, 67, 69, 72, 73, 74, 75
 ネ ne である, になる...13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 47, 48, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76
 ネ ne として16, 17, 47, 56, 70, 74, 76
 ネ ヤネ ya など...13, 14, 16, 17, 18, 19, 20, 31, 33, 34, 36, 37, 38, 41, 44, 45, 61, 70, 72
 ネ ヤッカ ne yakka であっても.....16, 28, 39, 40, 43, 44, 46, 62, 66, 71, 72
 ネ ワ アン pe ne wa an pe 今いったその物55
 ネ ワ オカイ pe ne wa okay pe14
 今言ったこれらのもの
 ネア nea 件の19, 44, 60, 71, 73
 ネイ ney どこ, どこか48, 66
 ネウン neun どこへ, どのように...16, 20, 23, 37, 39, 40
 ネクス nekusu なので.....74
 ネノ neno kane an したままで.....60
 ネノ neno そのように, 同じように.....14, 17, 22, 26, 41, 52, 54, 62, 64
 ネフ nep 何17, 22, 28, 30, 35, 37, 39, 42, 51, 54, 64
 ネブキ nepki 働く51
 ネン nen どう, 誰16, 59
 ネン nen nen いろいろと14, 45, 72
 ネン ボカ nen poka 何とかして...20, 29, 32, 38, 73, 74
 ノ no して 13, 16, 17, 18, 23, 27, 28, 29, 30, 34, 35, 36, 37, 39, 47, 48, 51, 58, 61, 65, 74, 76
 ノイネ noyne のように, らしく24, 26, 42

- ノシキ noski 真ん中22, 60
- [ハ ha]**
- パpa 見つける56, 62, 65
- パpa 年26
- パイェpaye 行く20, 21, 22, 38, 52, 59, 67
- パイェパpayepa 行く65
- ハウhaw 声58, 68
- ハウェhawe 声(言葉)56
- ハウェアンhawean 言う ...16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 35, 36, 38, 39, 40, 42, 44, 45, 52, 54, 56, 57, 58, 60, 62, 63, 65, 66, 67, 68, 72, 73, 74
- ハウェオカhaweoaka 言う47
- ハウェオカパhaweoakapa 言う31, 43, 58, 71
- ハウォカhawoka 言う30
- ハウコカリhawokari 何度も言う23, 24, 66
- パエトクpaetok 雄弁である28
- パクノpakno ほど28, 33, 34, 35, 48, 52, 63, 66
- パシpas 走る59
- パシマpaskuma 素性話をする52
- パスイpasuy 箸62
- パッチpatci 鉢13
- パテクpatek ばかり19, 29, 32, 33, 34, 35, 39, 47, 51, 73
- ハニhani しなさいね52, 54
- ハラキソharkiso 左座27
- バラコラチックパparkoracitkepa 罰が下る43
- バラバラクparaparak 泣く58, 68
- パロホparoho 口62
- ハンゲhanke 近く44
- ヒhi こと, 時, 所13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 25, 26, 27, 28, 30, 33, 34, 35, 36, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 46, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 73, 74
- ヒケhike することは, したが, したら...16, 17, 18, 20, 28, 34, 39, 43, 46, 51, 56, 61
- ヒケhike ka しても23
- ピッテpiste を数える53, 64
- ヒナクhinak どこ23, 56, 60
- ヒナクワhinak wa どういうわけか27
- ヒネhine して13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 30, 32, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 46, 47, 48, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 63, 64, 65, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 74
- ピリカpirka よい, きれいな, 美しい...15, 16, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 28, 38, 40, 45, 46, 47, 48, 51, 54, 55, 57, 58, 60, 61, 62, 66, 67, 69, 71, 73, 76
- ピリカヌヌケpirka-nunuke よく面倒を見る47, 75
- ピリカノpirkano よく14, 15, 16, 18, 19, 23, 25, 37
- プp が38, 42, 43, 51, 54, 63, 64, 73, 74
- プp もの14, 15, 16, 17, 22, 27, 29, 36, 37, 39, 41, 42, 46, 47, 52, 54, 55, 57, 69, 71, 73
- プイネpuyne ひとりで38, 57, 67
- フシコノhuskono とても古い40, 41
- フチhuci 祖母47, 48
- プットput 河口66
- フナラhunara 探す74
- フナラバhunarapa 探す67
- フマシhumas 音がする15, 36
- フミhumi 様子43
- フムネ アン コロhumne an kor ときどきは14
- ブンカラpunkar 蔓44
- ヘhe か68
- ペpe もの13, 14, 17, 18, 19, 20, 22, 25, 26, 27, 28, 30, 31, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 42, 44, 46, 48, 51, 56, 58, 59, 61, 62, 63, 65, 67, 68, 71, 72, 73, 74, 75, 76
- ペカpeka に, を21, 30, 33
- ヘカチhekaci 子供33
- ペコロpekor かのよう25, 59, 66, 75
- ペシpes に沿って下へ60
- ベッpet 川21, 30, 39, 58, 59, 60, 65
- ベッカスpetkasu 川を歩いて渡る22, 30
- ベックシpetkus 川向こう21, 41, 51
- ベッブッpetput 川尻58
- ペテトクpetetok 源58, 59
- ヘトウhetuk 生まれる35
- ヘトボhetopo 反対に64
- ヘネhene でも22, 53, 59
- ヘンタhemanta 何のために20
- ヘムイムイエhemuyumuye 伏せる74
- ヘンバクhenpak 何26
- ポpo 子供47, 48, 75
- ポイゾンpoyson 子供31, 32, 60
- ポウタリpoutari 子供達48, 76
- ポカpoka でも, やっと45, 71, 75
- ホクhoku 夫47
- ポクpok の下25, 27
- ホクレhokure 早く25, 28, 29, 38
- ホシキhoski 先に20, 22, 38
- ホシッパhosippa 帰る, 戻る31, 46, 47
- ホシビhosipi 帰る, 戻る20, 23, 26, 32, 45, 46, 52
- ホッケhotke 寝る26, 27, 68
- ホッパhoppa 残す51
- ホトゥリトゥリhoturituriri ひきずる?43
- ホブニhopuni 立つ69
- ポヘネpohene なおさら17, 18, 31, 32, 34, 62, 63
- ポホpoho 子供, 息子25, 26, 60, 75
- ホコブhoyupu 走る59
- ポロporo 大きい, 大きくなる21, 30, 33, 34, 35, 39, 46, 48, 51, 52, 53, 60, 63, 66
- ホロカhorka 逆さに53, 64
- ポロンノporonno たくさん40, 48, 71
- ポンpon 小さい, 少ない30, 33, 34, 36, 52
- ホンコロhonkor 妊娠する30
- ポンチセponcise 小さい家22
- ボンノponno 少し33, 35, 51
- ボンメノコponmenoko 若い娘16, 23, 24, 28, 29
- [マ ma]**
- マカナクmakanak どうして31
- マクmak どう13, 17, 18, 19, 23, 28, 30, 34, 35, 51
- マタキmataki 妹18
- マチヒmacihi 妻17
- マツmat 女, 妻17, 18, 19, 29, 74, 75
- マッカチmatkaci 娘13
- マッコロmatkor 妻を持つ18

ミミ 着る15, 19, 36
 ミナmina 笑う33, 35
 ミレmire 着せる61
 ムニンmunin 腐る40
 ムンmun ごみ, 雑草14, 51, 55
 メノコmenoko 女 ...14, 23, 24, 30, 42, 47, 57, 66, 67, 74
 モイモイケmoymoyke 動く42
 モイレmoire 遅い45
 モシマノmosmano 黙って61
 モムmom 流れる30
 モヨmoyo 人が少ない47

[ヤya]

ヤya か18, 19, 23, 34, 35, 42, 44, 51, 56, 57, 63
 ヤイアブカシテyayapkaste 一人で行かせる67
 ヤイエイモンタサyayeymontasa 敵討ちする29, 39,
 45, 66, 68
 ヤイエシカルンカyayesikarunka 気がつく13, 36
 ヤイエトコイキyayetokoyki 身支度する40
 ヤイエバタライエyayepataraye はばかり25
 ヤイカタyaykata 自分で.....16, 18, 33, 37, 39, 47, 48, 75
 ヤイキブニウケシyaykipniwkes 死ぬのはいやだ57
 ヤイケシテyaykeste 家出する19, 23
 ヤイコソノyaykososo 妊娠して腹が大きくなる19, 24
 ヤイヌyaynu 思う17, 32, 61, 62, 66, 75
 ヤイホクシテyayhokuste 倒れる26
 ヤイライケyairayke 感謝する70, 72
 ヤウテクyawtek 冷たくなる27
 ヤクyak したら, したと.....16, 19, 22, 25, 26, 27, 29,
 34, 38, 40, 45, 48, 54, 55, 57, 66, 67, 69, 70,
 71, 73, 74, 76
 ヤクンyakun ならば.....20, 22, 28, 35, 41, 45, 52, 58,
 63, 66
 ヤラyar 木の皮21, 32, 40
 ヤッカyakka であっても ...14, 17, 20, 22, 24, 29, 35, 38,
 43, 51, 57, 58
 ヤンyan 陸に上がる30
 ユクyuk 鹿16, 34, 63
 ユビyupi 兄.....62, 63, 65, 67
 ユビヒyupihi 兄.....23, 63, 75
 ユブyup 兄18
 ユプタリyuputari 兄達18, 37, 67, 69, 71, 72
 ユブケyupke 強い29
 ユブテクyuptek 勤勉である37
 ユベツyupet 湧別, 湧別川59, 60, 67, 70, 72, 75, 76

[ラra]

ライray 死ぬ44, 53, 56, 64
 ライケrayke 殺す28, 29, 43, 57, 58, 70
 ライケバraykepa 殺す29, 38
 ライバラバラクrayparaparak わあわあと泣く28
 ラタシケブラtaskep 煮物51
 ラチッケレracitkere ぶらさげる21, 41
 ラブラp 下る60
 ラポクrapok そのうちに, その間, しているうちに.....63
 ラボッケrapokke しているうちに ...16, 18, 26, 31, 36, 37,
 42, 47, 48, 56, 60, 62, 63, 65, 66, 67, 69, 73,
 74, 75
 ラムramu 思う.....14, 15, 16, 23, 29, 36, 37, 39, 42, 44,
 46, 53, 73, 74

ラムバramupa 思う54, 64
 ランran 下る.....59
 ランケranke 何度もする16, 23, 51
 リri 剥ぐ17
 ルイruy 激しい.....20
 ルイノruyno 激しく42
 ルイルイバruyruypa なでる59, 68
 ルウエruwe こと, の ...13, 15, 16, 17, 20, 21, 22, 23, 24,
 26, 27, 28, 29, 31, 32, 35, 38, 39, 41, 42, 43,
 48, 51, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 64,
 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 75, 76
 ルウエruwe ことよ, したなあ!22, 25
 ルスイrusuy したい.....17, 19, 20, 32, 37, 38, 47, 57
 ルブネrupne 大人になる75
 ルブネマツrupnemat 老女24, 41, 43, 60
 ルラrura 運ぶ, 送って行く13, 14, 27, 43, 46, 55
 ルラバrarapa 運ぶ26, 27, 38
 レre 三人の51, 56, 65
 レウシrewsi 泊る21, 32
 レコreko と呼ぶ63
 レスresu 育てる75
 レス ボカ エヤイコラムベテッネresu poka eyaykoram-
 petetne を育てるのに苦労する75
 レンren 三人.....43
 ロro しよう22
 ~ロク~ロク...rok...rok 何度も~する62, 72
 ~ロク~ロクバ...rok...rokpa 何回も~する43

[ワwa]

ワwa から, に.....21, 23, 27, 41, 51, 56, 59, 60, 68, 69,
 76
 ワwa して.....13, 14, 16, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 26,
 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38,
 39, 40, 41, 42, 44, 45, 46, 48, 51, 52, 53, 54,
 55, 57, 58, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68,
 69, 71, 72, 73, 74, 75, 31, 58
 ワ オカwa oka すでに~している53, 64
 ワクスwakusu なので19
 ワノwano から75

アイヌ民族博物館伝承記録3・昔話

上田トシのウエペケレ

- 発行日 1997年3月31日
- 編集・発行 財団法人アイヌ民族博物館
〒059-09 北海道白老郡白老町若草町2-3-4
TEL 0144-82-3914 FAX 0144-82-3685
- 印刷・製本 (株)北海道機関紙印刷所
〒006 札幌市北区北6条西7丁目
TEL 011-716-6141
- C D 製作 高速録音株式会社
〒113 東京都文京区本郷1-20-9
TEL 03-3814-2721